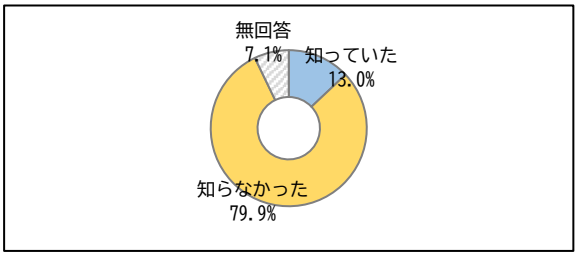
11．介護予防・日常生活支援総合事業・介護保険サービスについて

（１）日常生活支援総合事業の認知度・利用状況

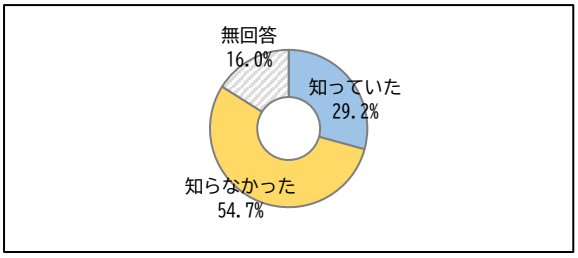
介護保険の要介護（要支援）認定を受けなくても、基本チェックリスト（２５項目）により事業対象者として特定された場合は、市で実施している通所型サービスや訪問型サービス等を利用できることを知っていましたか。（どちらかの番号に○）

事業対象者として特定された場合、市で実施している通所型サービスや訪問型サービス等を利用できることを「知っている」と回答した割合について、一般高齢者では 13.0%、事業対象者・要支援認定者では 29.2%にとどまっています。

■　一般高齢者調査（n＝5,546）



■　事業対象者・要支援認定者調査（n=1,614）



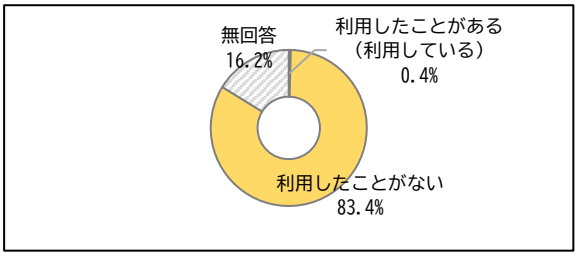
以下のサービスについて利用したことがありますか。また、名称や内容を知っていましたか。

①　訪問型元気応援サービス（生活支援コース）

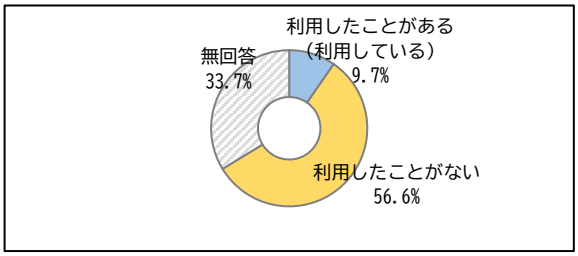
訪問型元気応援サービス（生活支援コース）を「利用したことがある」と回答した割合について、事業対象者・要支援認定者、「軽度」要介護認定者では約 10%、「内容を知っていた」と回答した割合は約 12%となっています。

●利用したことがありますか

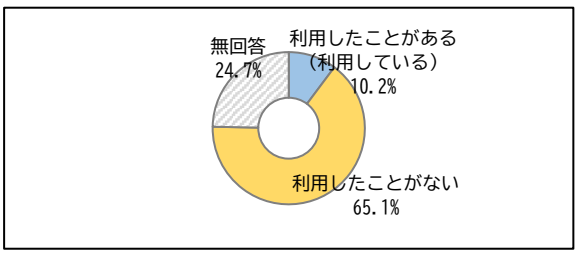
■　一般高齢者調査（n＝5,546）



■　事業対象者・要支援認定者調査（n=1,614）

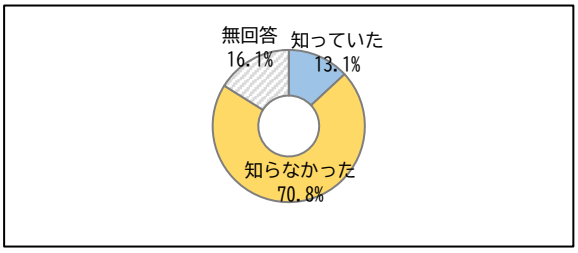


■　「軽度」要介護認定者調査（n=1,584）

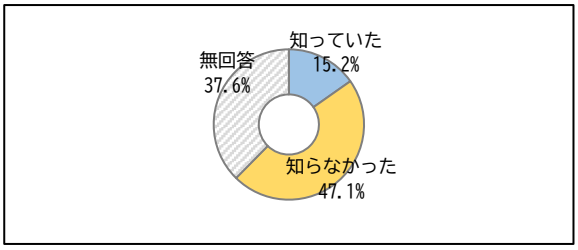


●名称を知っていましたか

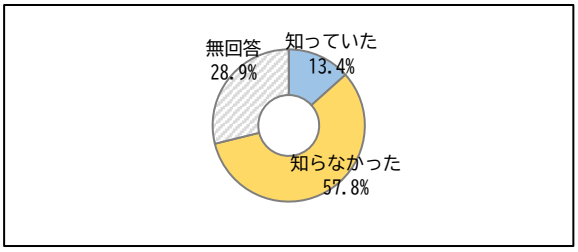
■　一般高齢者調査（n＝5,546）



■　事業対象者・要支援認定者調査（n=1,614）

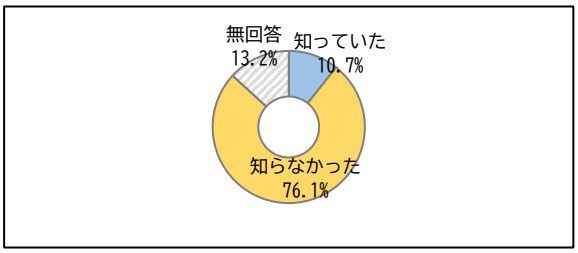


■　「軽度」要介護認定者調査（n=1,584）

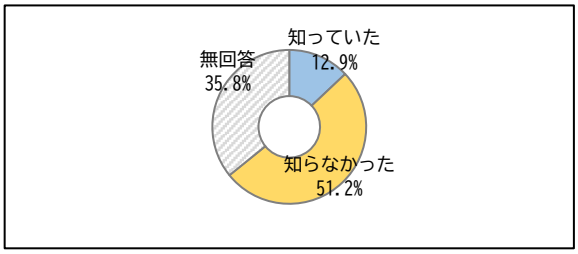


●内容を知っていましたか

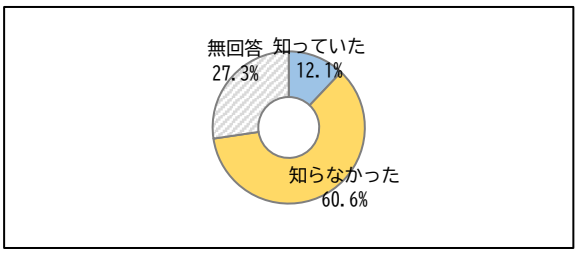
■　一般高齢者調査（n＝5,546）



■　事業対象者・要支援認定者調査（n=1,614）



■　「軽度」要介護認定者調査（n=1,584）

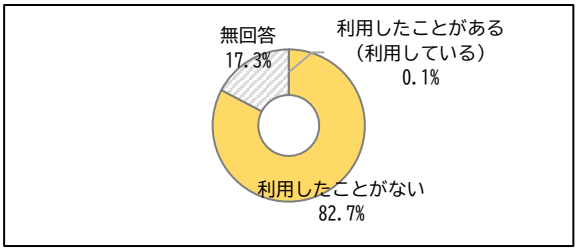


②　訪問型元気応援サービス(困りごとコース)

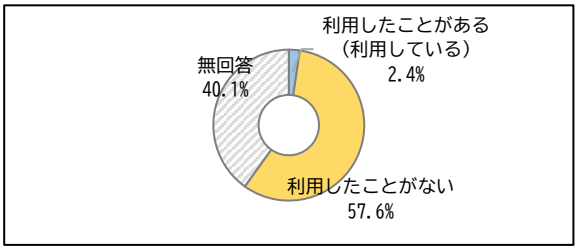
訪問型元気応援サービス(困りごとコース)を「利用したことがある」と回答した割合について、要支援認定者、「軽度」要介護認定者では約２％、「内容を知っていた」と回答した割合は約７％となっています。

●利用したことがありますか

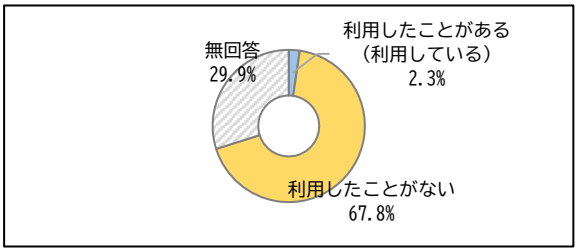
■　一般高齢者調査（n＝5,546）



■　事業対象者・要支援認定者調査（n=1,614）

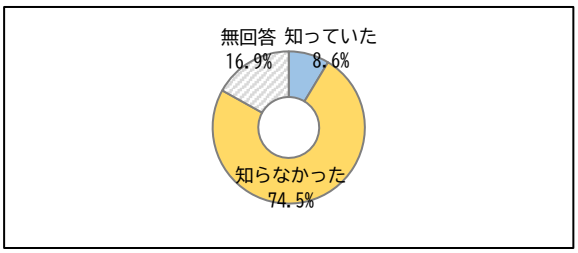


■　「軽度」要介護認定者調査（n=1,584）

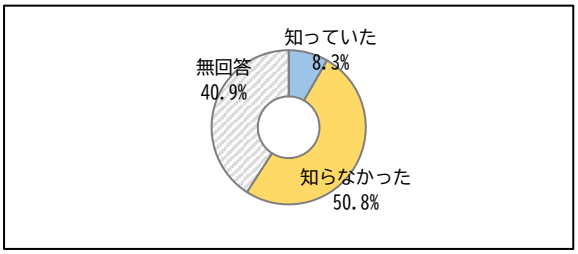


●名称を知っていましたか

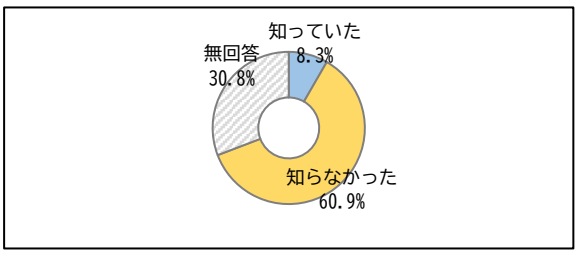
■　一般高齢者調査（n＝5,546）



■　事業対象者・要支援認定者調査（n=1,614）

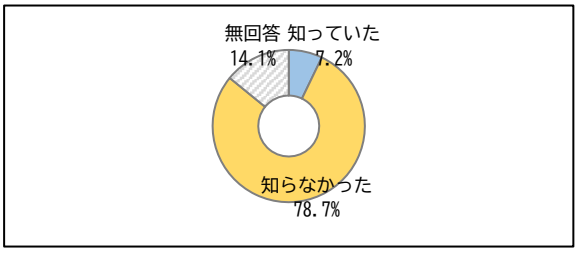


■　「軽度」要介護認定者調査（n=1,584）

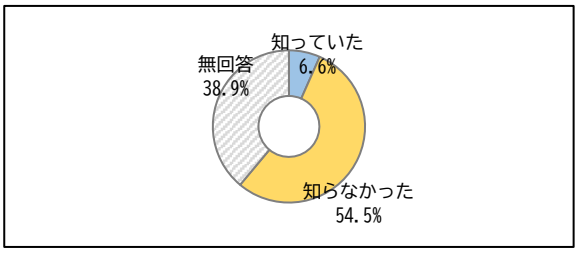


●内容を知っていましたか

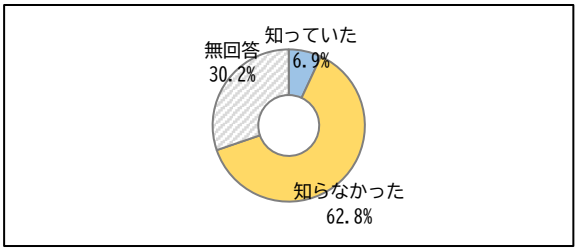
■　一般高齢者調査（n＝5,546）



■　事業対象者・要支援認定者調査（n=1,614）



■　「軽度」要介護認定者調査（n=1,584）

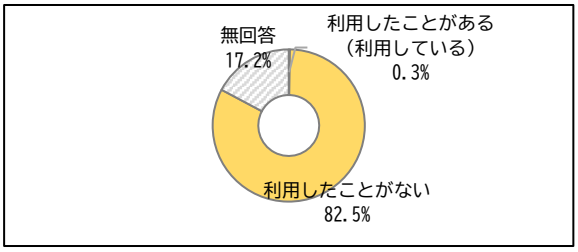


③　短期集中予防サービス(いきいきトレーニング)

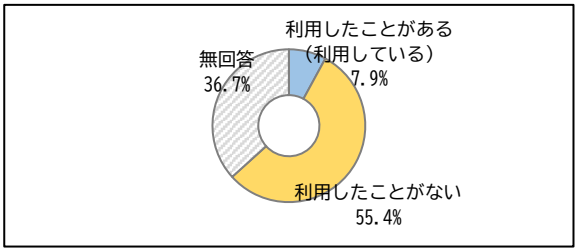
短期集中予防サービス(いきいきトレーニング)を「利用したことがある」と回答した割合について、事業対象者・要支援認定者では、約８%、「軽度」要介護認定者では 4.3%となっており、内容を知っていたと回答した割合は約８%となっています。

●利用したことがありますか

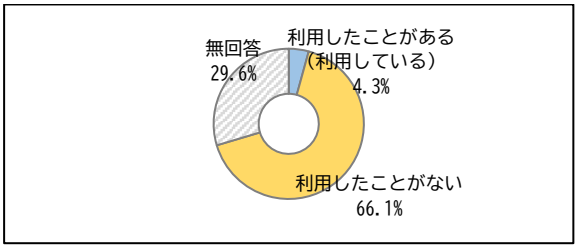
■　一般高齢者調査（n＝5,546）



■　事業対象者・要支援認定者調査（n=1,614）

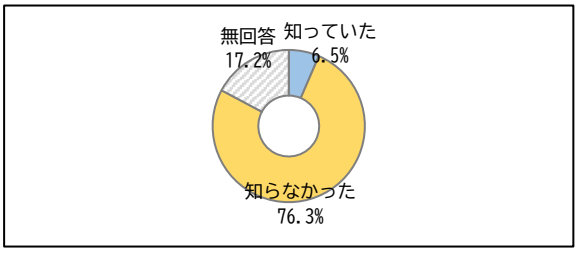


■　「軽度」要介護認定者調査（n=1,584）

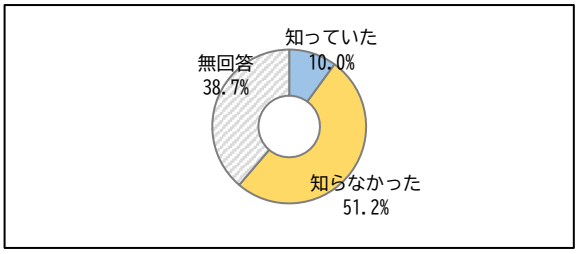


●名称を知っていましたか

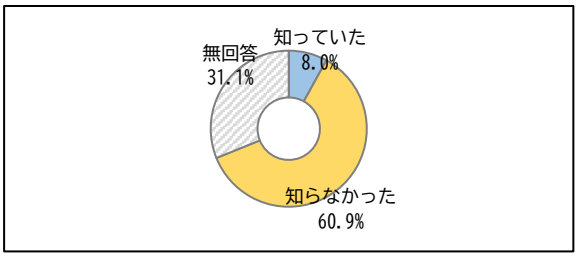
■　一般高齢者調査（n＝5,546）



■　事業対象者・要支援認定者調査（n=1,614）

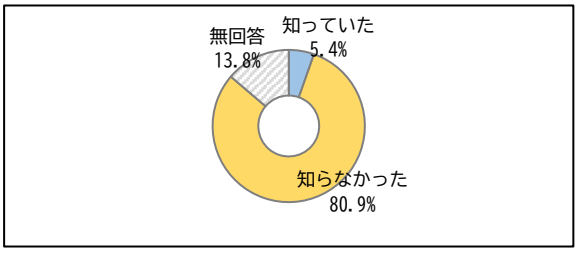


■　「軽度」要介護認定者調査（n=1,584）

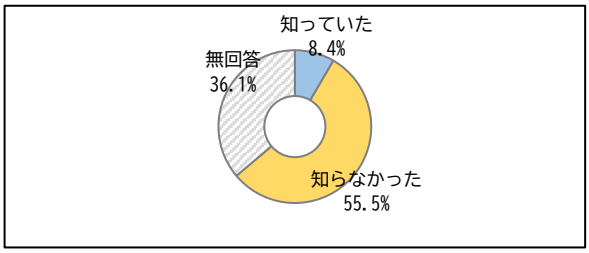


●内容を知っていましたか

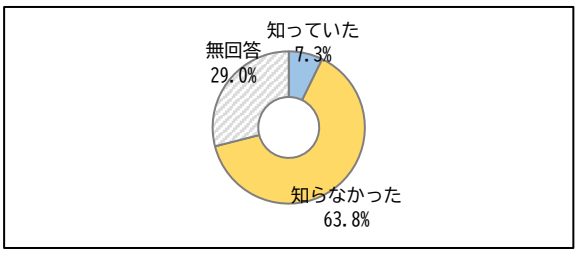
■　一般高齢者調査（n＝5,546）



■　事業対象者・要支援認定者調査（n=1,614）



■　「軽度」要介護認定者調査（n=1,584）

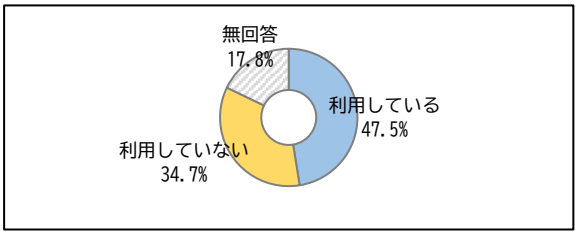


（２）介護保険サービスの認知度・利用状況

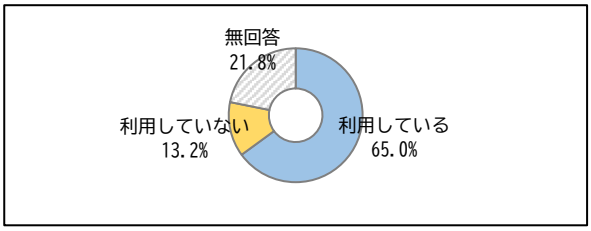
あなたは、介護保険サービス等を利用していますか。（どちらかの番号に○）

介護保険サービス等を「利用している」と回答した割合について、事業対象者・要支援認定者では 47.5%、「軽度」要介護認定者では 65.0%、「重度」要介護認定者では 76.6%となっています。

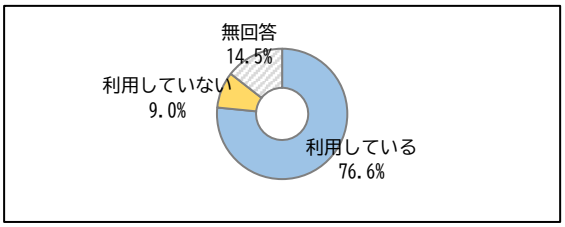
■　事業対象者・要支援認定者調査（n=1,614）



■　「軽度」要介護認定者調査（n=1,584）



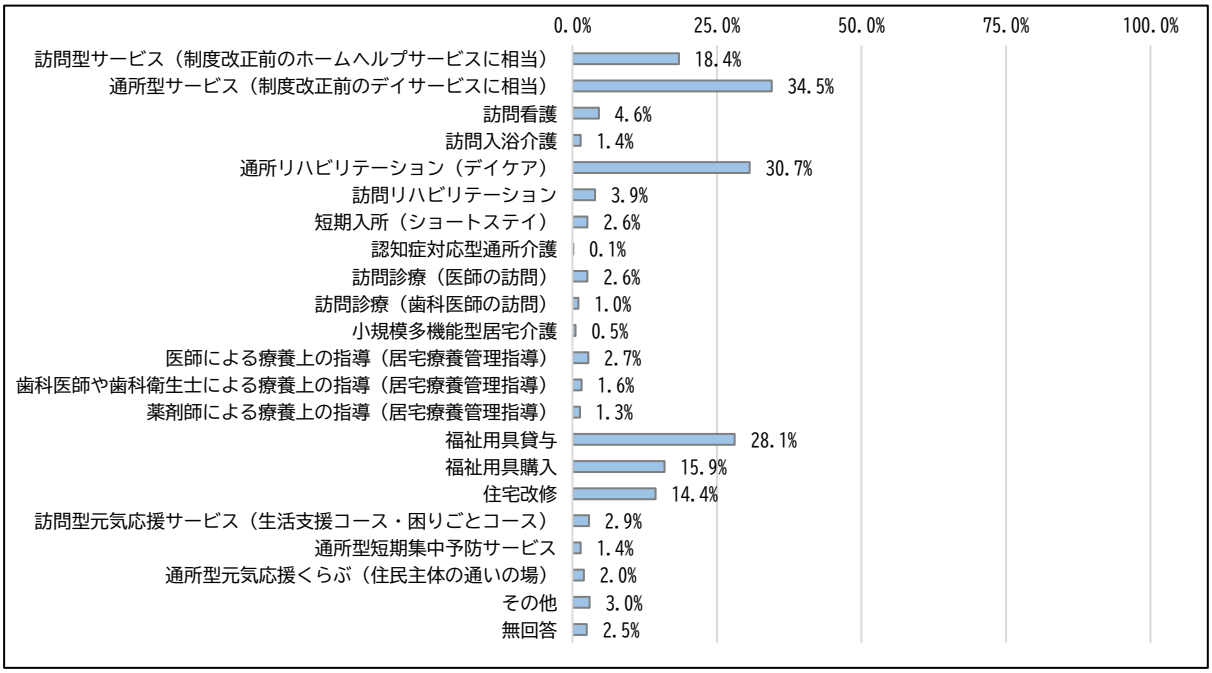
■　「重度」要介護認定者調査（n=768）



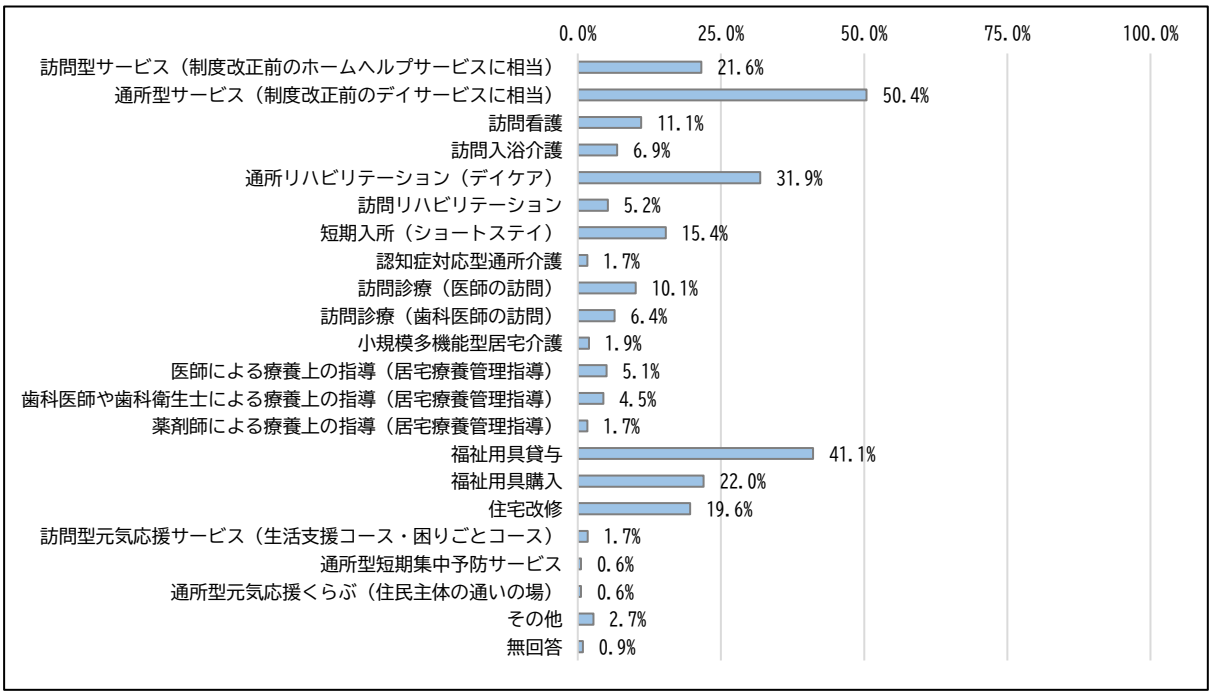
介護保険サービス等を利用していると回答した方のみ、お答えください。
次のような在宅サービスを利用していますか。（あてはまるすべての番号に○）

介護保険サービス等を「利用している」と回答した方のうち、在宅サービスの利用状況については次の通りとなっています。

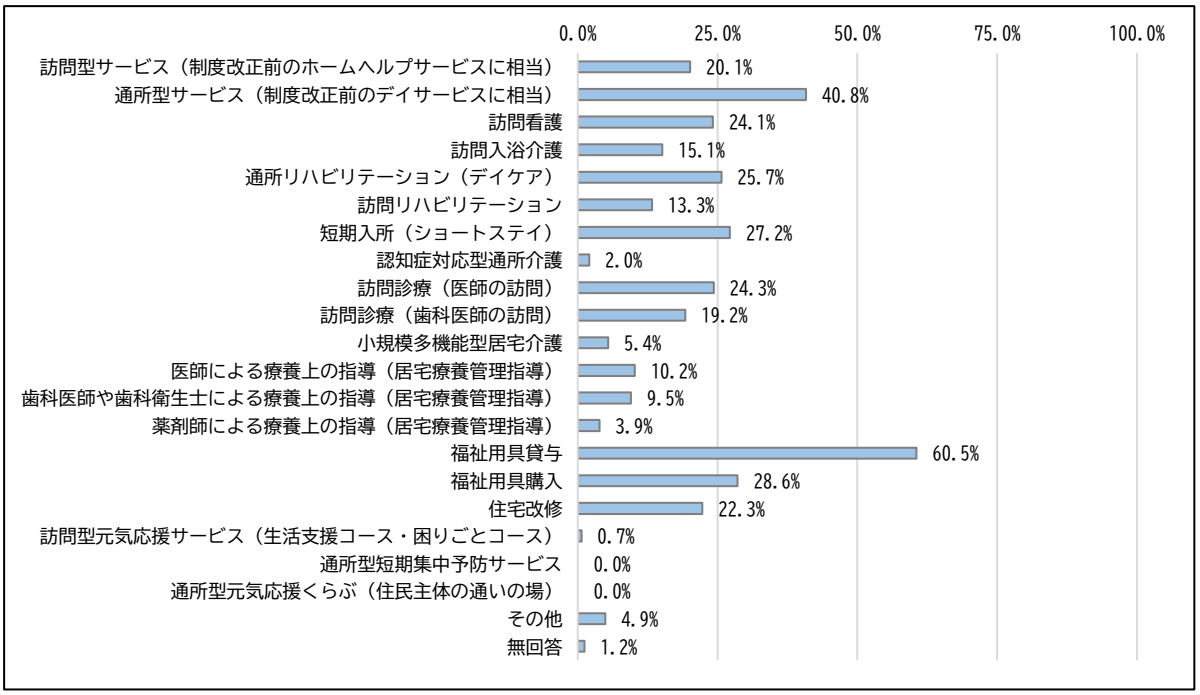
■　事業対象者・要支援認定者調査（n=766）



■　「軽度」要介護認定者調査（n=1,029）



■　「重度」要介護認定者調査（n=588）

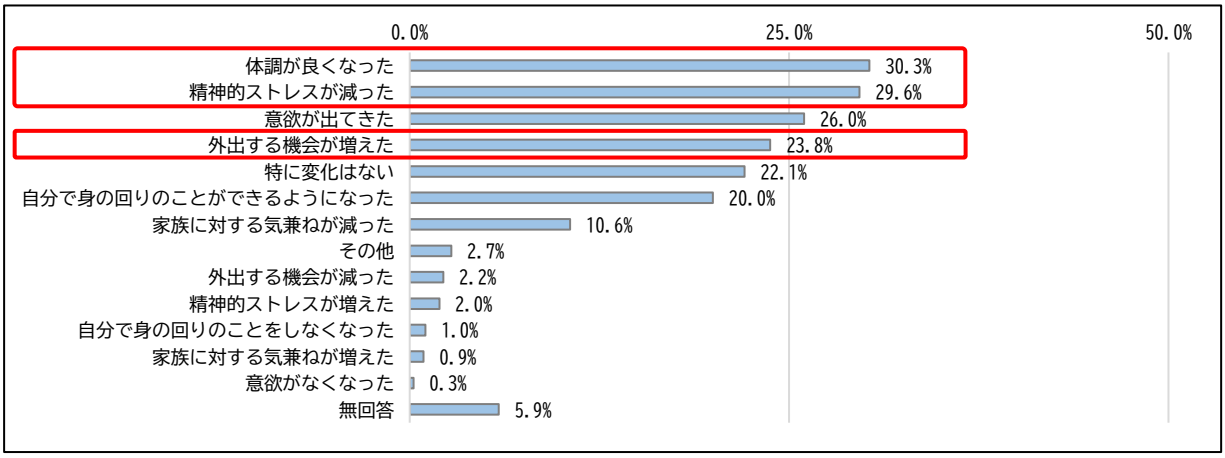


介護保険サービス等を利用していると回答した方のみ、お答えください。

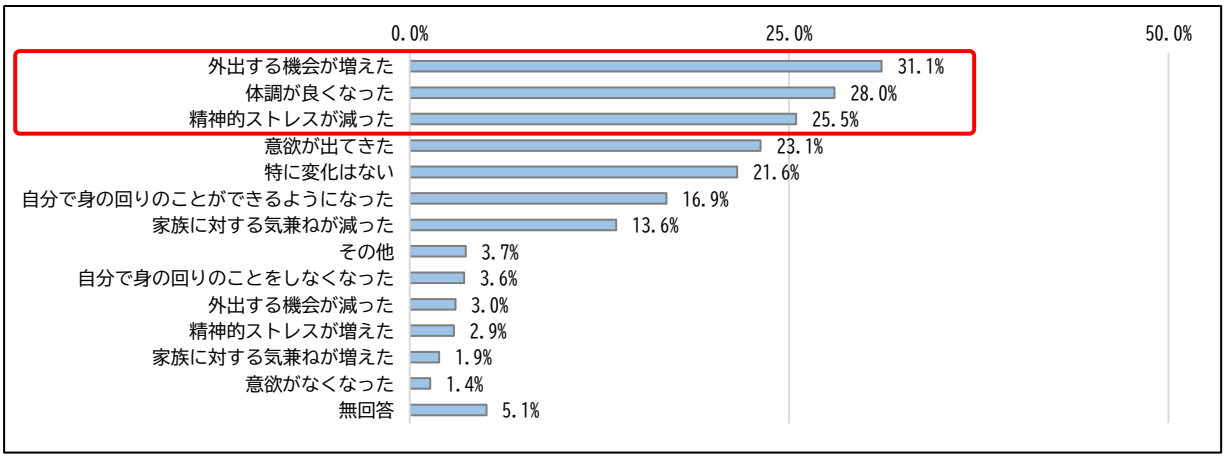
介護保険サービス等を利用したことにより、あなたの生活に具体的にどのような変化がありましたか。（あてはまるすべての番号に○）

介護保険サービス等を利用したことによりもたらされた変化として、「体調が良くなった」「精神的ストレスが減った」「外出する機会が増えた」が多く挙げられています。

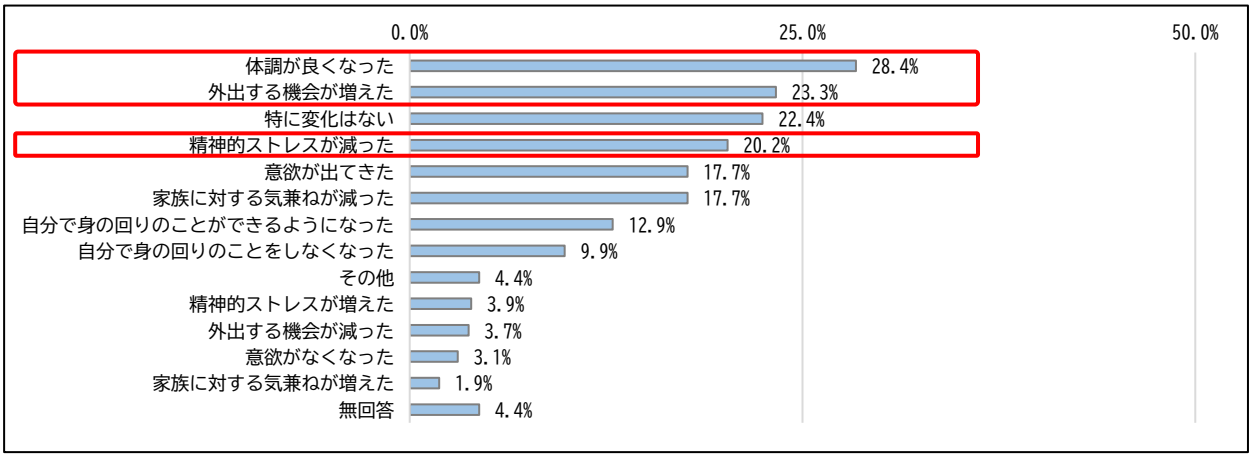
■　事業対象者・要支援認定者調査（n=766）



■　「軽度」要介護認定者調査（n=1,029）



■　「重度」要介護認定者調査（n=588）

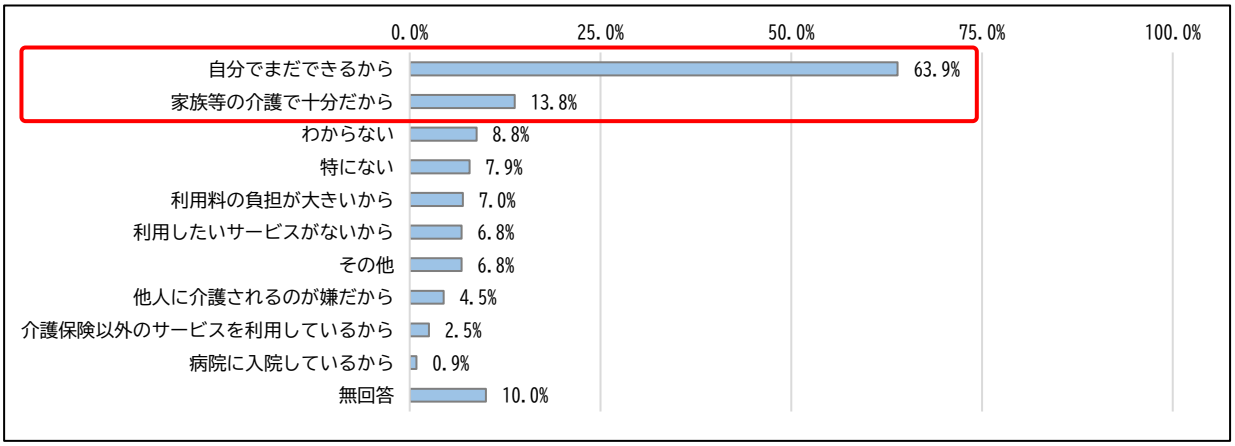


介護保険サービス等を利用していないと回答した方のみ、お答えください。

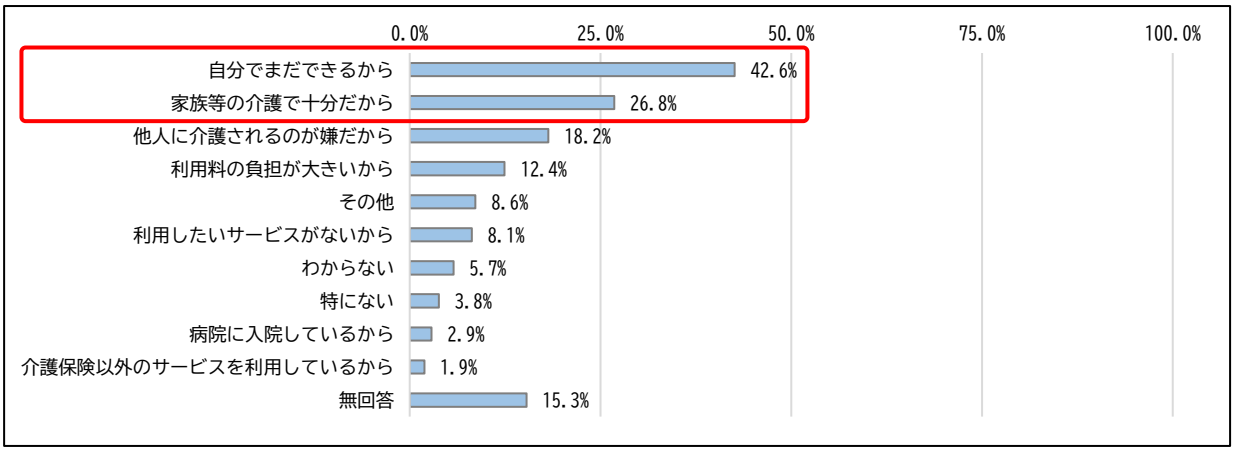
あなたがどのサービスも利用していない理由を教えてください。（あてはまるすべての番号に○）

介護保険サービス等を利用していない理由として、事業対象者・要支援認定者、「軽度」要介護認定者では「自分でまだできるから」が最も多く、次いで「家族等の介護で十分だから」となっています。

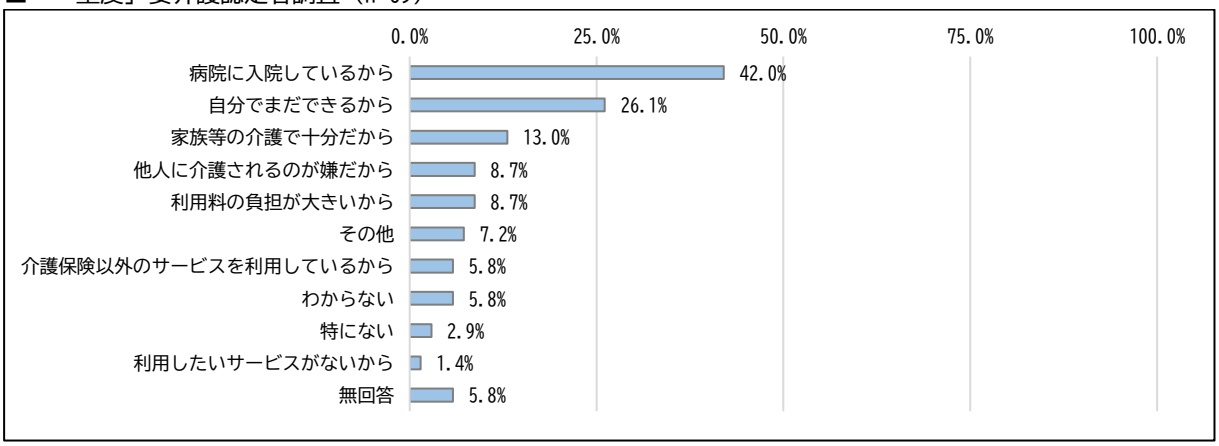
■　事業対象者・要支援認定者調査（n=560）



■　「軽度」要介護認定者調査（n=209）



■　「重度」要介護認定者調査（n=69）



（３）地域密着型サービスの認知度・利用希望状況

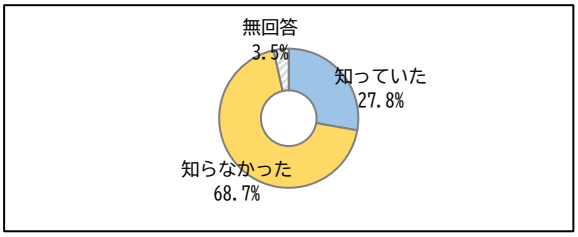
以下の介護保険サービスについて知っていましたか。また介護が必要になった場合、利用してみたいと思いますか。

①　小規模多機能型居宅介護

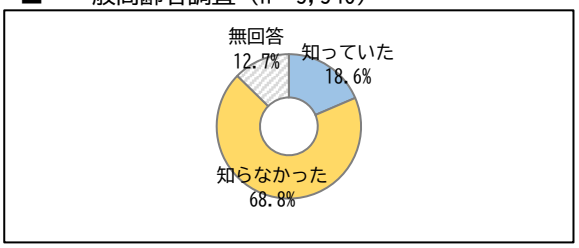
小規模多機能型居宅介護について、若年者では 27.8%が「知っていた」と回答しており、一般高齢者、事業対象者・要支援認定者、「軽度」要介護認定者では約 20%となっています。また、「利用してみたい」と回答した割合について、若年者では 70.3%と高く、一般高齢者では 56.8%となっており、「利用している」と回答した割合を含めると、事業対象者・要支援認定者では 19.2%、「軽度」要介護認定者では 24.8%、「重度」要介護認定者では 26.2%となっています。

●名称や内容について知っていましたか

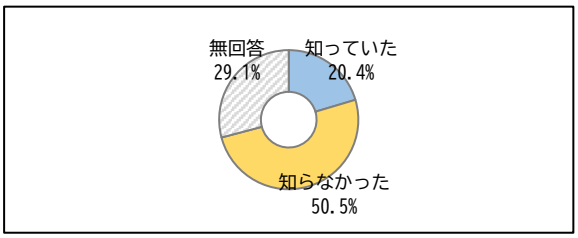
■　若年者調査（n＝1,004）



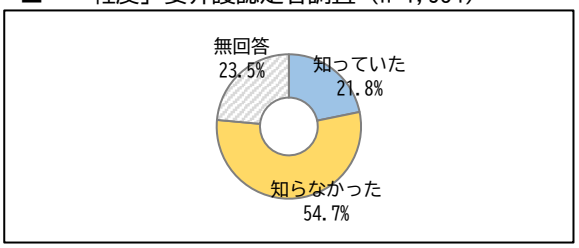
■　一般高齢者調査（n＝5,546）



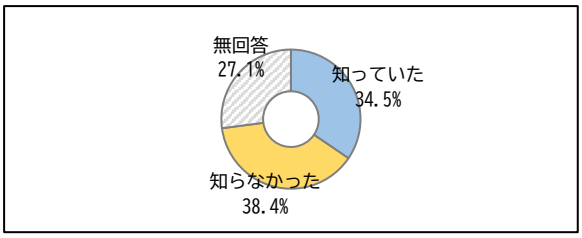
■　事業対象者・要支援認定者調査（n=1,614）



■　「軽度」要介護認定者調査（n=1,584）

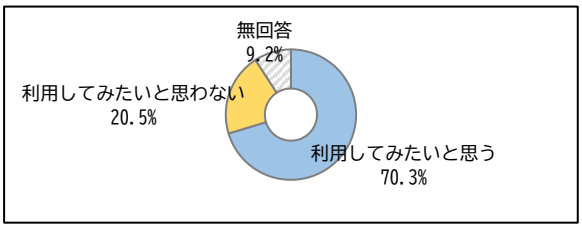


■　「重度」要介護認定者調査（n=768）

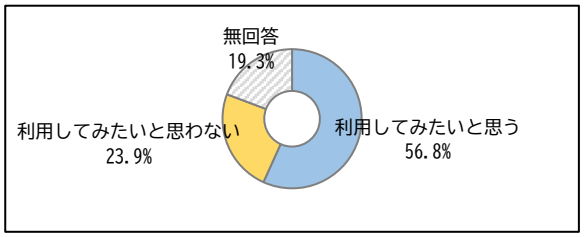


●介護が必要になった場合、利用してみたいと思いますか

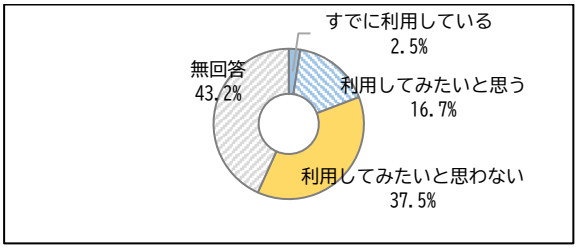
■　若年者調査（n＝1,004）



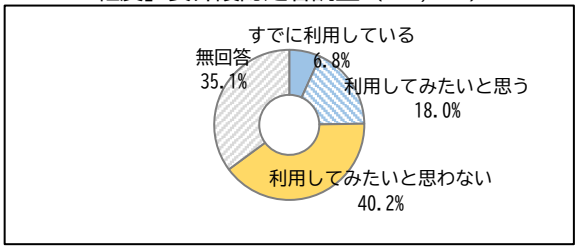
■　一般高齢者調査（n＝5,546）



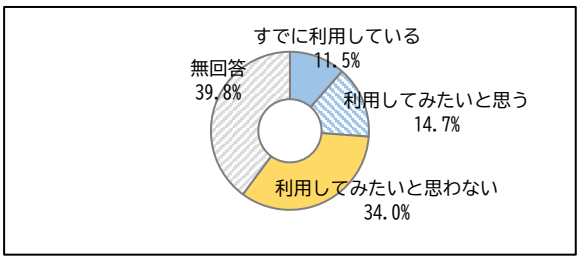
■　事業対象者・要支援認定者調査（n=1,614）



■　「軽度」要介護認定者調査（n=1,584）



■　「重度」要介護認定者調査（n=768）

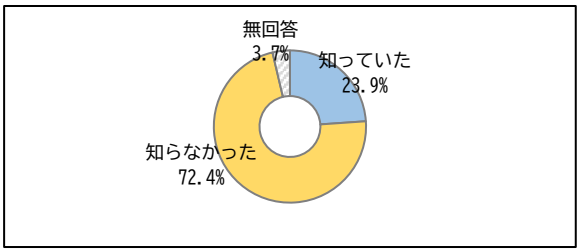


②　看護小規模多機能型居宅介護

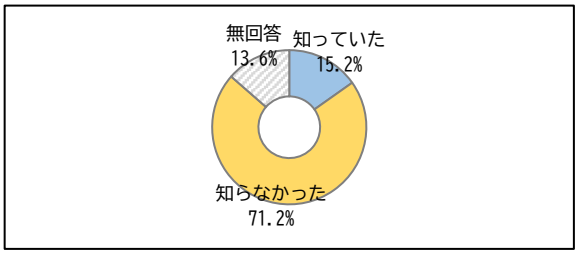
看護小規模多機能型居宅介護について、若年者では、23.9%が「知っていた」と回答しており、一般高齢者、事業対象者・要支援認定者、「軽度」要介護認定者では約 15%となっています。また、「利用してみたい」と回答した割合について、若年者では 72.1%と高く、一般高齢者では 56.1%、事業対象者・要支援認定者では 16.7%となっており、「利用している」と回答した割合を含めると、「軽度」要介護認定者では 20.1%、「重度」要介護認定者では 27.2%となっています。

●名称や内容について知っていましたか

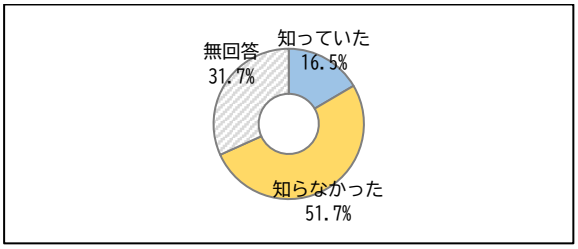
■　若年者調査（n＝1,004）



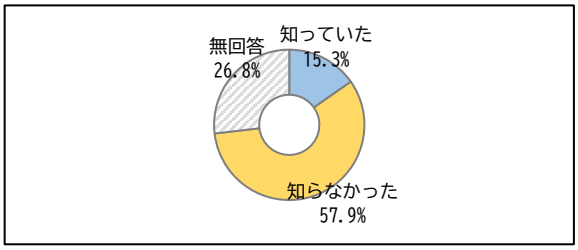
■　一般高齢者調査（n＝5,546）



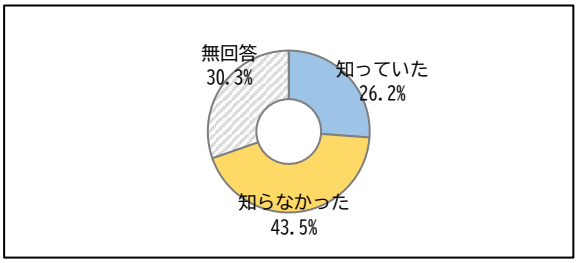
■　事業対象者・要支援認定者調査（n=1,614）



■　「軽度」要介護認定者調査（n=1,584）

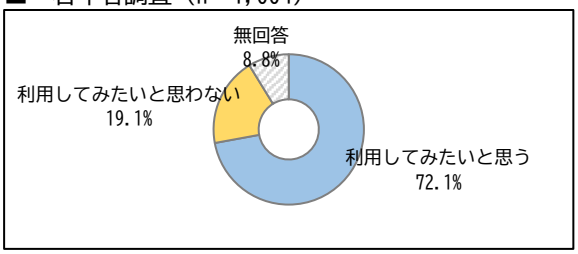


■　「重度」要介護認定者調査（n=768）

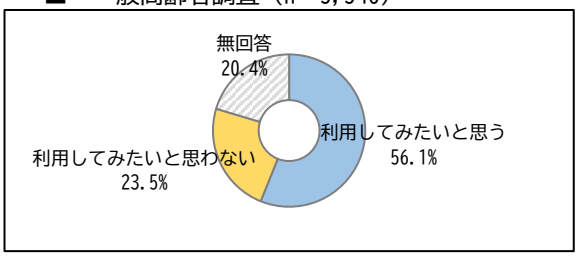


●介護が必要になった場合、利用してみたいと思いますか

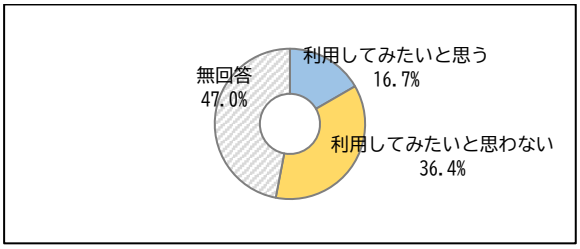
■　若年者調査（n＝1,004）



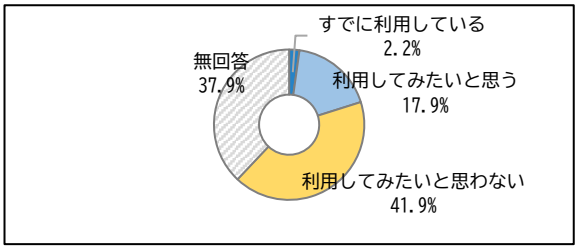
■　一般高齢者調査（n＝5,546）



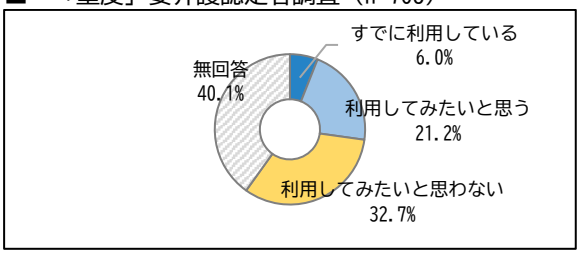
■　事業対象者・要支援認定者調査（n=1,614）



■　「軽度」要介護認定者調査（n=1,584）



■　「重度」要介護認定者調査（n=768）

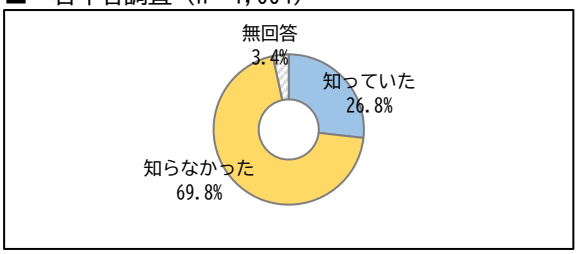


③　定期巡回・随時対応型訪問介護・看護

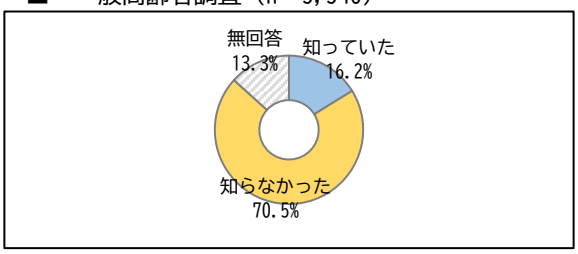
定期巡回・随時対応型訪問介護・看護について、若年者では、26.8%が「知っていた」と回答しており、一般高齢者、事業対象者・要支援認定者、「軽度」要介護認定者では約 18%となっています。また、「利用してみたい」と回答した割合について、若年者では 78.4%と高く、一般高齢者では 60.9%となっており、「利用している」と回答した割合を含めると、事業対象者・要支援認定者では 21.9%、「軽度」要介護認定者では 26.1%、「重度」要介護認定者では 37.1%となっています。

●名称や内容について知っていましたか

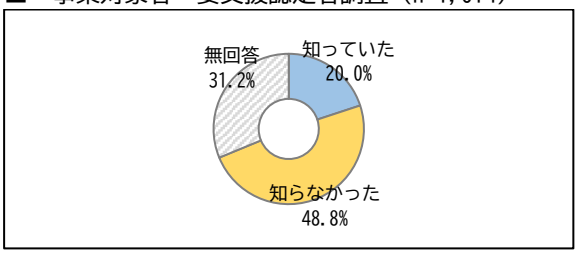
■　若年者調査（n＝1,004）



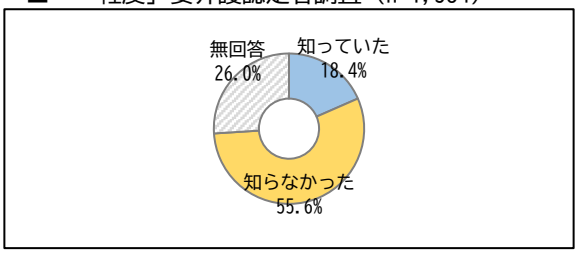
■　一般高齢者調査（n＝5,546）



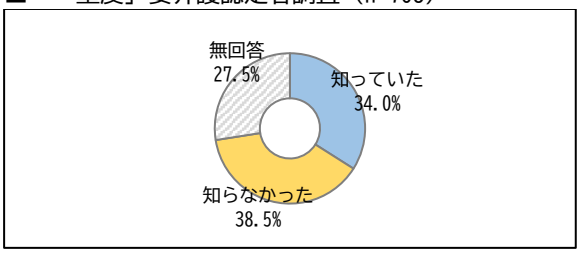
■　事業対象者・要支援認定者調査（n=1,614）



■　「軽度」要介護認定者調査（n=1,584）

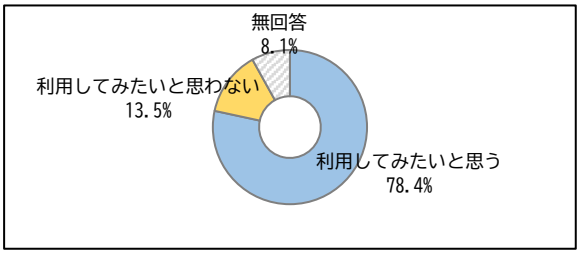


■　「重度」要介護認定者調査（n=768）

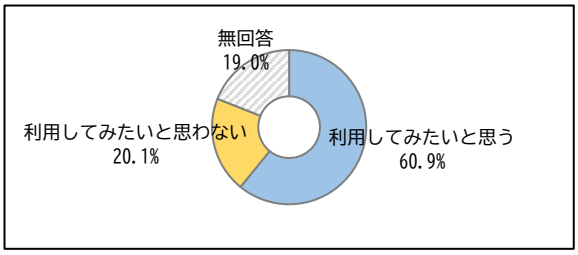


●介護が必要になった場合、利用してみたいと思いますか

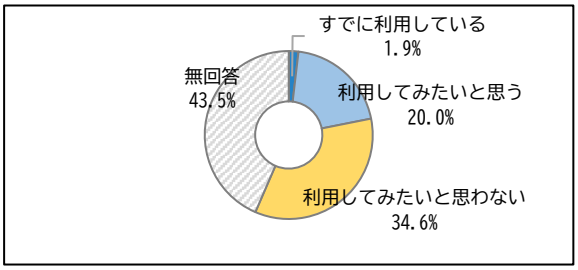
■　若年者調査（n＝1,004）



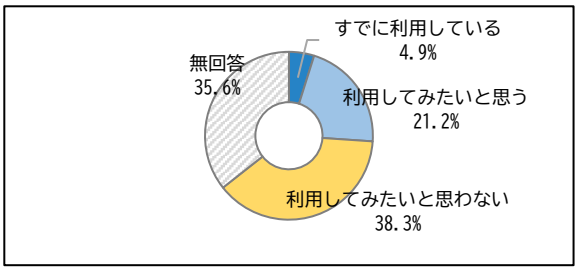
■　一般高齢者調査（n＝5,546）



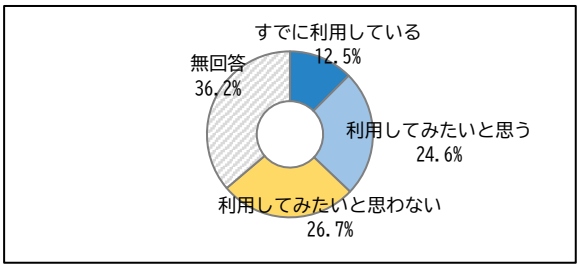
■　事業対象者・要支援認定者調査（n=1,614）



■　「軽度」要介護認定者調査（n=1,584）



■　「重度」要介護認定者調査（n=768）

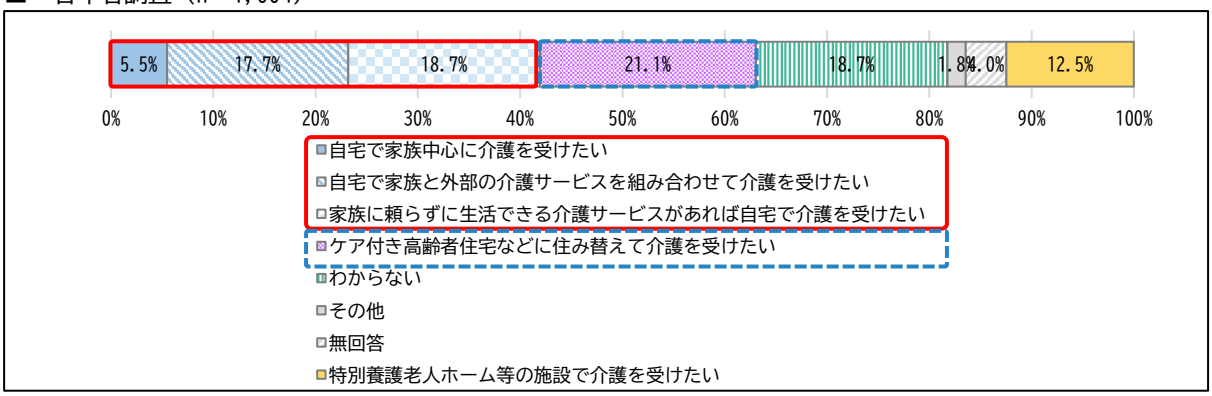


（４）介護が必要になった場合に希望する介護と場所

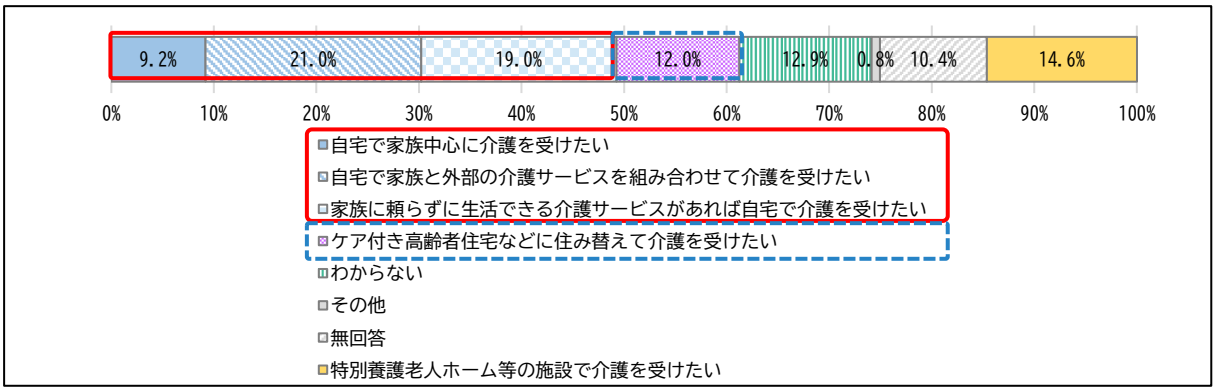
あなたご自身が寝たきりや認知症になり、介護が必要になった場合に、どこでどのような介護を受けたいと思いますか。（１つの番号に○）

介護が必要になった場合にどこでどのような介護を受けたいかについて、若年者では「自宅で」と回答した割合が 41.9%、一般高齢者では 49.2%、事業対象者・要支援認定者では 46.0%、「軽度」要介護認定者では 51.2%、「重度」要介護認定者では 52.3%となっています。また、若年者において「ケア付き高齢者住宅などに住み替えて介護を受けたい」と回答した割合が高くなっており、21.1%となっています。

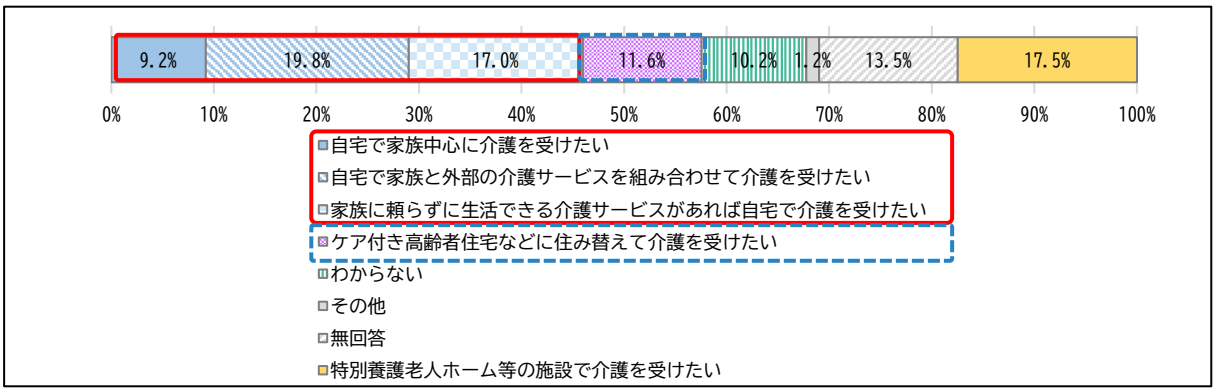
■　若年者調査（n＝1,004）



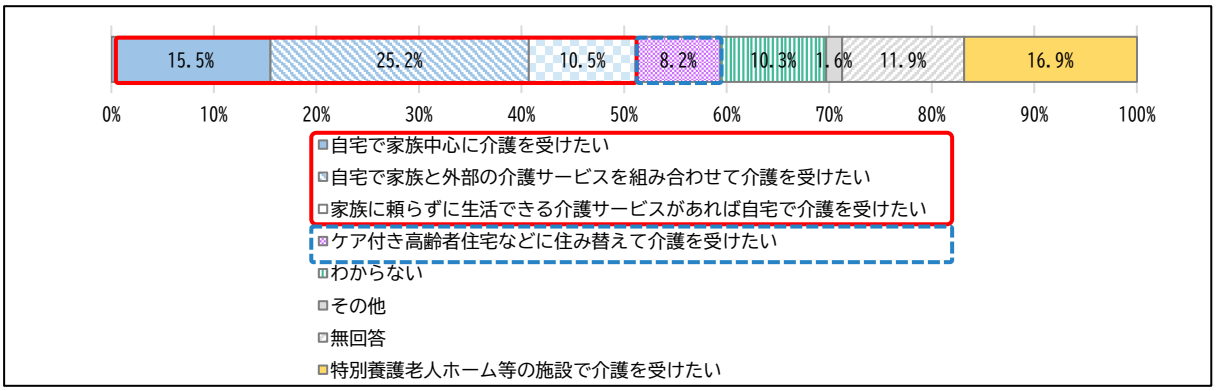
■　一般高齢者調査（n＝5,546）



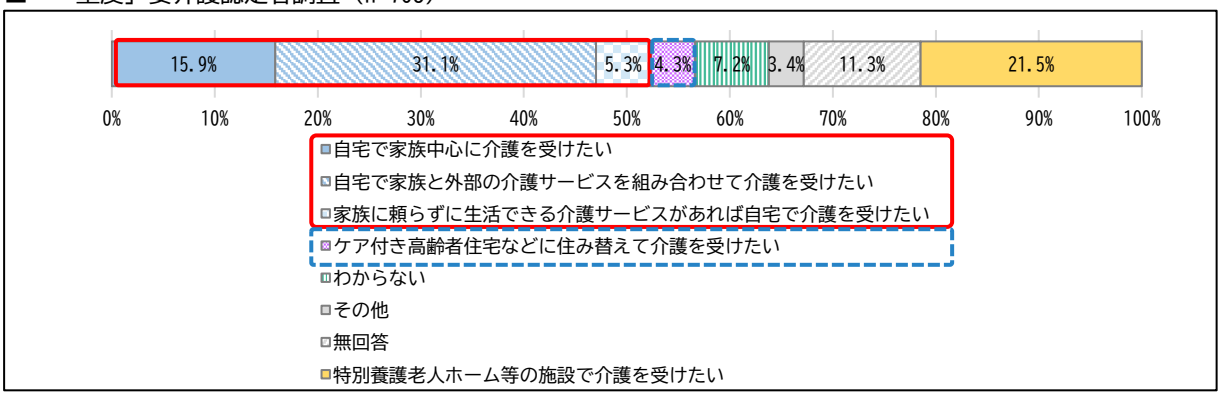
■　事業対象者・要支援認定者調査（n=1,614）



■　「軽度」要介護認定者調査（n=1,584）



■　「重度」要介護認定者調査（n=768）

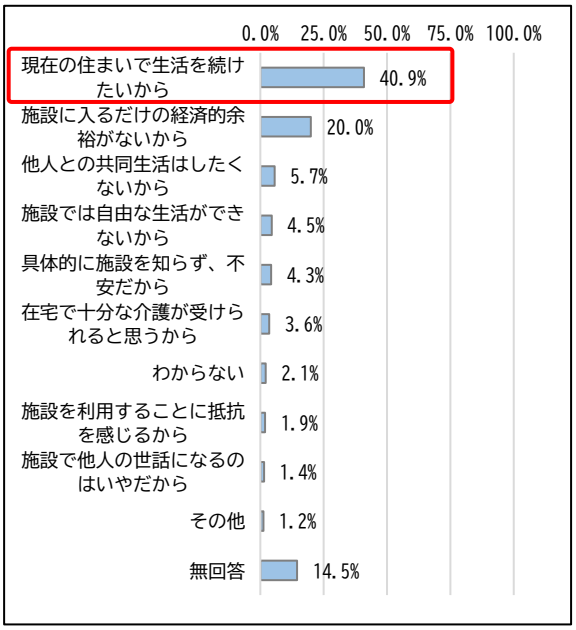


自宅で介護と回答した方のみ、お答えください。

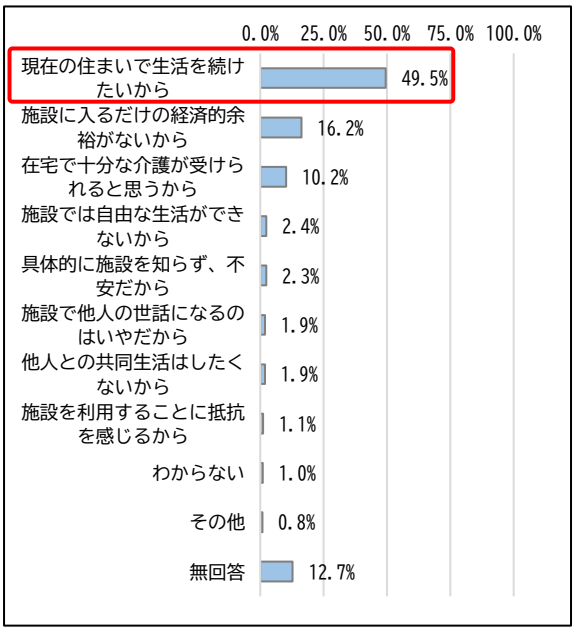
あなたが在宅での介護を選択する理由を教えてください。（１つの番号に○）

在宅での介護を選択する理由について、いずれも「現在の住まいで生活を続けたいから」が多く、約 50%となっています。

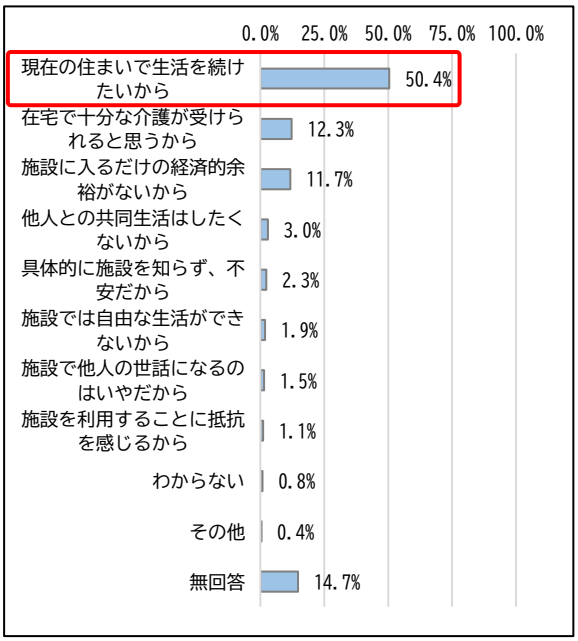
■　若年者調査（n＝421）



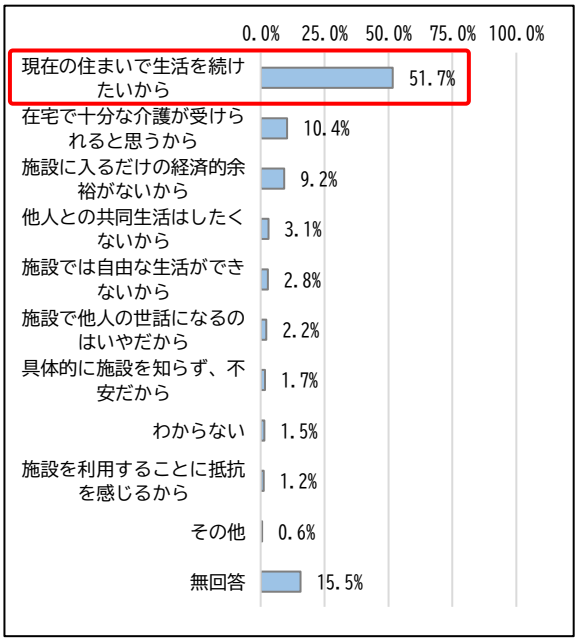
■　一般高齢者調査（n＝2,732）



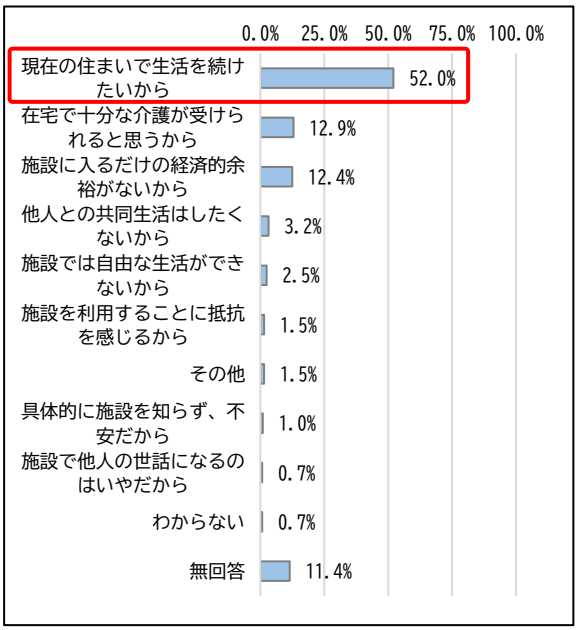
■　事業対象者・要支援認定者調査（n=742）



■　「軽度」要介護認定者調査（n=811）



■　「重度」要介護認定者調査（n=402）

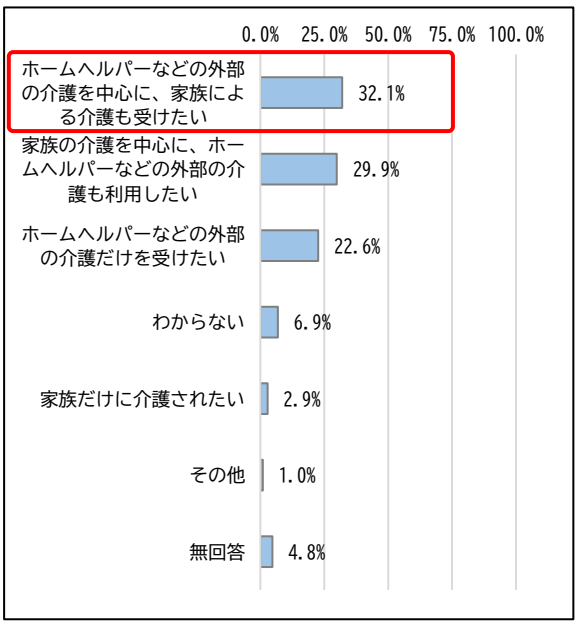


自宅で介護と回答した方のみ、お答えください。

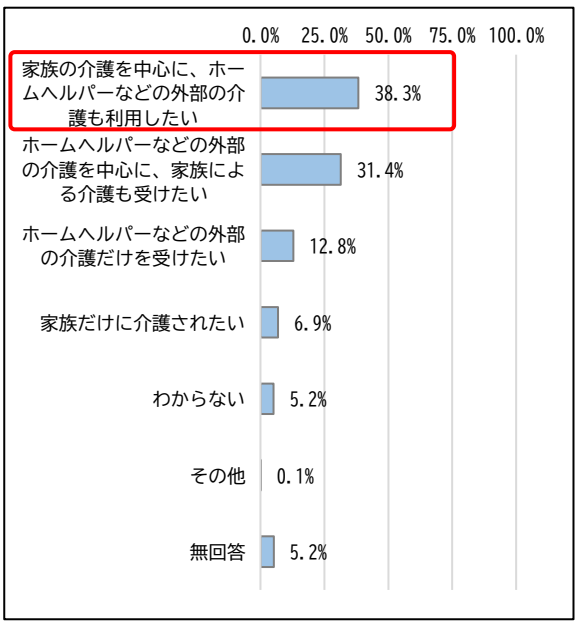
その際に、あなたはどのような介護を受けたいですか。（１つの番号に○）

在宅での介護について、若年者では「ホームヘルパーなどの外部の介護を中心に、家族による介護も受けたい」が最も多く、一般高齢者、事業対象者・要支援認定者、「軽度」要介護認定者、「重度」要介護認定者では「家族の介護を中心に、ホームヘルパーなどの外部の介護も利用したい」が最も多くなっています。

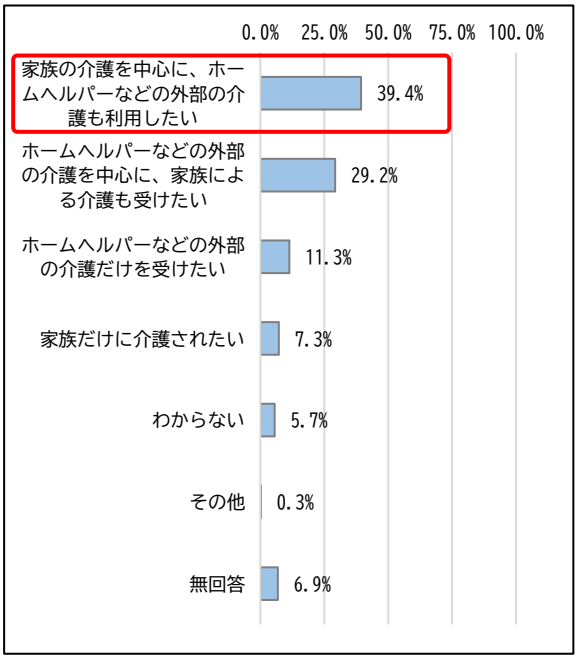
■　若年者調査（n＝421）



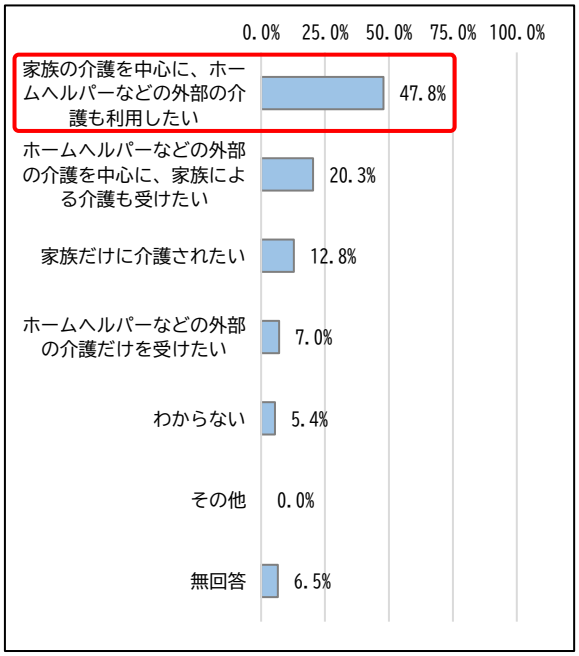
■　一般高齢者調査（n＝2,732）



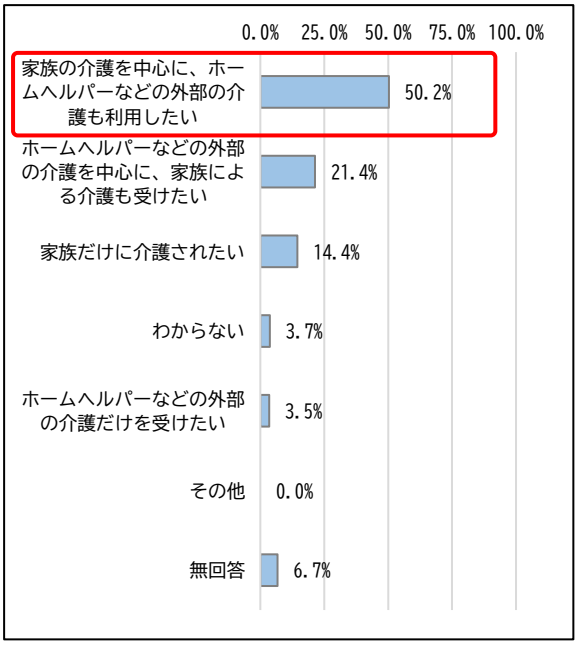
■　事業対象者・要支援認定者調査（n=742）



■　「軽度」要介護認定者調査（n=811）



■　「重度」要介護認定者調査（n=402）

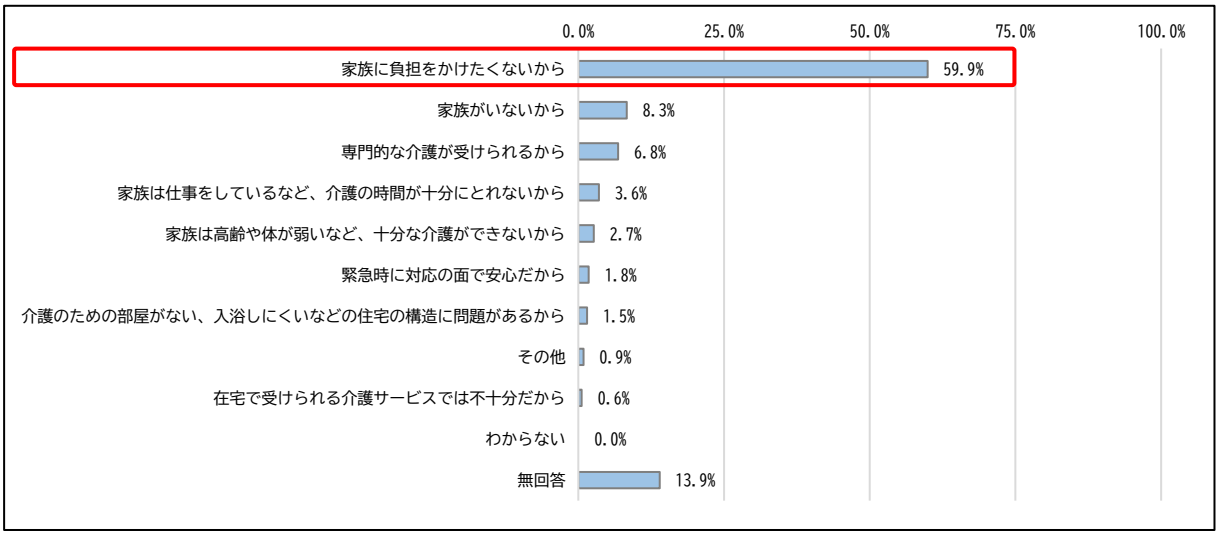


外部の介護を受けたいと回答した方のみ、お答えください。

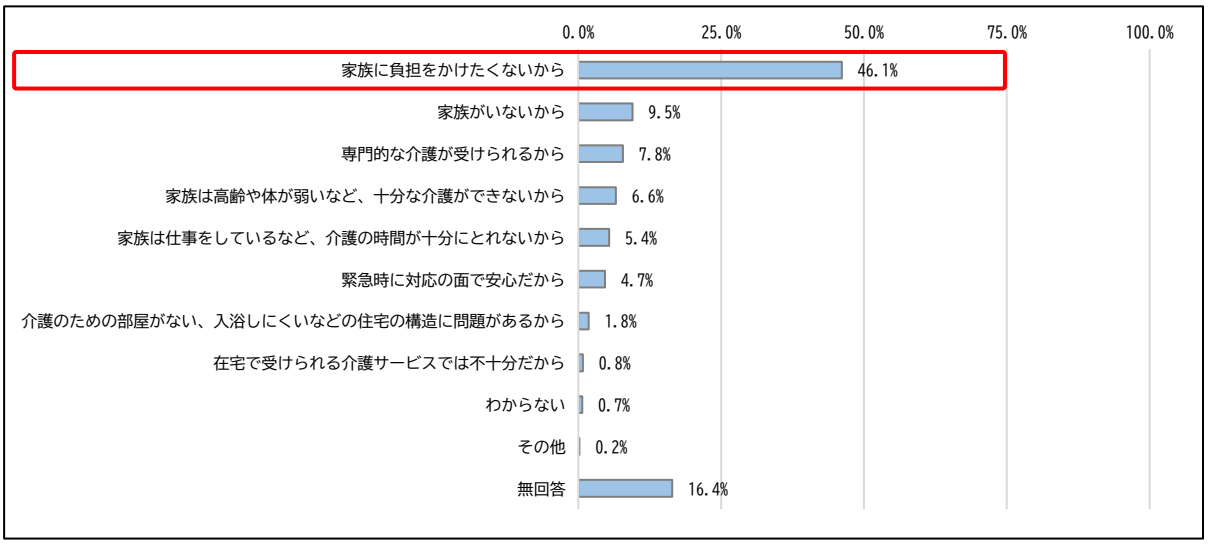
あなたが、施設入所を選択する理由を教えてください。（１つの番号に○）

施設入所を選択する理由について、「家族に負担をかけたくないから」と回答した割合が最も高く、若年者では約６割となっています。

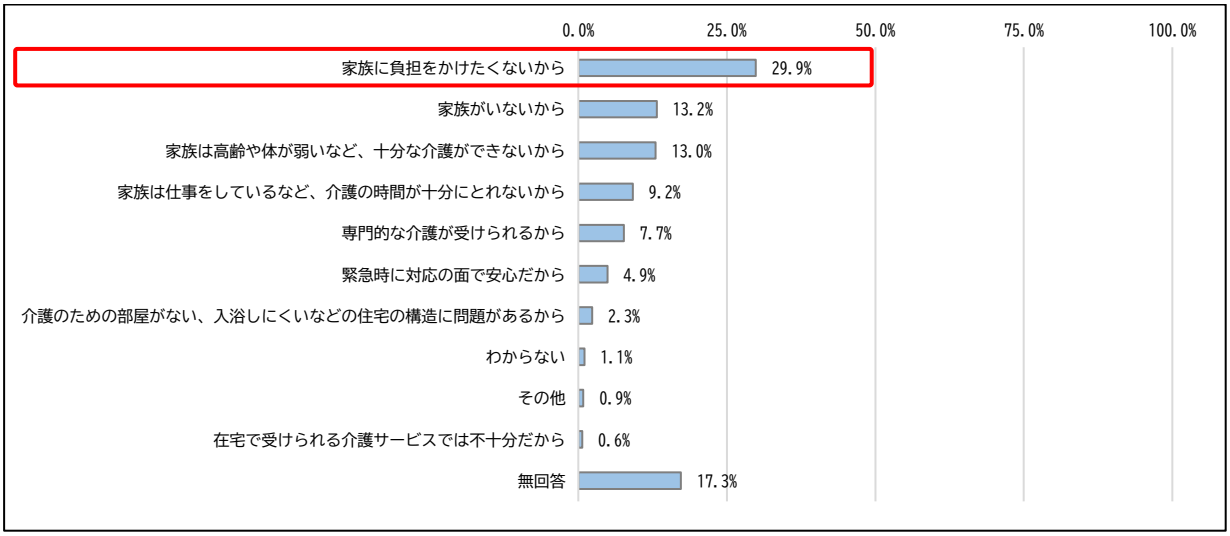
■　若年者調査（n＝337）



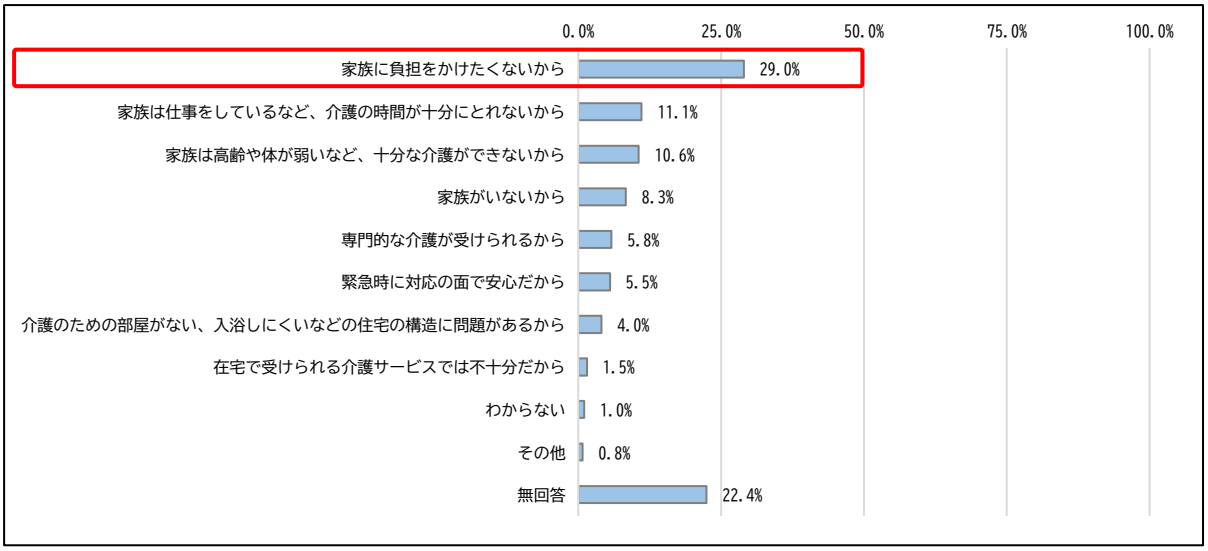
■　一般高齢者調査（n＝1,475）



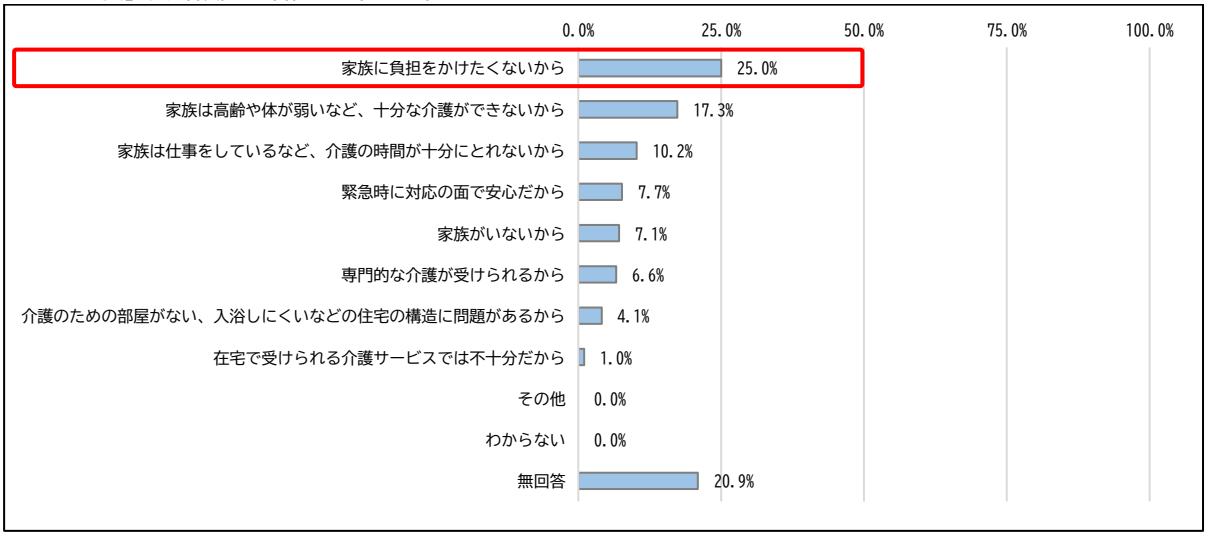
■　事業対象者・要支援認定者調査（n=469）



■　「軽度」要介護認定者調査（n=397）



■　「重度」要介護認定者調査（n=196）

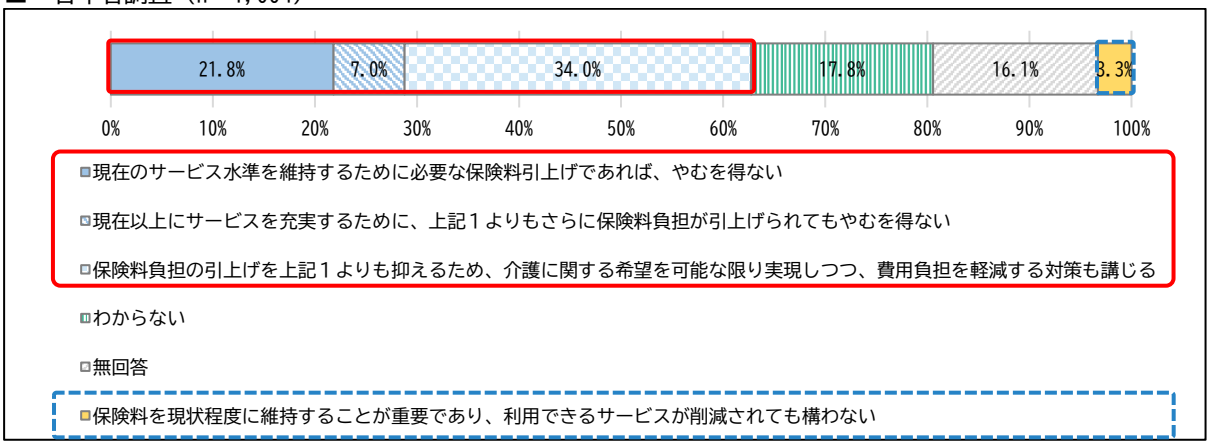


（５）介護サービスと保険料負担

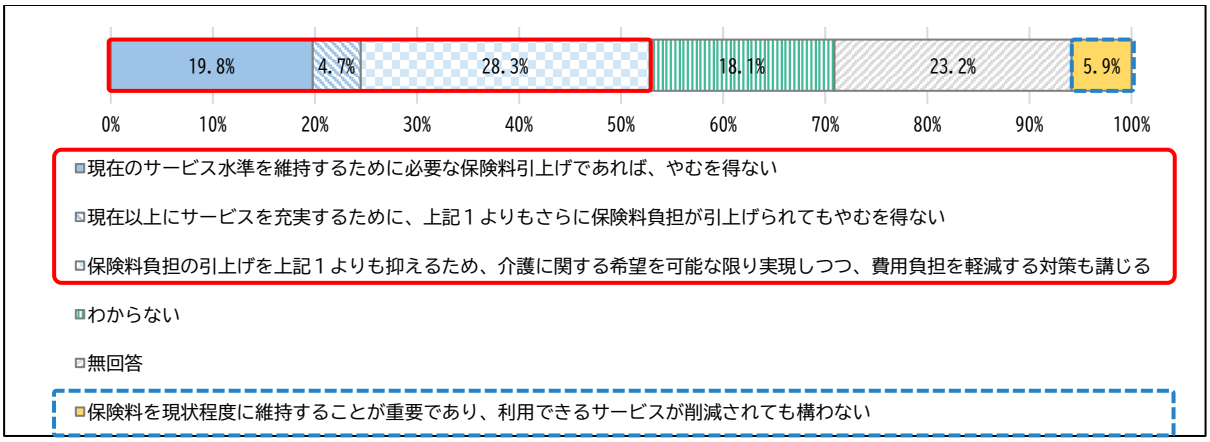
今後、現役世代が減少する一方で、サービス利用対象者が増加することにより、現在のサービス水準を維持していくためには、保険料負担が大きく増加します。介護サービスと、サービスを支える保険料負担について、あなたはどう考えますか。（１つの番号に○）

サービス水準を維持していくための保険料負担について「引上げについてやむを得ない」と回答した割合について、若年者では 62.8%、一般高齢者では 52.8%、事業対象者・要支援認定者では 54.2%、「軽度」要介護認定者では 52.5%、「重度」要介護認定者では 58.9%となっています。

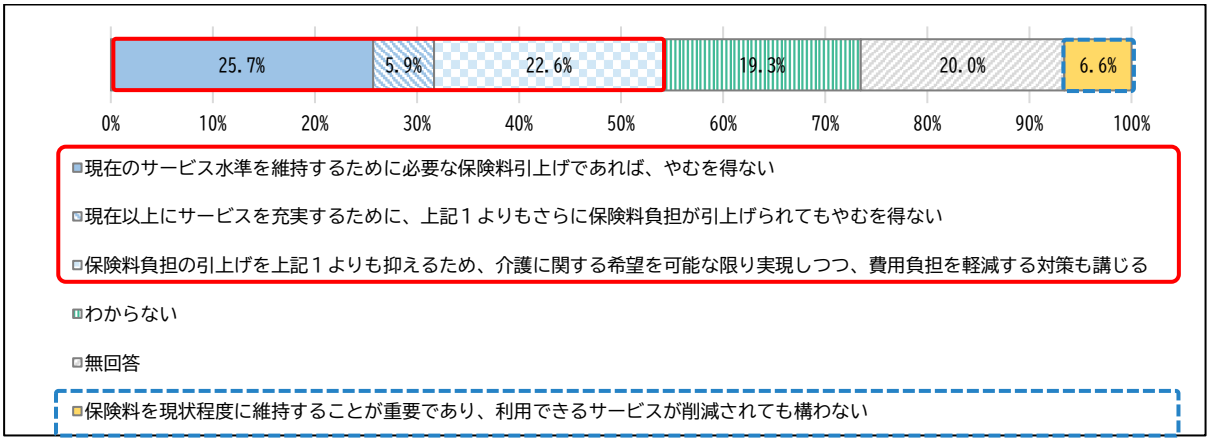
■　若年者調査（n＝1,004）



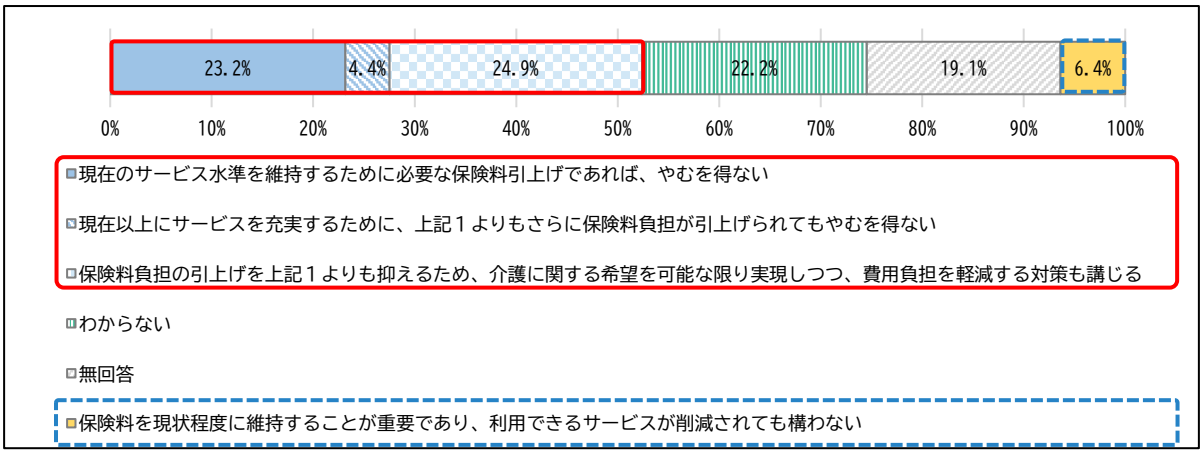
■　一般高齢者調査（n＝5,546）



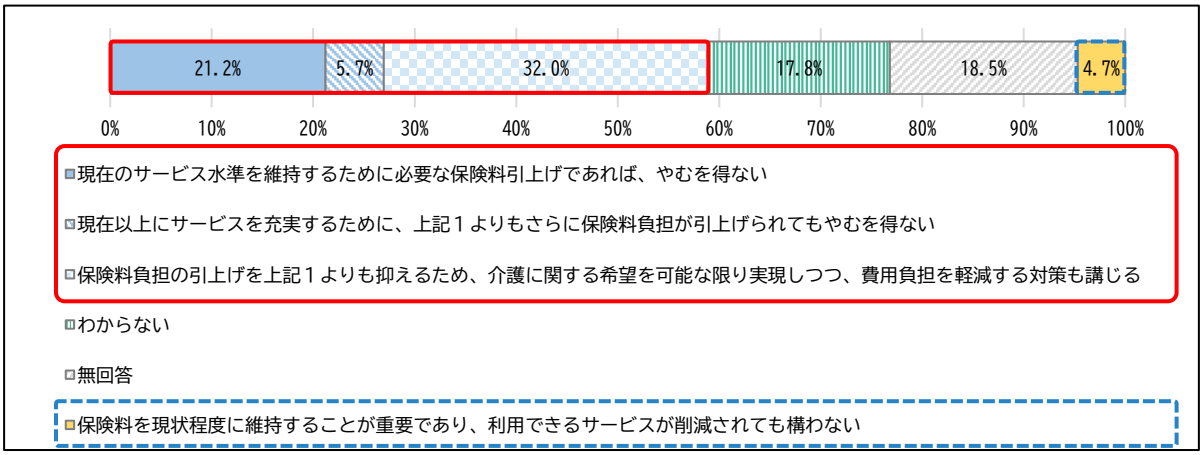
■　事業対象者・要支援認定者調査（n=1，614）



■　「軽度」要介護認定者調査（n=1,584）



■　「重度」要介護認定者調査（n=768）



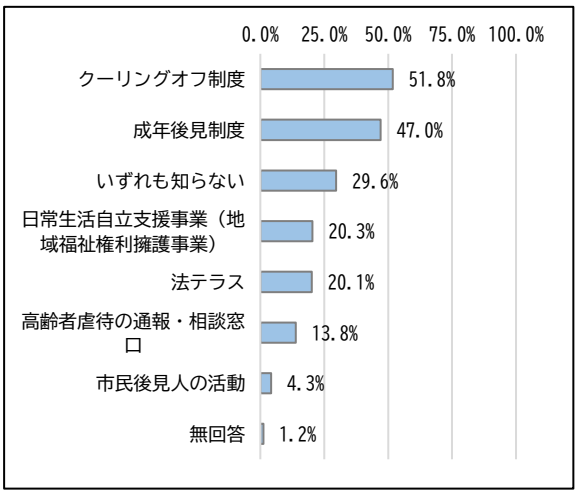
12．権利擁護・成年後見人制度について

（１）権利擁護

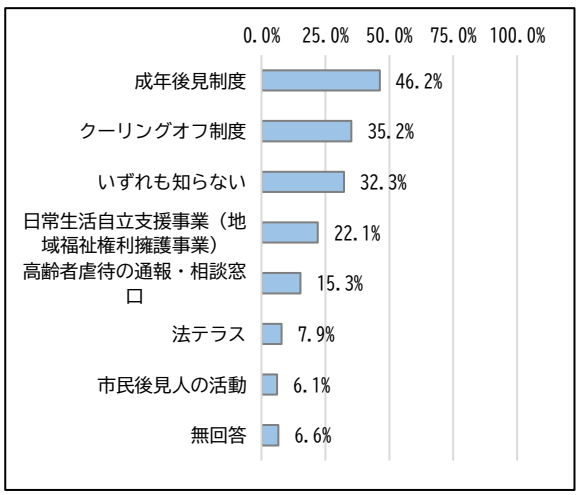
あなたが、高齢者が安心して暮らせるための権利擁護の制度や仕組みについて知っているものはどれですか。（あてはまるすべての番号に○）

高齢者が安心して暮らせるための権利擁護の制度や仕組みについて、若年者並びに一般高齢者では、「クーリングオフ制度」「成年後見制度」の認知度が高くなっていますが、事業対象者・要支援認定者、「軽度」要介護認定者、「重度」要介護認定者では「いずれも知らない」が最も多くなっています。

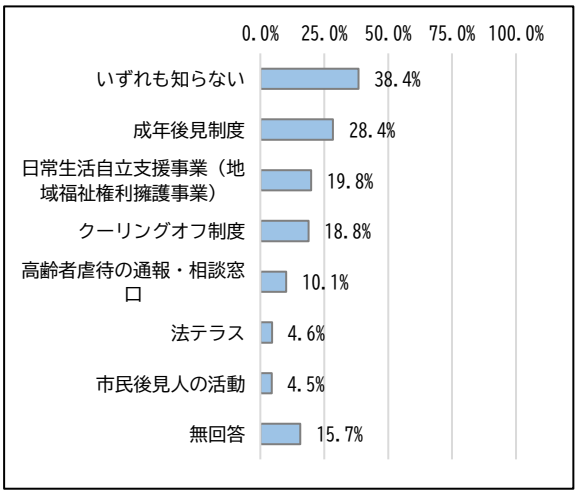
■　若年者調査（n＝1,004）



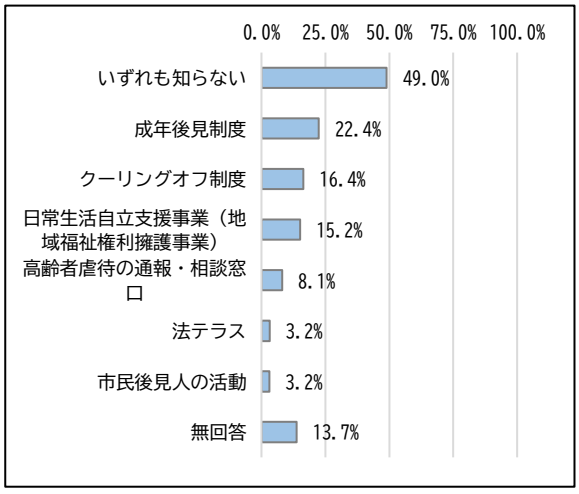
■　一般高齢者調査（n＝5,546）



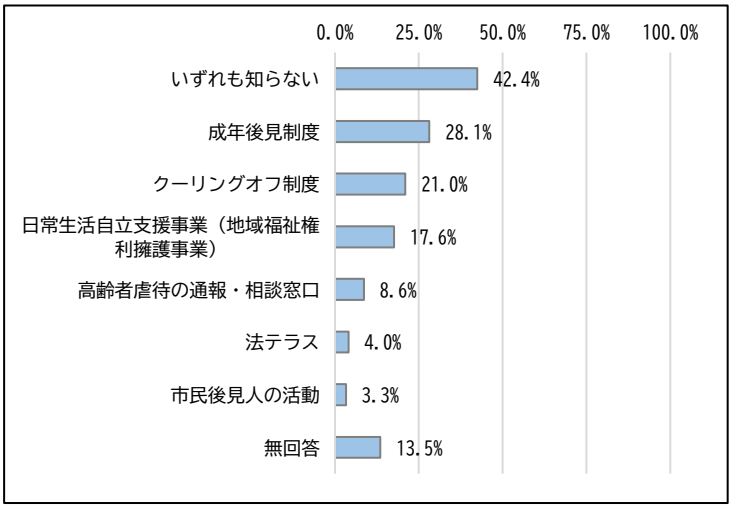
■　事業対象者・要支援認定者調査（n=1,614）



■　「軽度」要介護認定者調査（n=1,584）



■　「重度」要介護認定者調査（n=768）

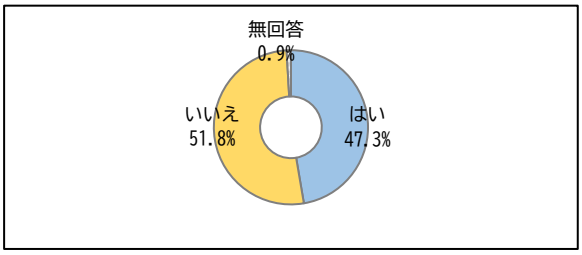


（２）高齢者虐待の防止

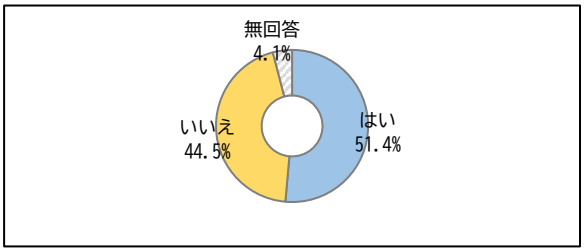
あなたは、高齢者虐待を発見した場合、通報する（努力）義務があることを知っていますか。（どちらかの番号に○）

高齢者虐待を発見した場合、通報する（努力）義務があることについて、「知っている」と回答した割合は約 50%となっています。

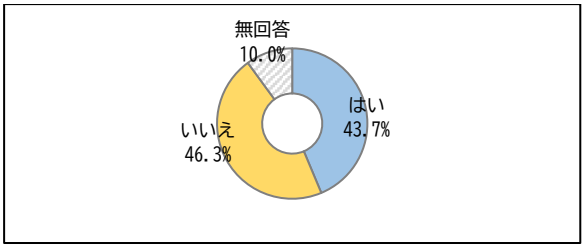
■　若年者調査（n＝1,004）



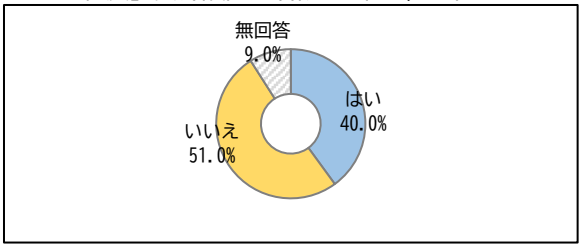
■　一般高齢者調査（n＝5,546）



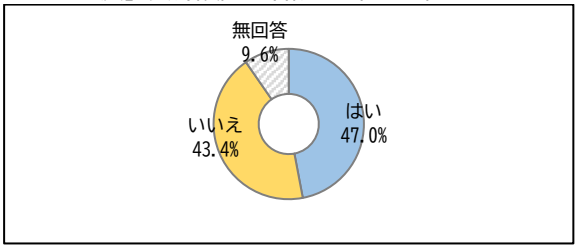
■　事業対象者・要支援認定者調査（n=1,614）



■　「軽度」要介護認定者調査（n=1,584）



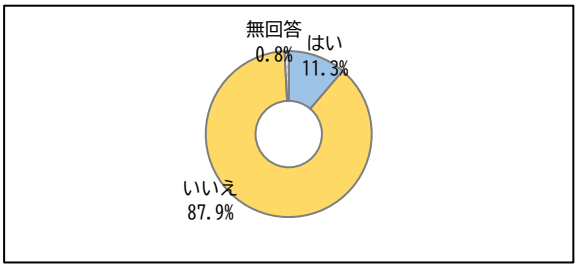
■　「重度」要介護認定者調査（n=768）



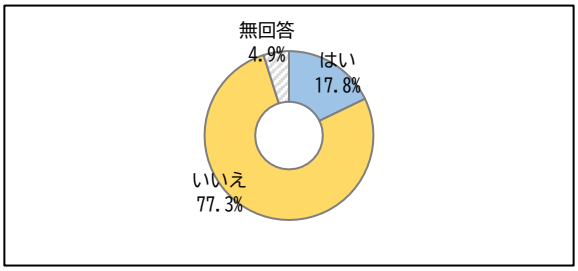
あなたは、高齢者虐待を発見した場合の通報先を知っていますか。（どちらかの番号に○）

高齢者虐待を発見した場合の通報先について、「知っている」と回答した割合は約 15%となっています。

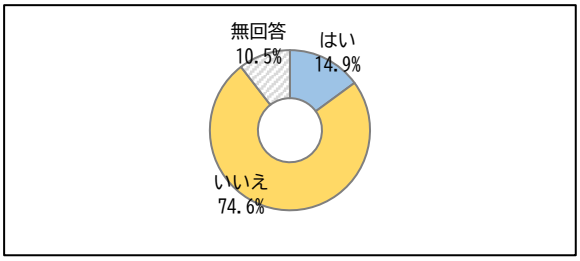
■　若年者調査（n＝1,004）



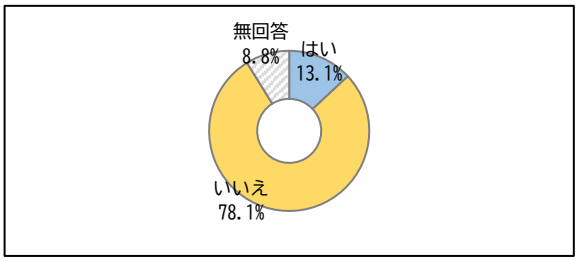
■　一般高齢者調査（n＝5,546）



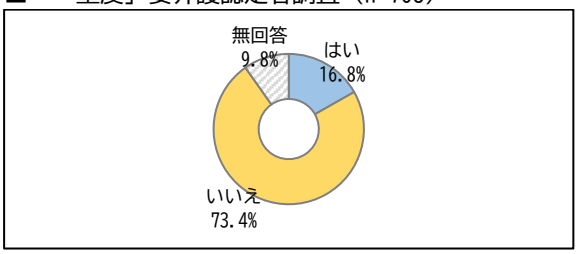
■　事業対象者・要支援認定者調査（n=1,614）



■　「軽度」要介護認定者調査（n=1,584）



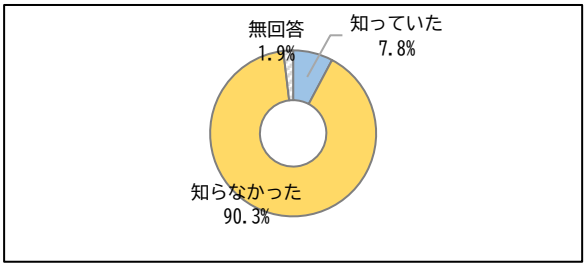
■　「重度」要介護認定者調査（n=768）



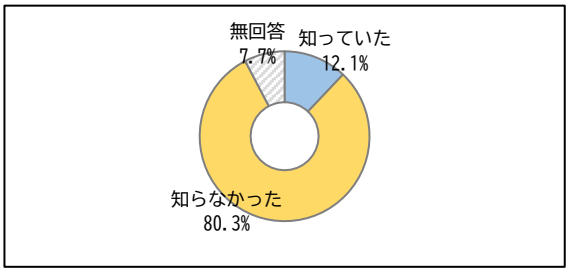
あなたは、高齢者虐待の防止に関する講演会や勉強会が開催されていることを知っていましたか。

高齢者虐待の防止に関する講演会や勉強会が開催されていることについて、「知っている」と回答した割合は約 10%となっています。

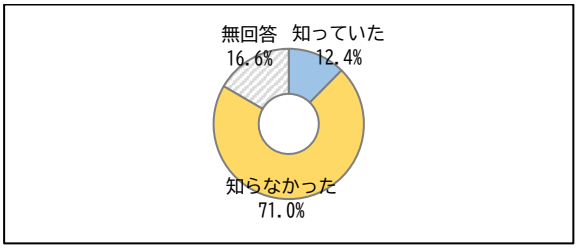
■　若年者調査（n＝1,004）



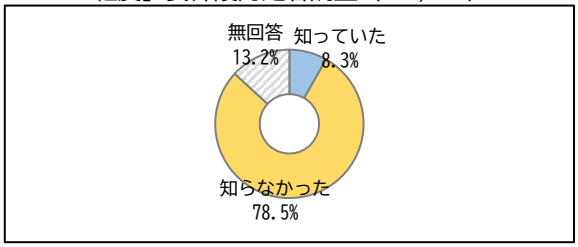
■　一般高齢者調査（n＝5,546）



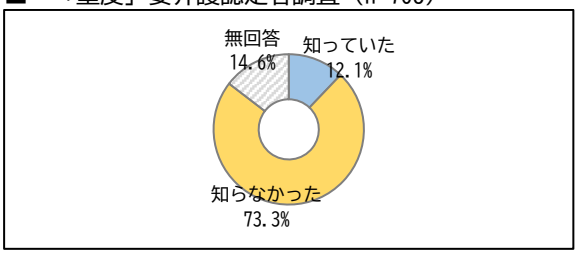
■　事業対象者・要支援認定者調査（n=1,614）



■　「軽度」要介護認定者調査（n=1,584）



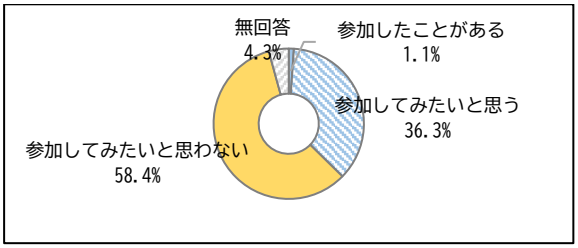
■　「重度」要介護認定者調査（n=768）



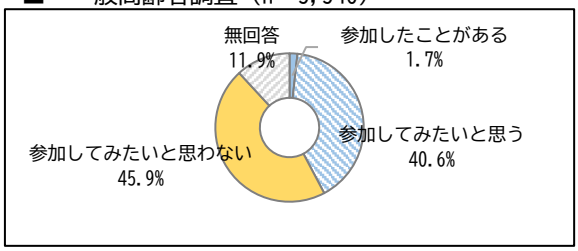
あなたは、高齢者虐待の防止に関する講演会や勉強会に参加してみたいと思いますか（１つに○）

高齢者虐待の防止に関する講演会や勉強会に「参加したことがある」「参加してみたい」と回答した割合について、若年者では 37.4%、一般高齢者では 42.3%と高くなっています。

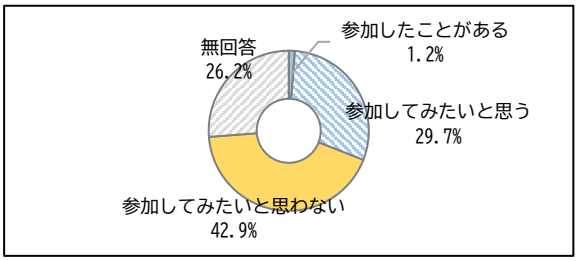
■　若年者調査（n＝1,004）



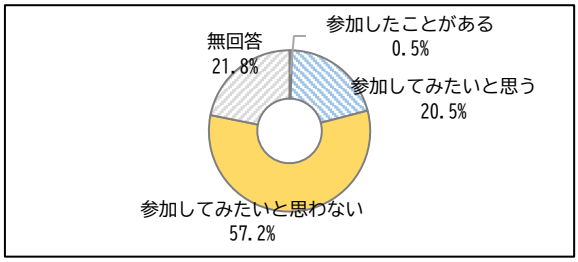
■　一般高齢者調査（n＝5,546）



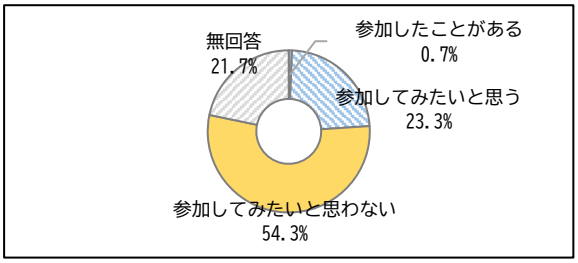
■　事業対象者・要支援認定者調査（n=1,614）



■　「軽度」要介護認定者調査（n=1,584）



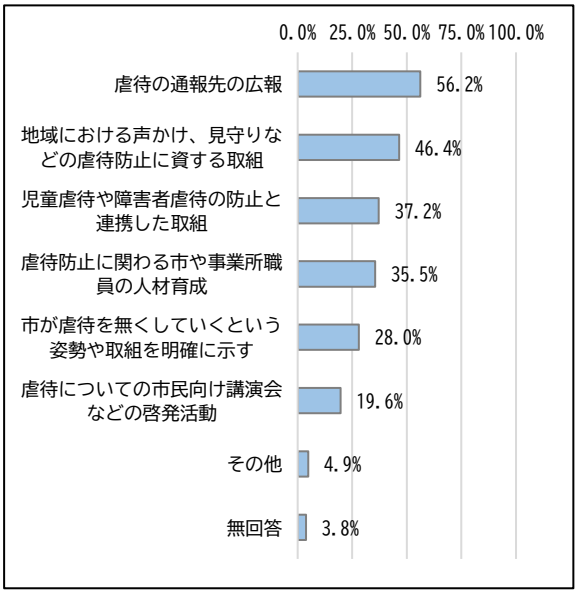
■　「重度」要介護認定者調査（n=768）



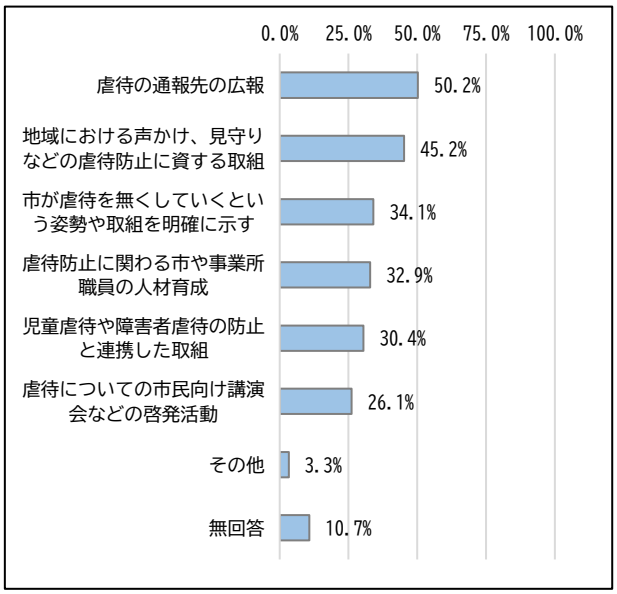
虐待の防止を推進するためにどんな取組が必要だと思いますか。（あてはまるすべての番号に○）

虐待の防止を推進するための取り組みとして「虐待の通報先の広報」「地域における声かけ、見守りなどの虐待防止に資する取組」が必要であると回答した割合が高くなっています。

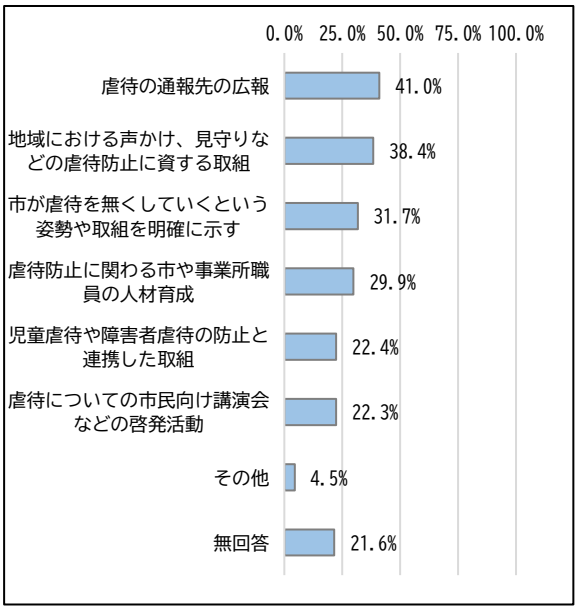
■　若年者調査（n＝1,004）



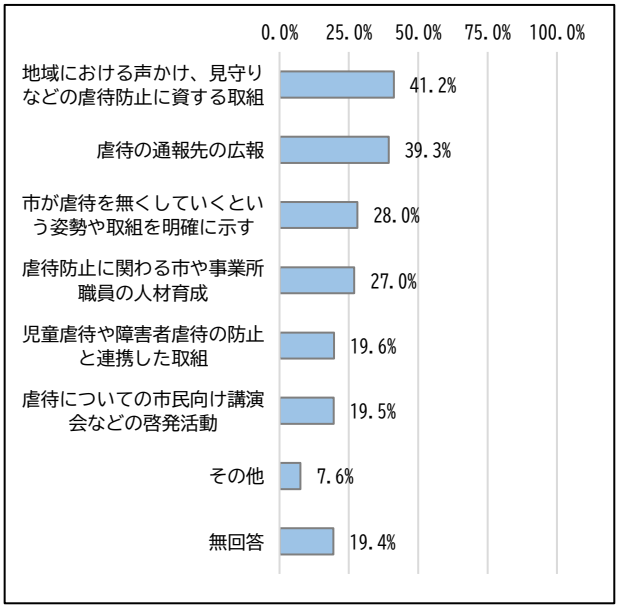
■　一般高齢者調査（n＝5,546）



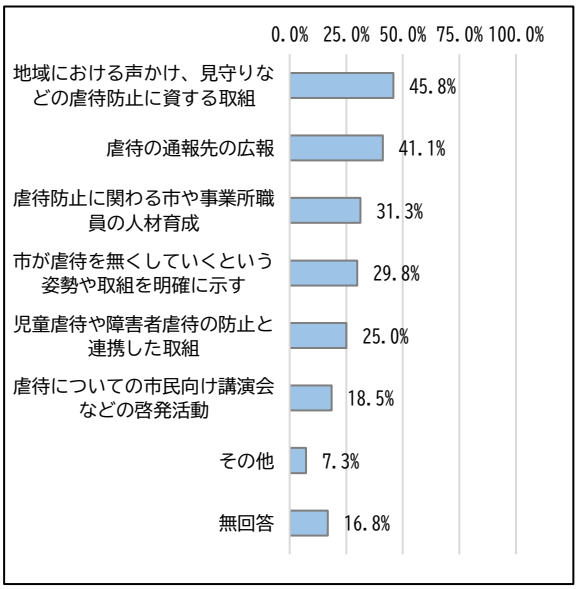
■　事業対象者・要支援認定者調査（n=1,614）



■　「軽度」要介護認定者調査（n=1,584）



■　「重度」要介護認定者調査（n=768）

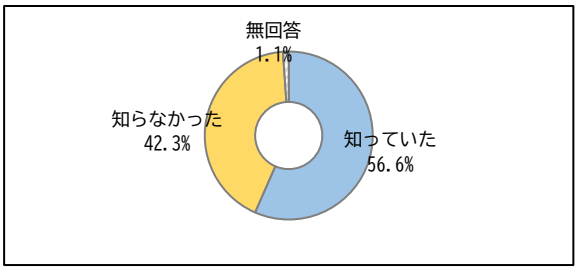


（３）成年後見制度の認知度

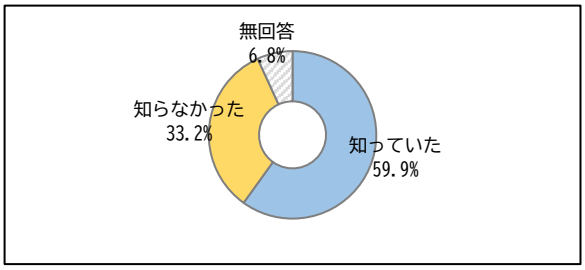
成年後見制度を知っていましたか。（どちらかに○）

成年後見制度を「知っている」と回答した割合について、若年者並びに一般高齢者ともに約６割となっています。

■　若年者調査（n＝1,004）



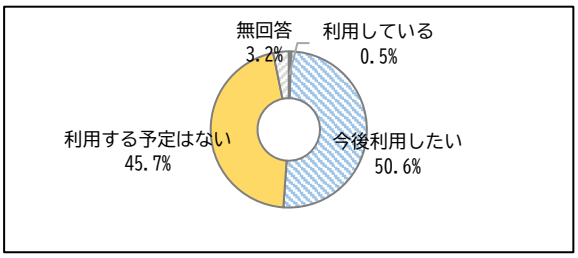
■　一般高齢者調査（n＝5,546）



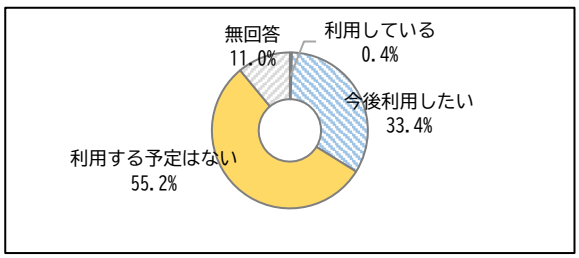
必要になったときに成年後見制度を利用したいですか（１つに○）

必要になったとき、成年後見制度を「利用したい」と回答した割合について、若年者では50.6%、一般高齢者では33.4%となっています。

■　若年者調査（n＝1,004）



■　一般高齢者調査（n＝5,546）

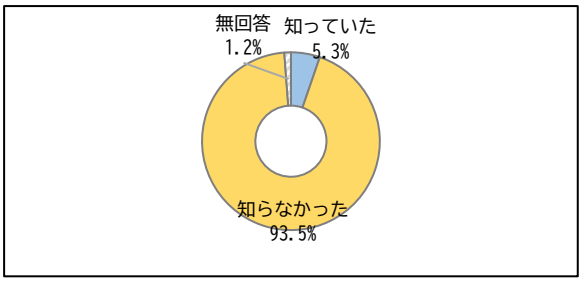


（４）市民後見協力員の認知度

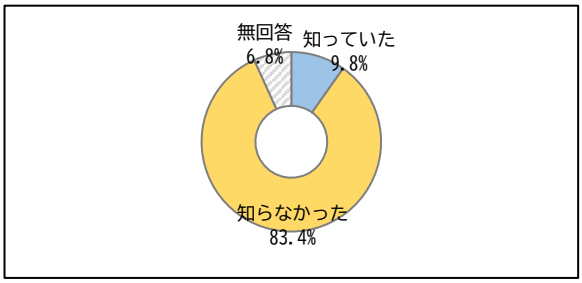
「市民後見協力員」について、現在、松戸市で養成講座を実施しております。この制度について、知っていましたか。（どちらかに○）

市民後見協力員制度を「知っている」と回答した割合について、若年者では 5.3%、一般高齢者では 9.8%にとどまっています。

■　若年者調査（n＝1,004）



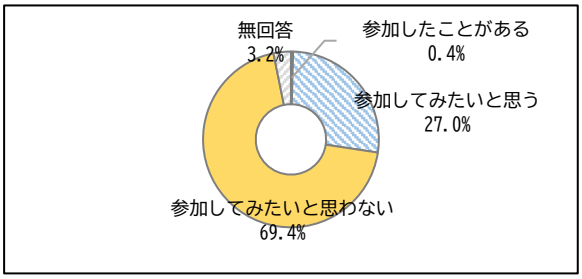
■　一般高齢者調査（n＝5,546）



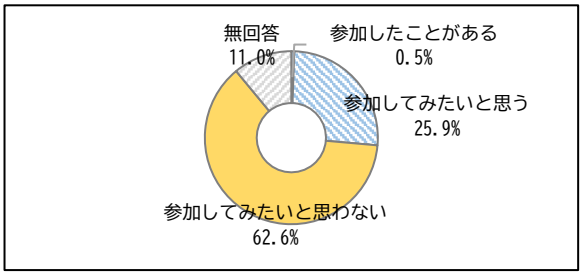
「市民後見協力員」について、現在、松戸市で養成講座を実施しております。講座に参加してみたいと思いますか（１つに○）

市民後見協力員養成講座について「講座に参加してみたいと思う」と回答した割合は、若年者では 27.0%、一般高齢者では 25.9%となっています。

■　若年者調査（n＝1,004）



■　一般高齢者調査（n＝5,546）



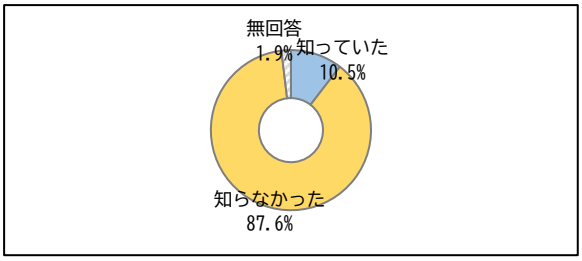
13．市の高齢者施策について

（１）福祉まるごと相談窓口

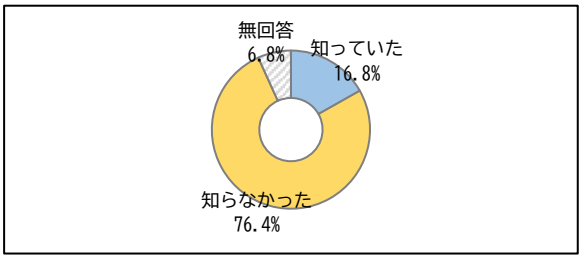
福祉まるごと相談窓口について名称や内容を知っていましたか（どちらかに○）

福祉まるごと相談窓口の名称や内容について知っていると回答した割合は、若年者では10.5%、一般高齢者では16.8%となっています。

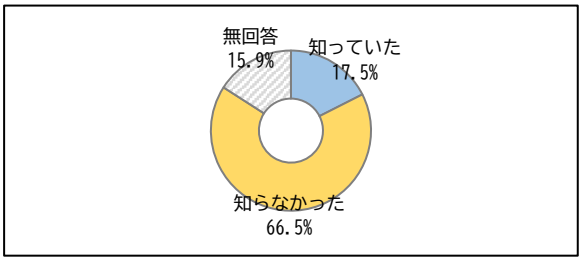
■　若年者調査（n＝1,004）



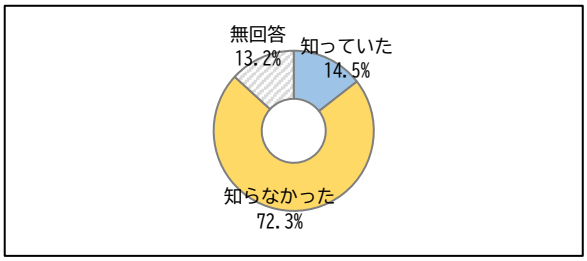
■　一般高齢者調査（n＝5,546）



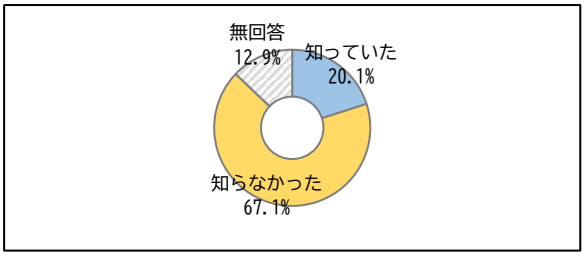
■　事業対象者・要支援認定者調査（n=1,614）



■　「軽度」要介護認定者調査（n=1,584）



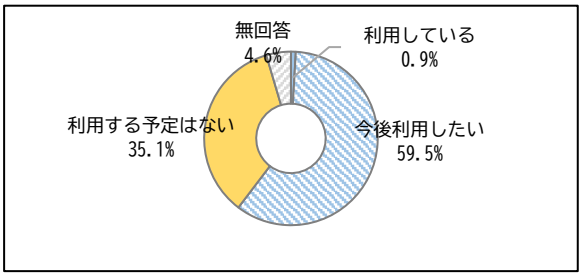
■　「重度」要介護認定者調査（n=768）



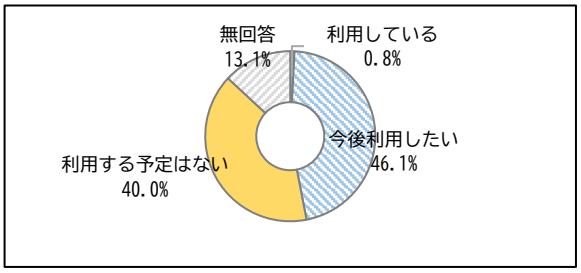
福祉まるごと相談窓口について利用してみたいと思いますか（１つに○）

福祉まるごと相談窓口を「今後利用したい」と回答した割合について、若年者では 59.5%と高くなっており、一般高齢者では 46.1%となっています。

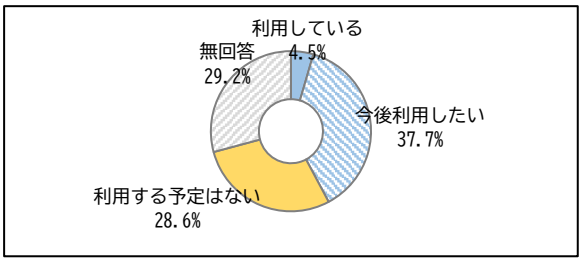
■　若年者調査（n＝1,004）



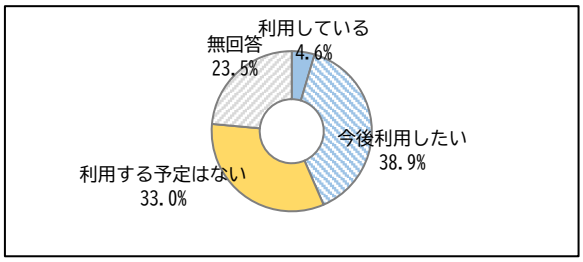
■　一般高齢者調査（n＝5,546）



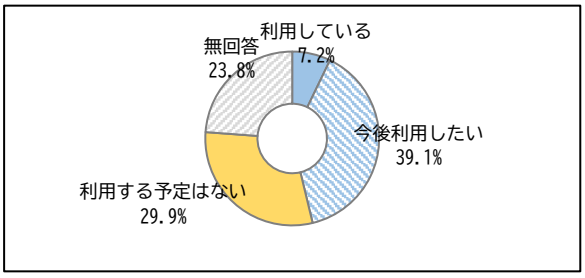
■　事業対象者・要支援認定者調査（n=1,614）



■　「軽度」要介護認定者調査（n=1,584）



■　「重度」要介護認定者調査（n=768）



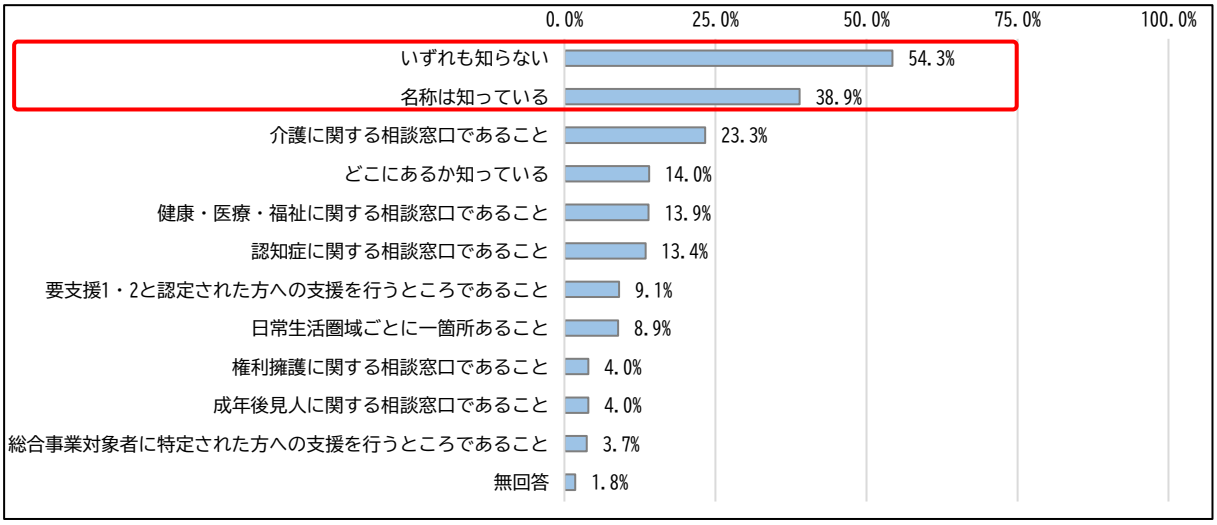
（２）高齢者いきいき安心センター（地域包括支援センター）

高齢者いきいき安心センター（地域包括支援センター）について知っているものはどれですか。（あてはまるすべての番号に○）

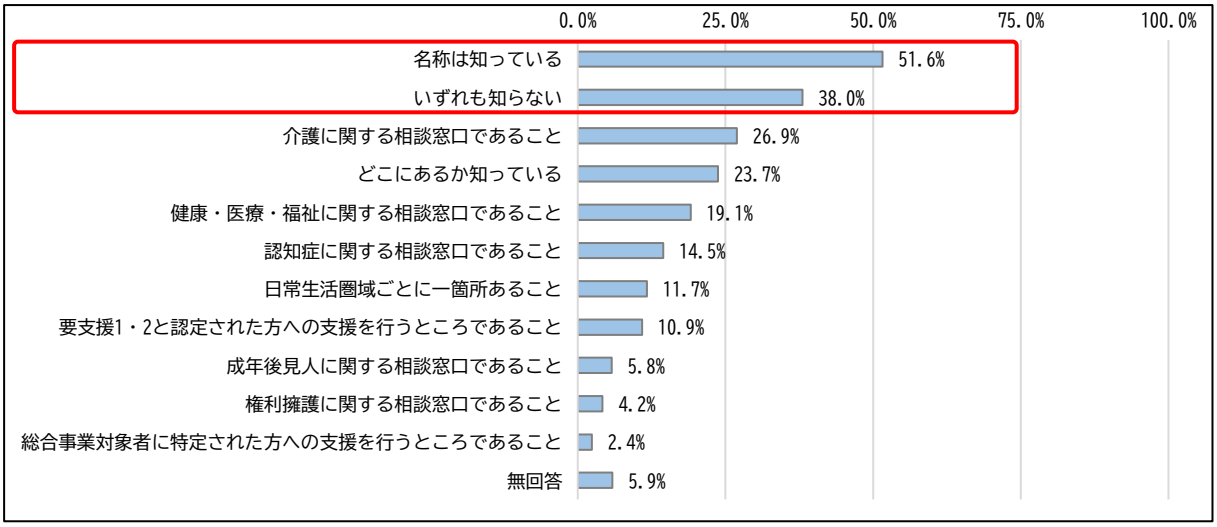
高齢者いきいき安心センター（地域包括支援センター）について、若年者では「いずれも知らない」と回答した割合が最も高く 54.3%となっており、一般高齢者では「名称は知っている」が最も高く 51.6%となっている一方、「いずれも知らない」と回答した割合も 38.0%と高くなっています。事業対象者・要支援認定者、「軽度」要介護認定者、「重度」要介護認定者においては「名称は知っている」と回答した割合が高くなるとともに「介護に関する相談窓口であること」と回答した割合も高くなっています。

事業対象者

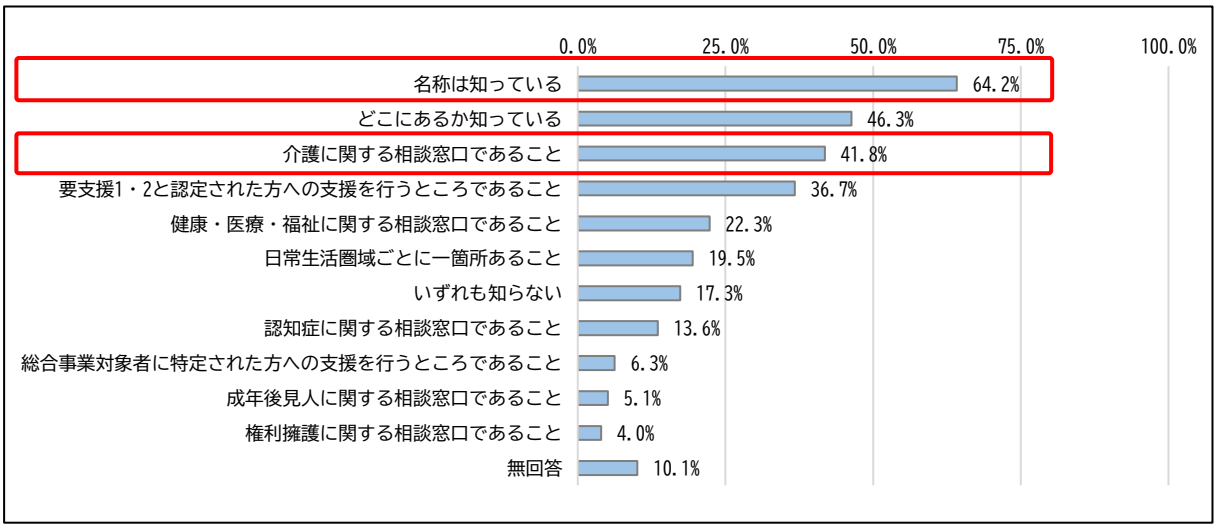
■　若年者調査（n＝1,004）



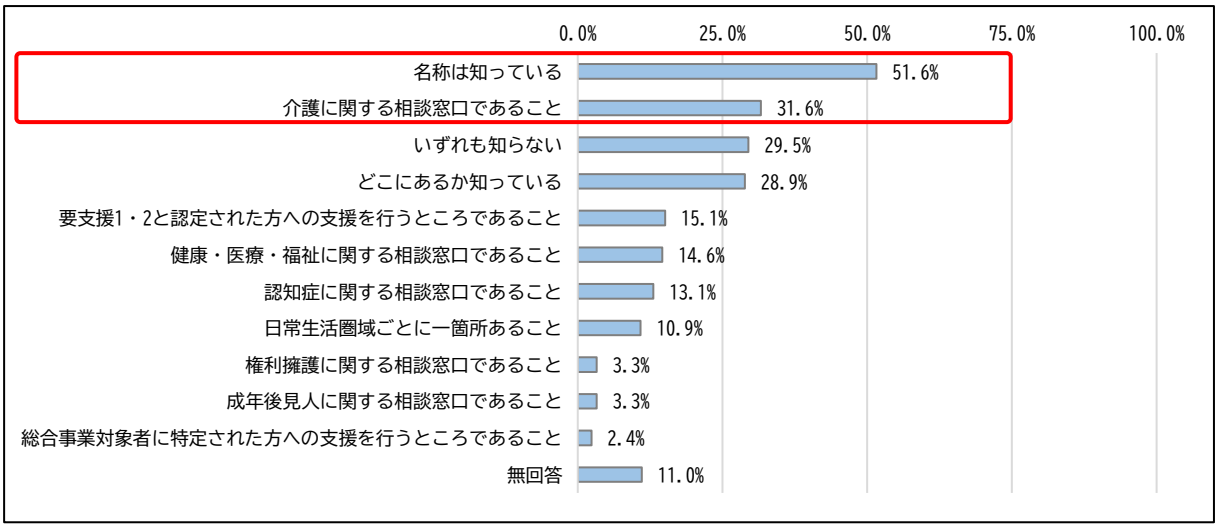
■　一般高齢者調査（n＝5,546）



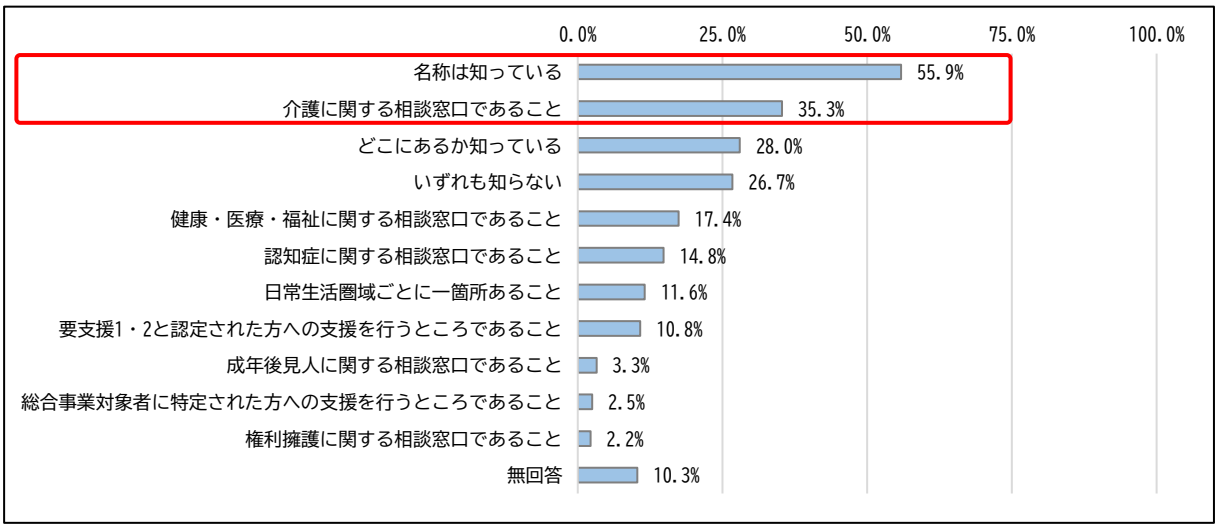
■　事業対象者・要支援認定者調査（n=1,614）



■　「軽度」要介護認定者調査（n=1,584）



■　「重度」要介護認定者調査（n=768）

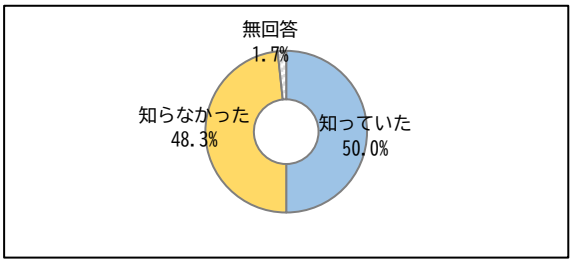


（３）在宅医療

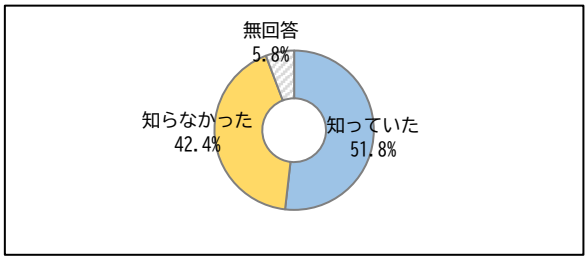
松戸市では、在宅医療（医師等が通院の難しい方の自宅等を訪問して診療等を行う）と介護の連携の推進に取り組んでいます。在宅医療について知っていましたか。（どちらかの番号に○）

在宅医療について「知っていた」と回答した割合は、若年者、一般高齢者では約５割となっており、事業対象者・要支援認定者、「軽度」要介護認定者では約 45%となっています。

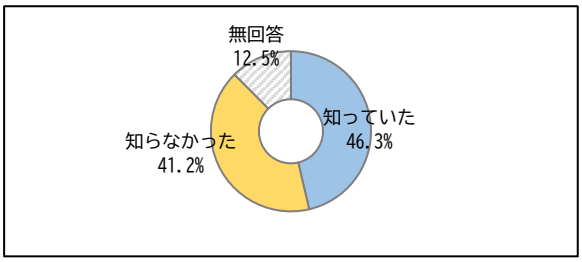
■　若年者調査（n＝1,004）



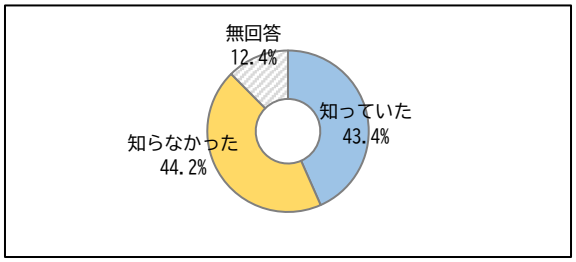
■　一般高齢者調査（n＝5,546）



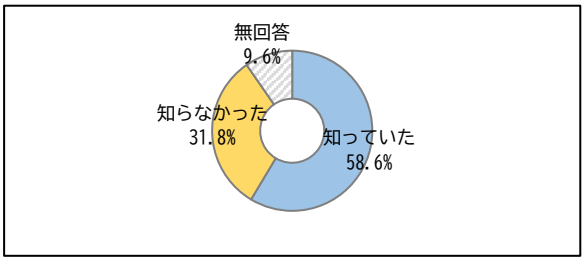
■　事業対象者・要支援認定者調査（n=1,614）



■　「軽度」要介護認定者調査（n=1,584）



■　「重度」要介護認定者調査（n=768）

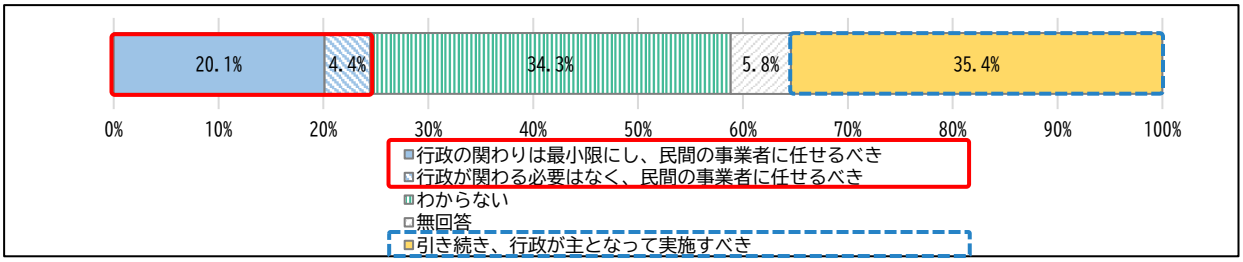


（４）配食サービス

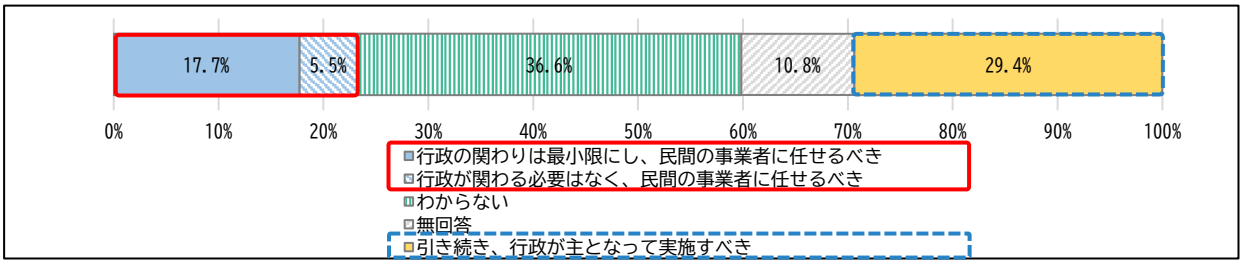
松戸市では、買物・食事の用意が困難な高齢者に食事を届け、安否確認をする配食サービスを介護保険料の一部を財源として事業者に委託して実施しておりますが、民間の配食サービス事業者が増えていることもあり利用者数は減少傾向です。今後の事業のあり方についてあなたはどう考えますか。（１つの番号に○）

配食サービスについて、「民間の事業者に任せるべき」と回答した割合と、「引き続き、行政が主となって実施すべき」と回答した割合について拮抗しています。

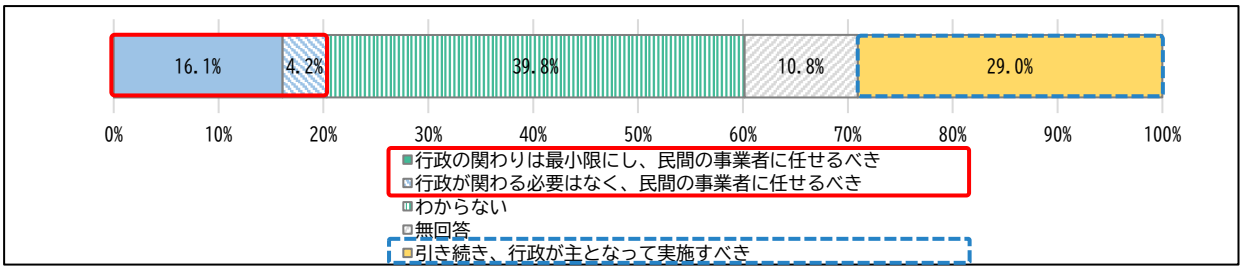
■　一般高齢者調査（n＝5,546）



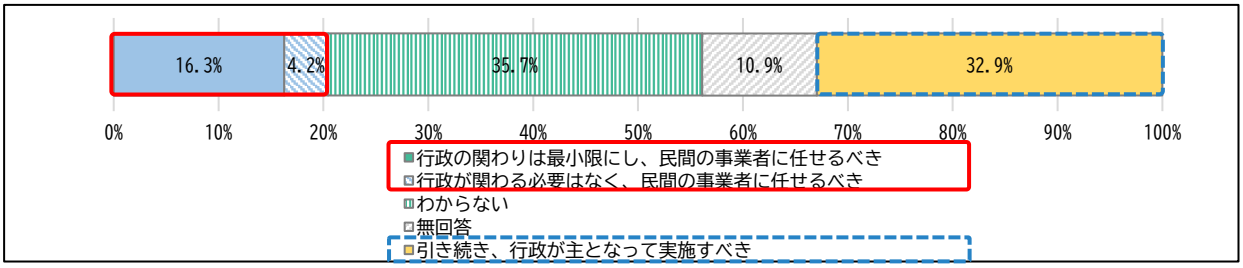
■　事業対象者・要支援認定者調査（n=1,614）



■　「軽度」要介護認定者調査（n=1,584）



■　「重度」要介護認定者調査（n=768）

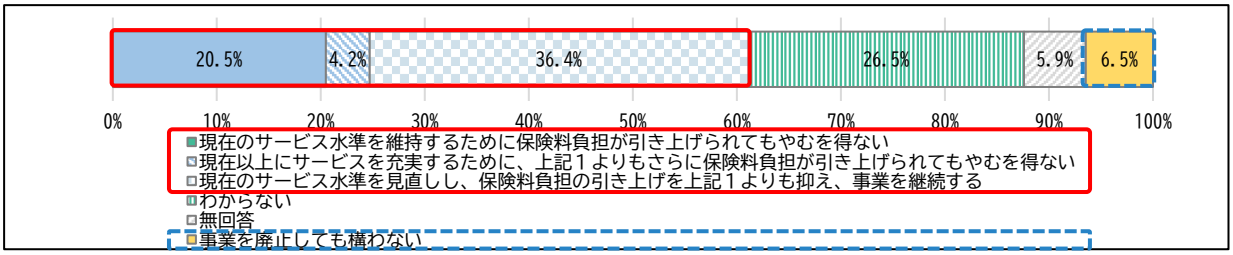


（５）紙おむつ支給事業

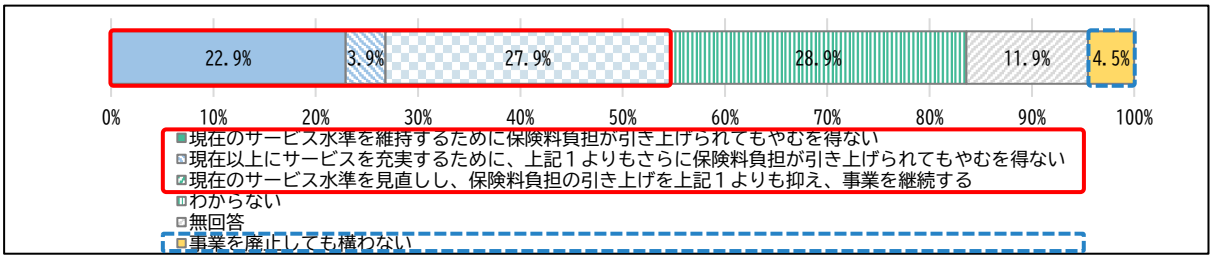
松戸市では、在宅で介護をしている家族を支援するため、紙おむつを支給する事業を実施していますが、高齢者数の増加等により給付費も増え、その財源の一部である介護保険料も引き上げていくことが見込まれます。今後の事業のあり方についてあなたはどう考えますか。（１つの番号に○）

紙おむつを支給する事業について、「現在のサービス水準を見直し事業を継続する」と回答した割合が最も高く、次いで「現在のサービス水準を維持するため保険料が引き上げられてもやむを得ない」となっており、事業の継続を要望する割合が高くなっています。

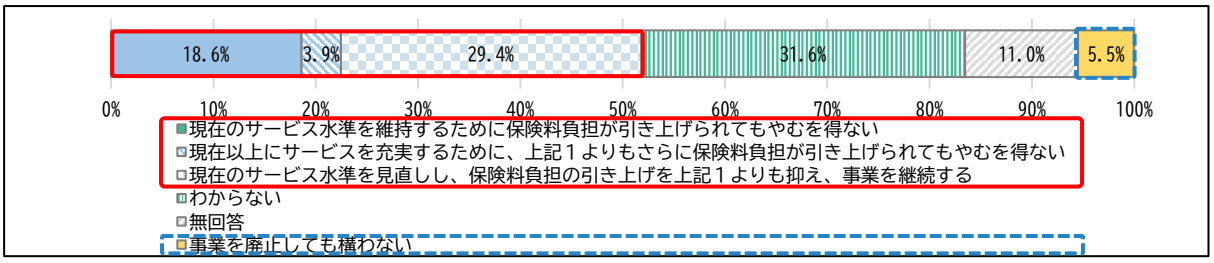
■　一般高齢者調査（n＝5,546）



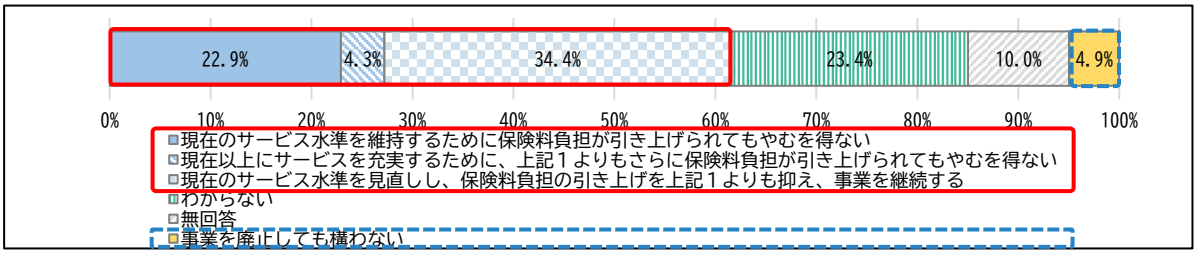
■　事業対象者・要支援認定者調査（n=1,614）



■　「軽度」要介護認定者調査（n=1,584）



■　「重度」要介護認定者調査（n=768）

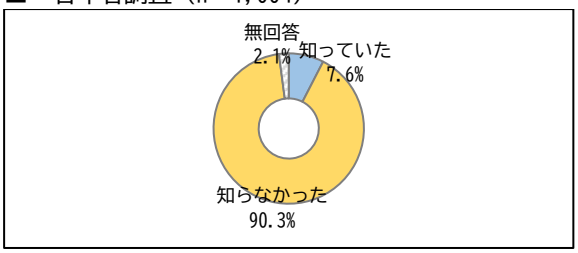


（６）家族介護に関する講座

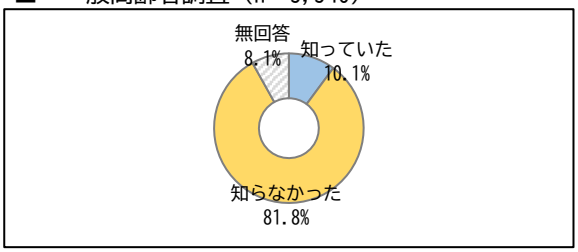
松戸市では「はじめての介護講座」など家族介護に関する講座を開催しています。家族介護に関する講座について知っていましたか。（どちらかに○）

「はじめての介護講座」など家族介護に関する講座について「知っている」と回答した割合は、若年者では 7.6%、一般高齢者では 10.1%に留まっています。

■　若年者調査（n＝1,004）



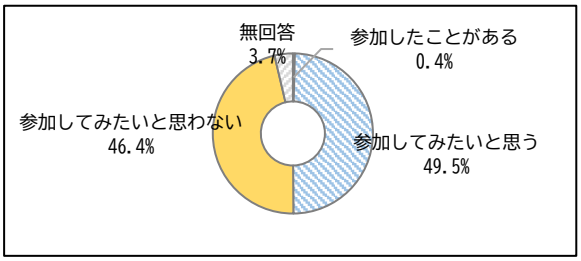
■　一般高齢者調査（n＝5,546）



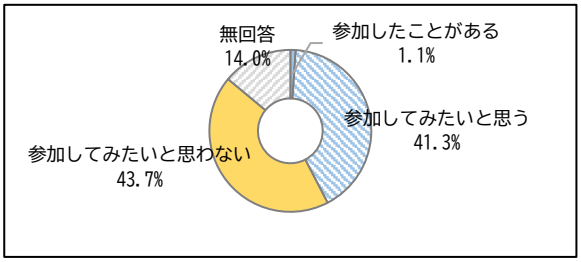
家族介護に関する講座について参加してみたいと思いますか。（どちらかに○）

「はじめての介護講座」など家族介護に関する講座について「参加してみたい」と回答した割合は、若年者では 49.5%、一般高齢者では 41.3%と高くなっています。

■　若年者調査（n＝1,004）



■　一般高齢者調査（n＝5,546）

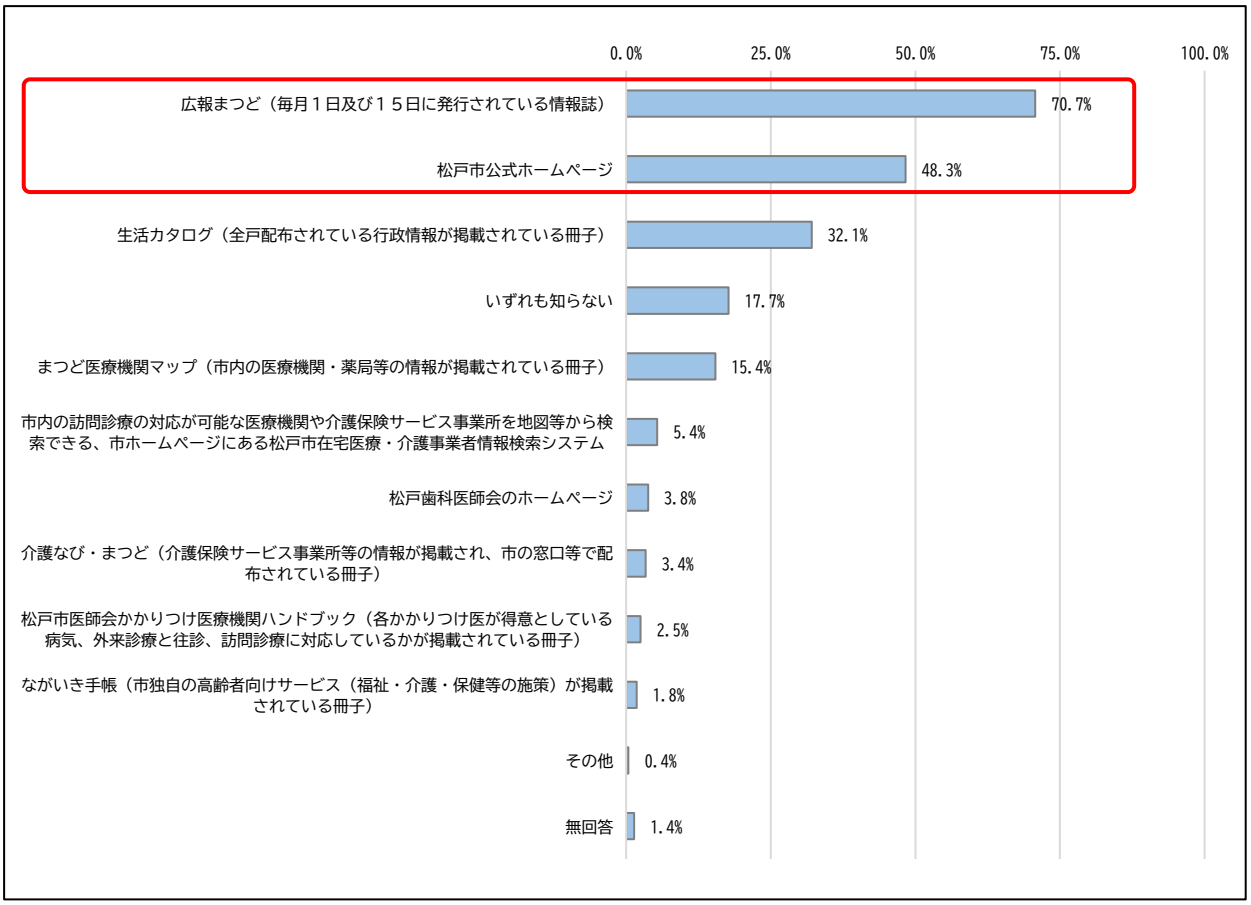


（７）高齢者向けのサービスや医療機関等の情報を収集するための手段

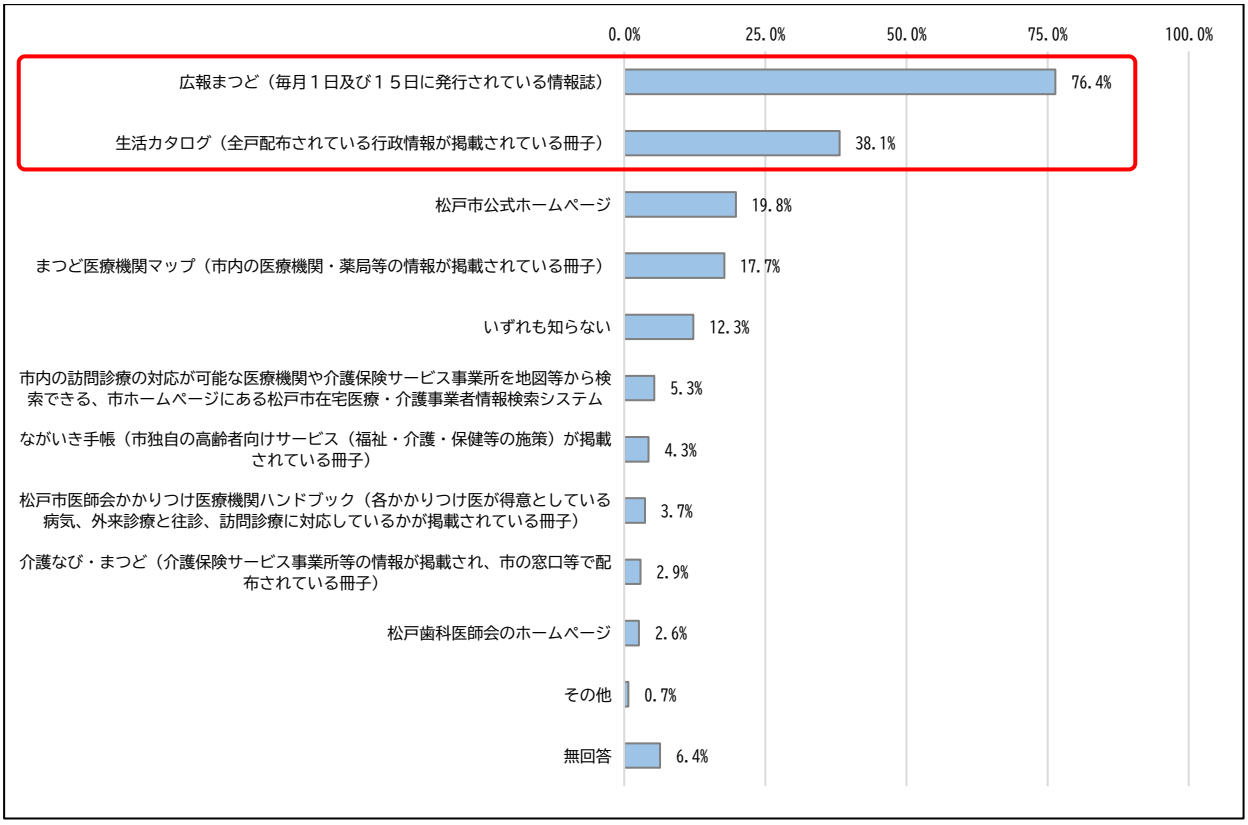
松戸市の高齢者向けのサービスや医療機関等の情報を収集するための手段として、次のうち知っているものはどれですか。（あてはまるすべての番号に○）

高齢者向けのサービスや医療機関等の情報を収集するための手段として知っているものについて、「広報まつど」が最も多く、若年者では 70.7%、一般高齢者では 76.4%となっています。次いで若年者では松戸市公式ホームページとなっており、一般高齢者、要支援認定者、「軽度」要介護認定者、「重度」要介護認定者では「生活カタログ」となっています。

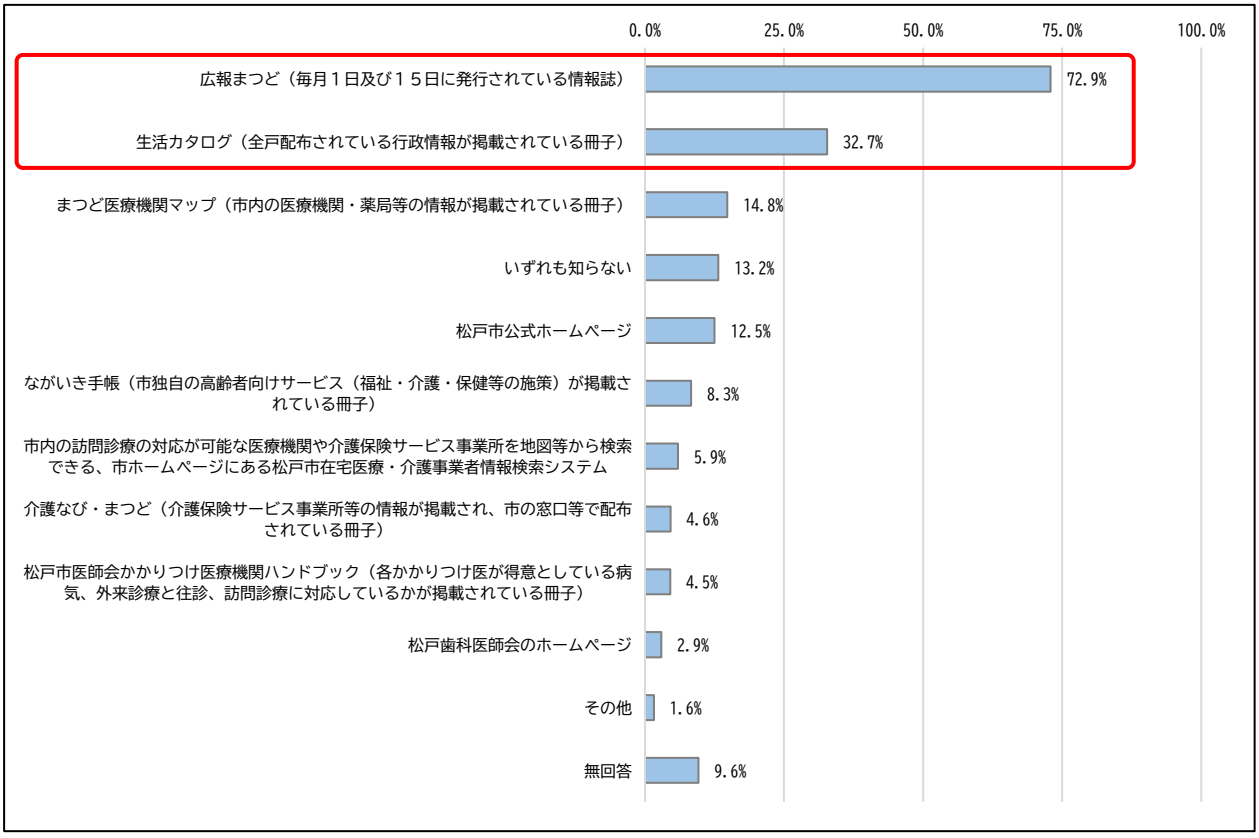
■　若年者調査（n＝1,004）



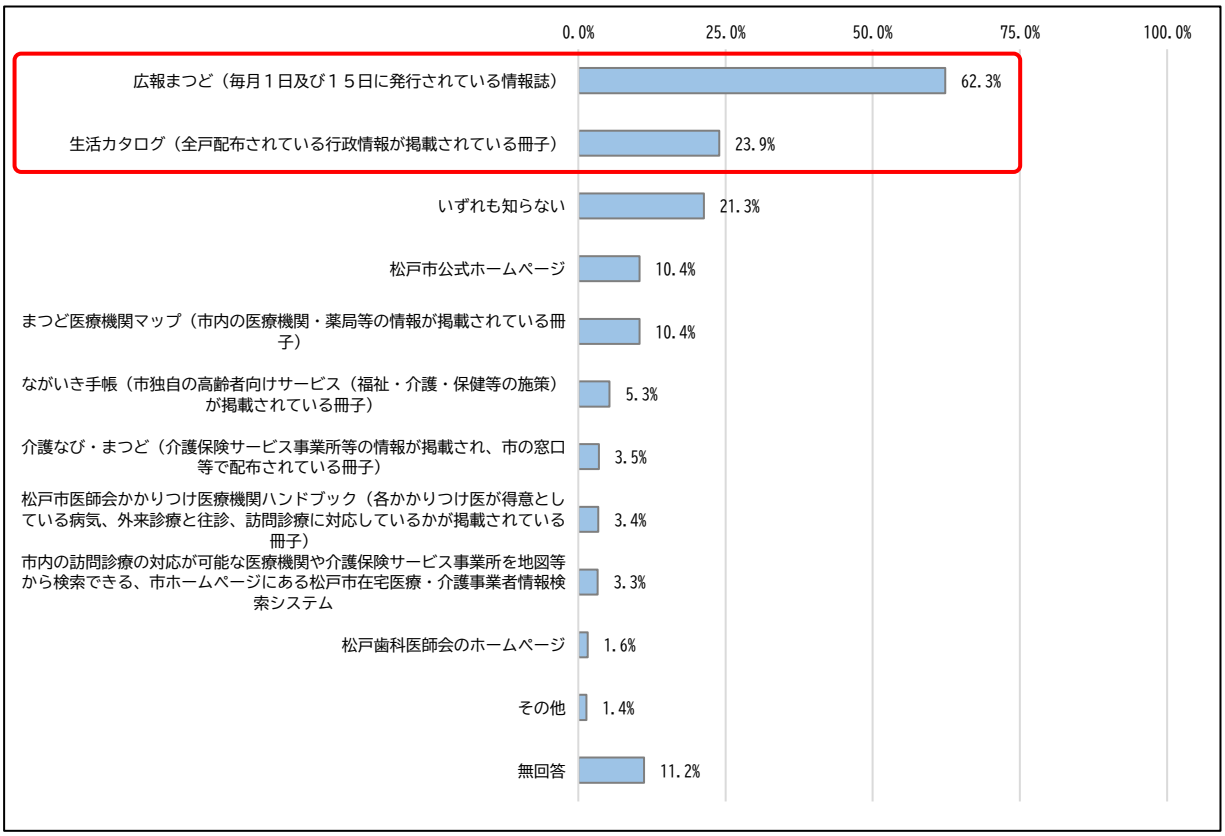
■　一般高齢者調査（n＝5,546）



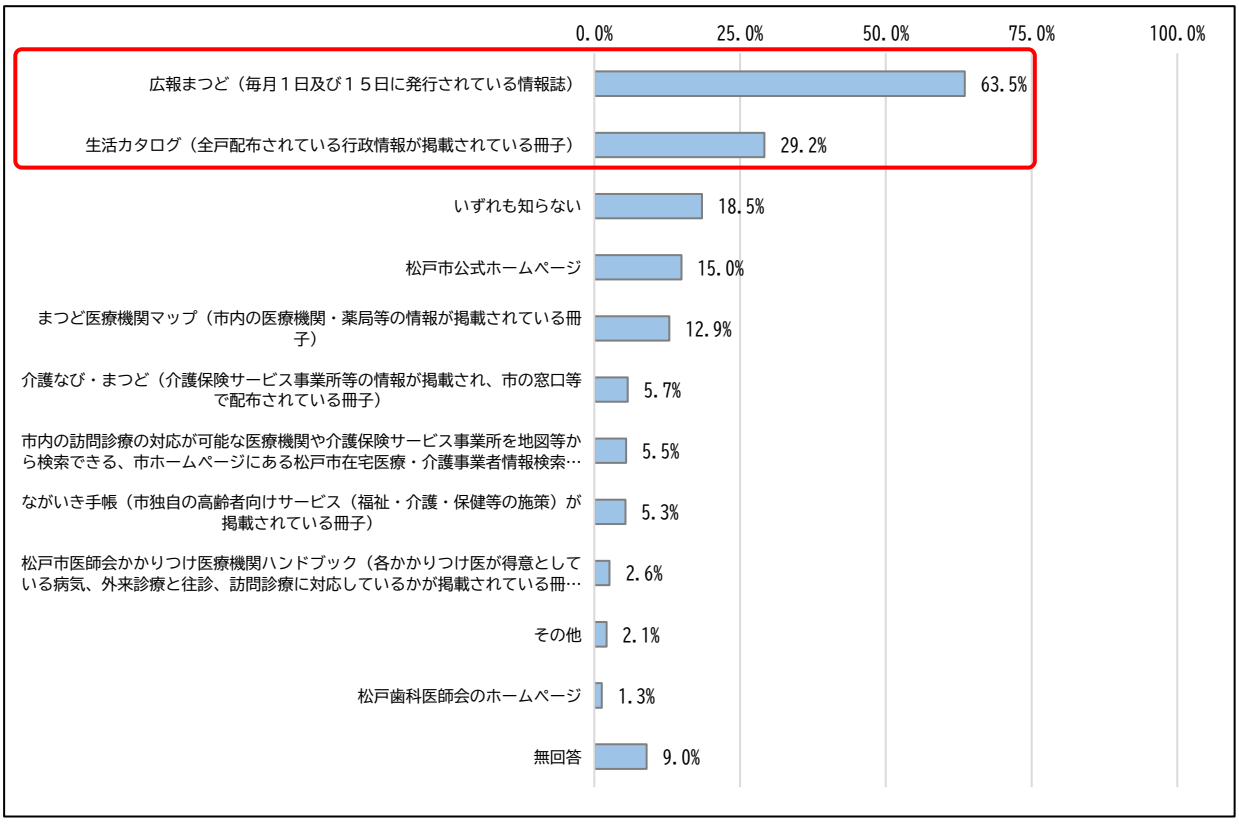
■　事業対象者・要支援認定者調査（n=1,614）



■　「軽度」要介護認定者調査（n=1，584）



■　「重度」要介護認定者調査（n=768）



14．介護に関することについて

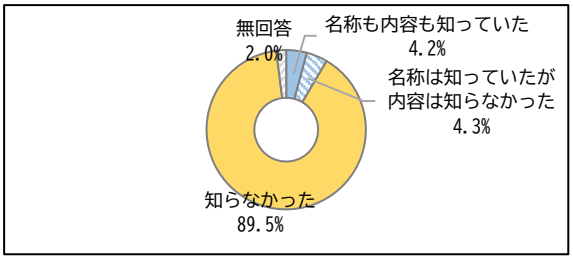
（１）介護に関する名称

以下の名称について知っていましたか。

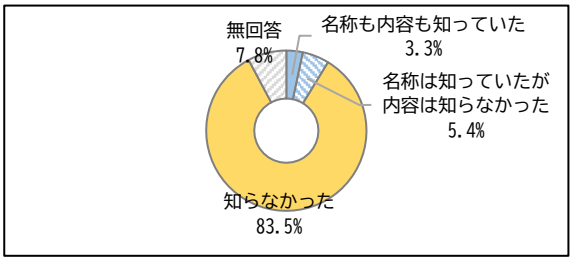
ケアラー、ヤングケア、ダブルケアについての認知度は以下の通りとなっています。

①　ケアラー

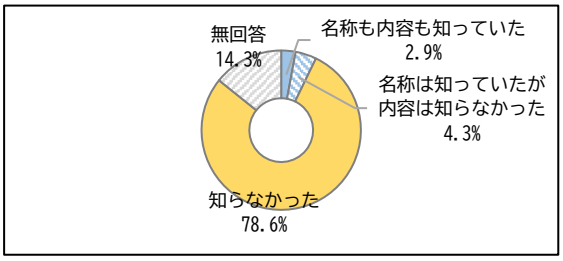
■　若年者調査（n＝1,004）



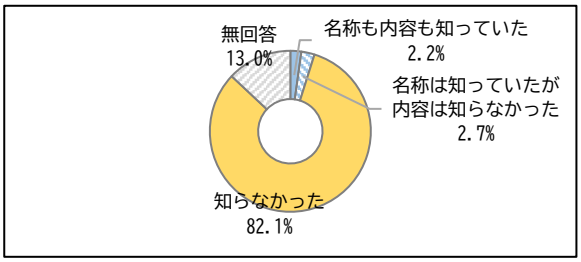
■　一般高齢者調査（n＝5,546）



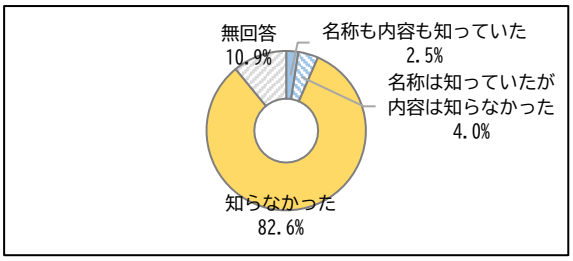
■　事業対象者・要支援認定者調査（n=1,614）



■　「軽度」要介護認定者調査（n=1,584）

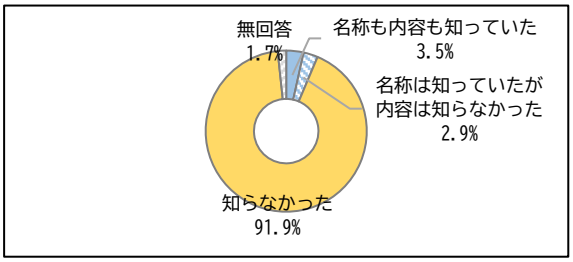


■　「重度」要介護認定者調査（n=768）

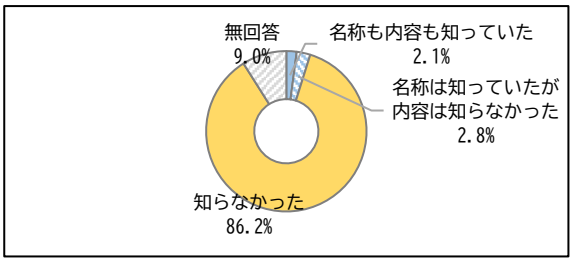


②　ヤングケア

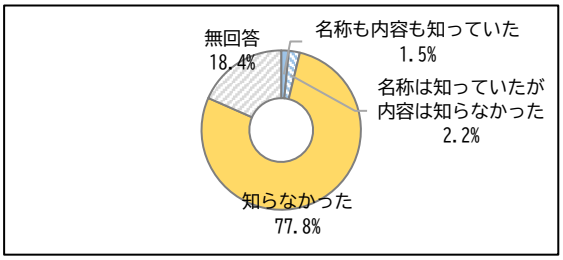
■　若年者調査（n＝1,004）



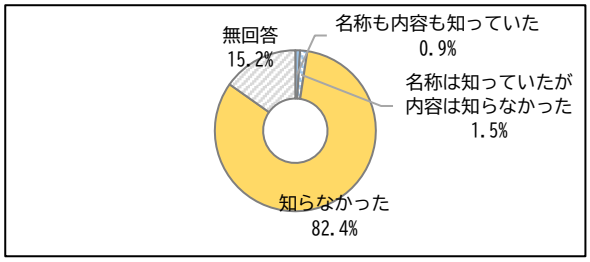
■　一般高齢者調査（n＝5,546）



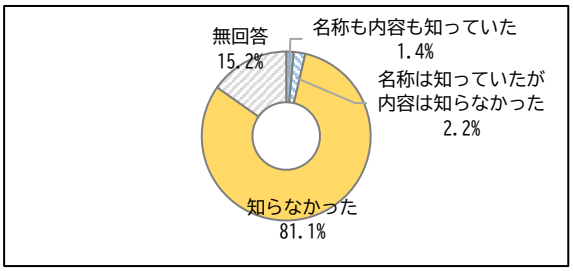
■　事業対象者・要支援認定者調査（n=1,614）



■　「軽度」要介護認定者調査（n=1,584）

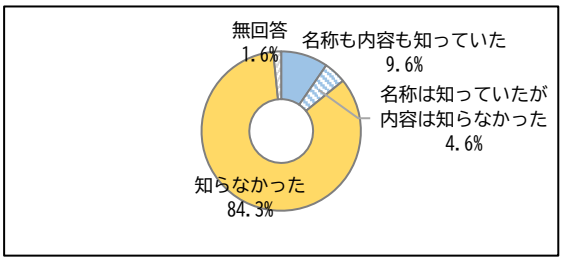


■　「重度」要介護認定者調査（n=768）

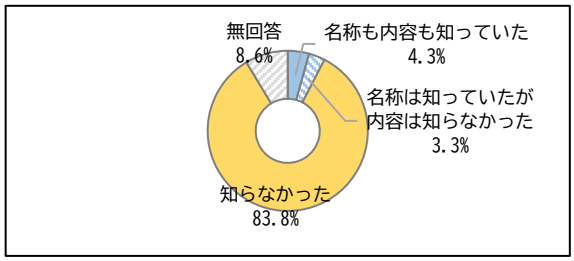


③　ダブルケア

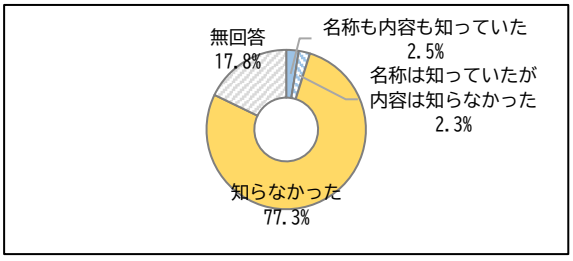
■　若年者調査（n＝1,004）



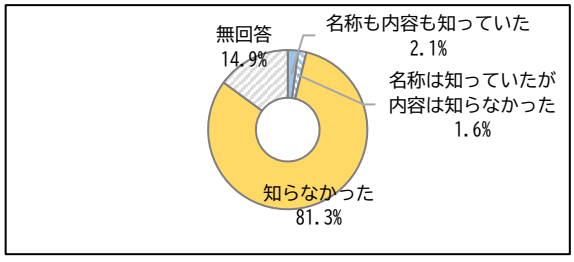
■　一般高齢者調査（n＝5,546）



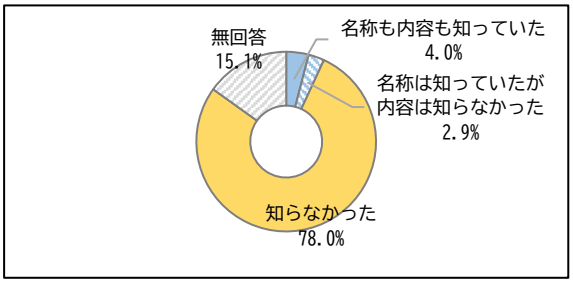
■　事業対象者・要支援認定者調査（n=1,614）



■　「軽度」要介護認定者調査（n=1,584）



■　「重度」要介護認定者調査（n=768）

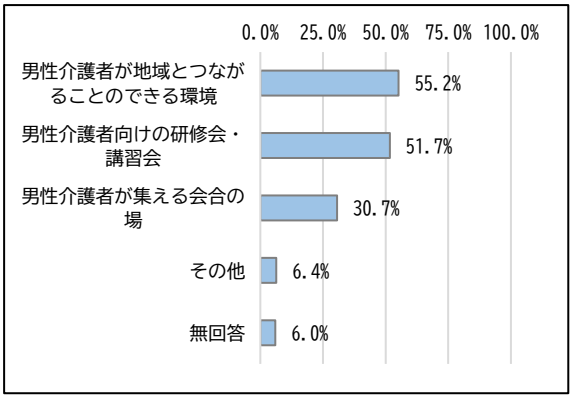


（２）男性介護者の支援

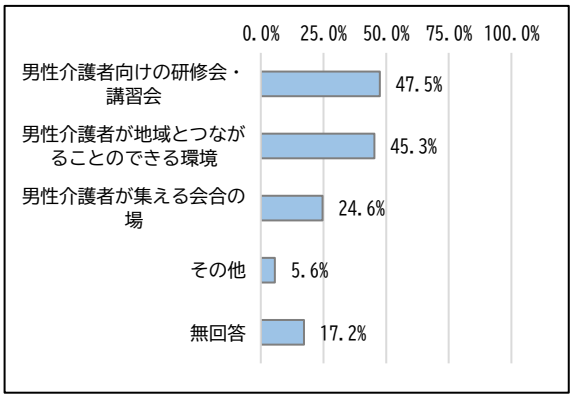
男性介護者の支援を充実させるためにはどんな取り組みが必要だと思いますか。（あてはまるすべての番号に○）

男性介護者の支援を充実させるための取り組みについて「男性介護者が地域とつながることのできる環境」が必要と回答した割合が高くなっています。

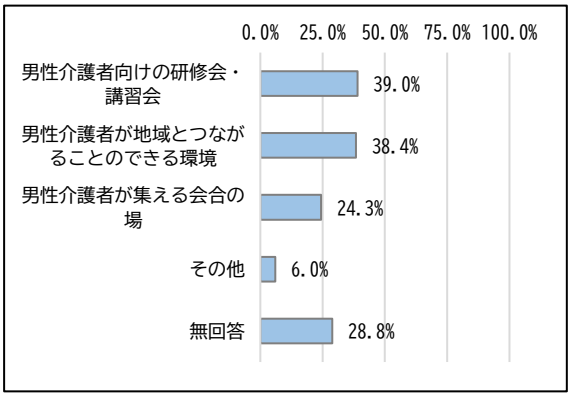
■　若年者調査（n＝1,004）



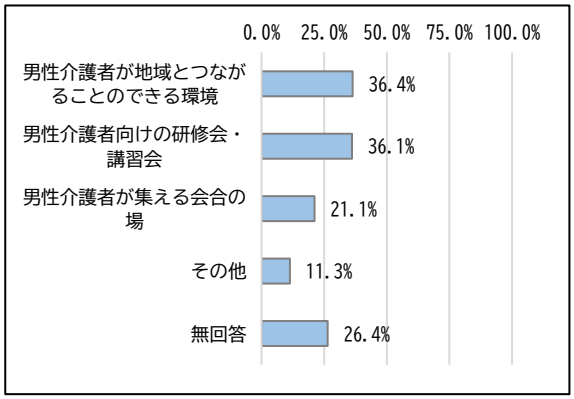
■　一般高齢者調査（n＝5,546）



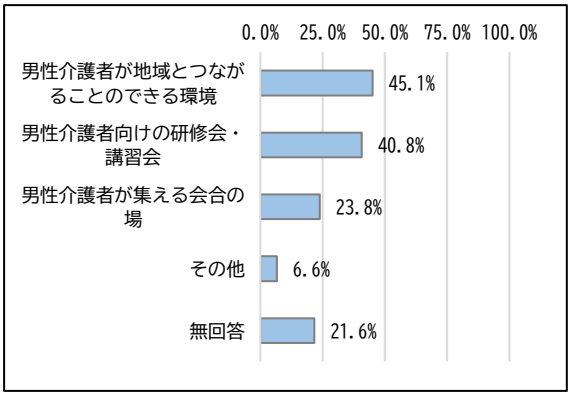
■　事業対象者・要支援認定者調査（n=1,614）



■　「軽度」要介護認定者調査（n=1,584）



■　「重度」要介護認定者調査（n=768）

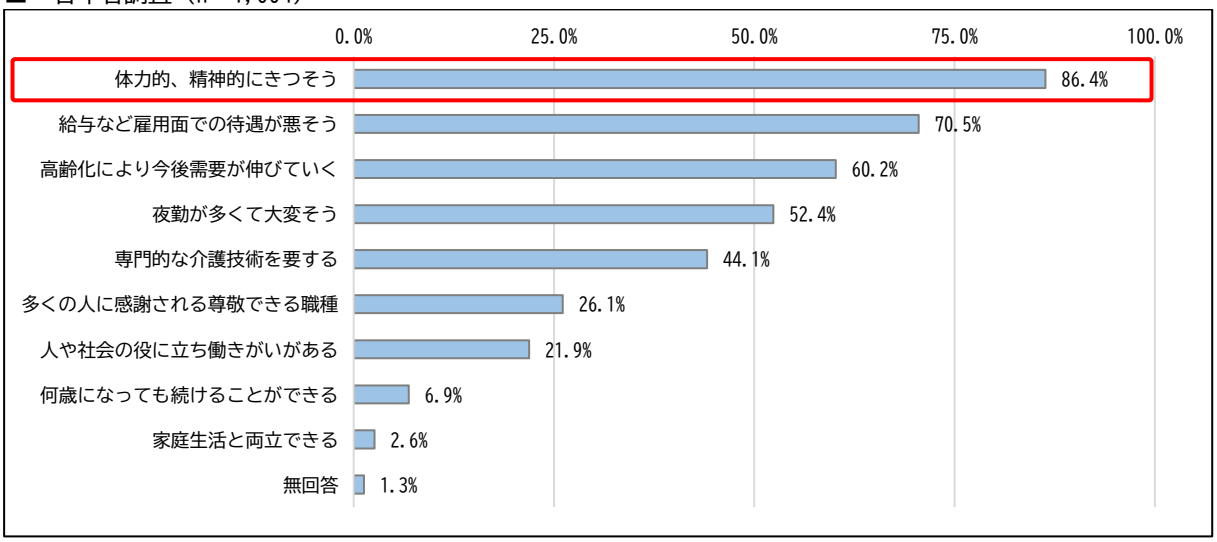


（３）介護職のイメージ

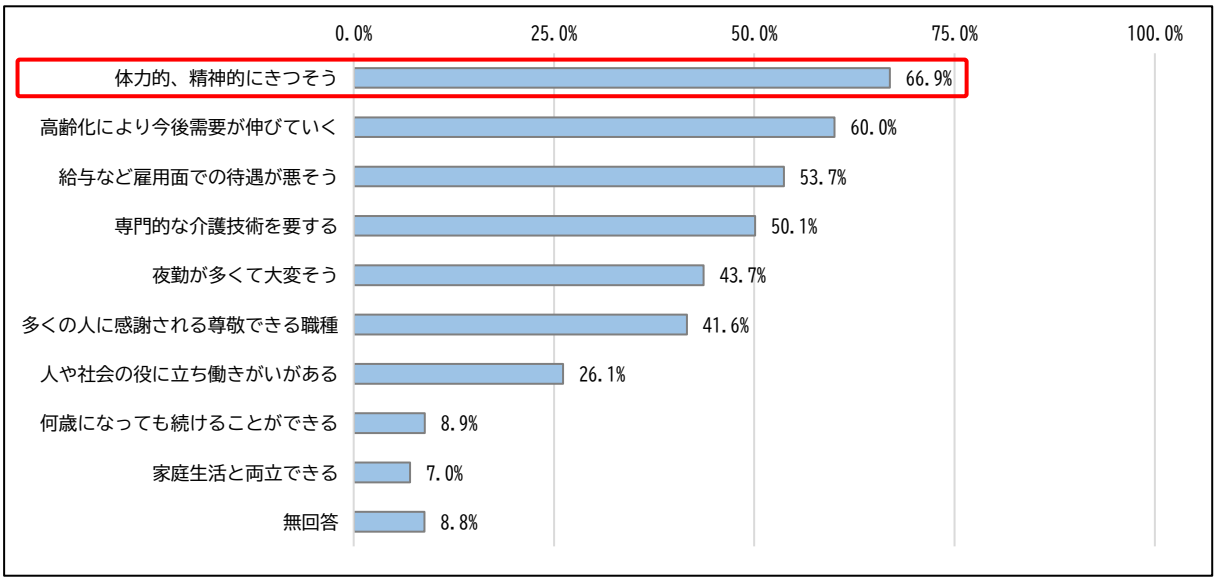
介護職のイメージとしてもっているものはどれですか。（あてはまるすべての番号に○）

介護職のイメージとして「体力的、精神的にきつそう」と回答した割合が最も高く、若年者では 86.4%、一般高齢者では 66.9%となっています。

■　若年者調査（n＝1,004）



■　一般高齢者調査（n＝5,546）



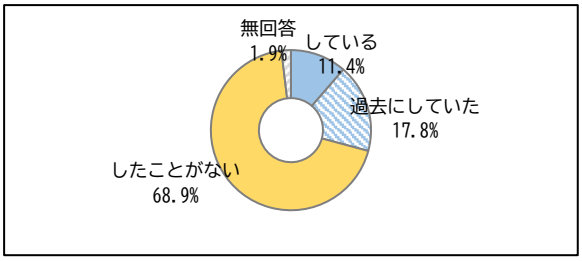
15．近親者（家族）に対する介護の実施状況について

（１）介護の状況

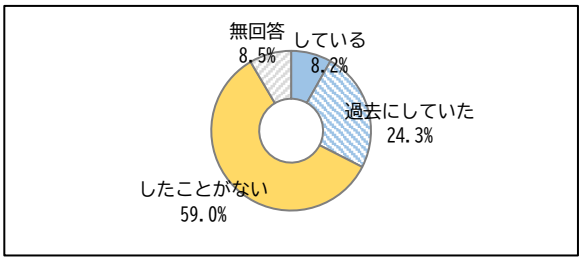
あなたは今（過去に）介護をしていますか。（１つの番号に○）

近親者（家族）に対する介護について、「している」と回答した割合は若年者では 11.4%、一般高齢者では 8.2%となっており、約１割となっています。

■　若年者調査（n＝1,004）



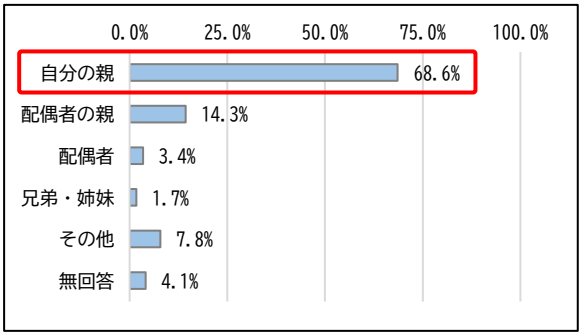
■　一般高齢者調査（n＝5,546）



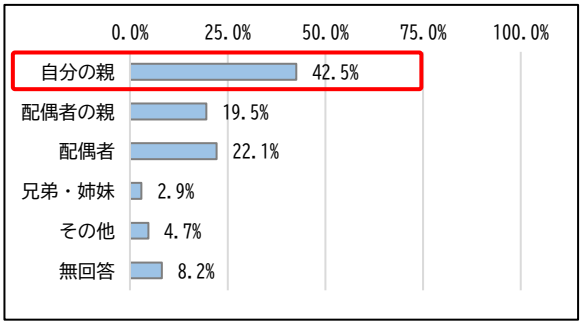
現在介護をしている人、もしくは直近に介護をした人についてお答えください。
その方（要介護者）はどなたですか。（１つの番号に○）

現在、介護を「している」、あるいは「していた」人について、「自分の親」最も多く、若年者では 68.6%、一般高齢者では 42.5%となっており、次いで配偶者の親となっています。

■　若年者調査（n＝293）



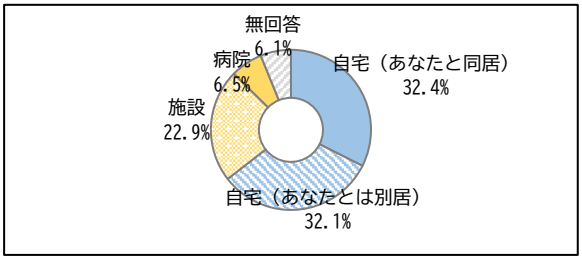
■　一般高齢者調査（n＝1,803）



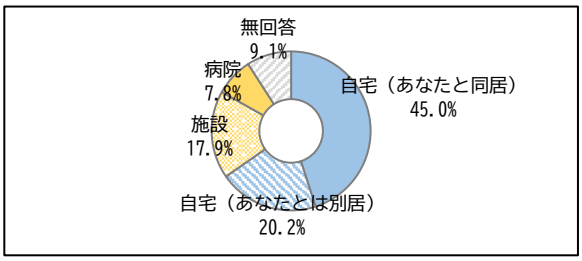
現在介護をしている人、もしくは直近に介護をした人についてお答えください。
その方（要介護者）はどこで生活していますか（生活していましたか）。（１つの番号に○）

介護をしている、あるいは介護をしていた要介護者が生活している場所として「自宅で同居している」と回答した割合がもっとも高く、若年者では 32.4%、一般高齢者では 45.0%となっています。

■　若年者調査（n＝293）



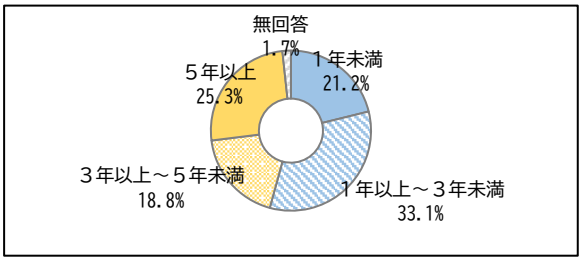
■　一般高齢者調査（n＝1,803）



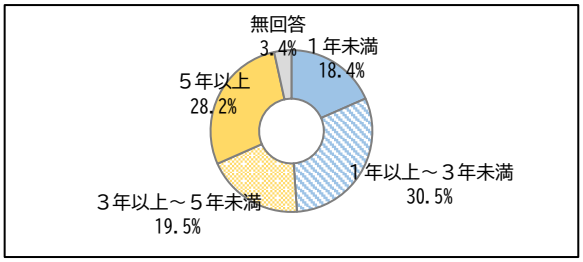
現在介護をしている人、もしくは直近に介護をした人についてお答えください。
介護の期間はどの程度ですか（どの程度でしたか）。（１つの番号に○）

介護の期間について、「１年～３年」と回答した割合がもっとも多く、若年者では 33.1%、一般高齢者では 30.5%と３割程度となり、「５年以上」と回答した方についても若年者では 25.3%、一般高齢者では 28.2%となっています。

■　若年者調査（n＝293）



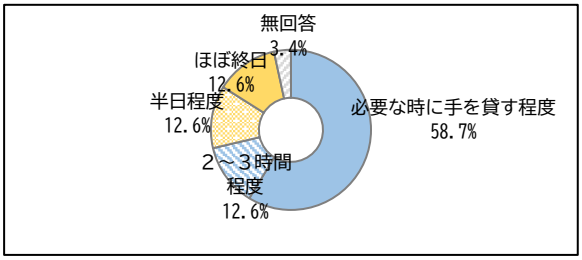
■　一般高齢者調査（n＝1,803）



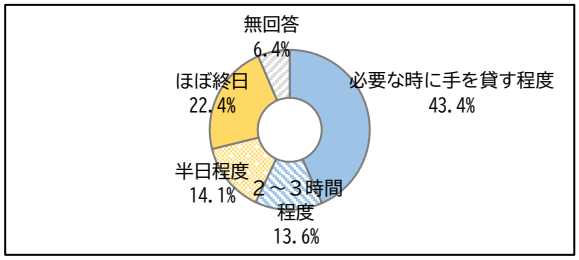
現在介護をしている人、もしくは直近に介護をした人についてお答えください。
１日あたりの介護の頻度はどの程度ですか（どの程度でしたか）。（１つの番号に○）

１日あたりの介護の頻度について、「必要な時に手を貸す程度」が最も多く、若年者では58.7%、一般高齢者では43.4%となる一方、「ほぼ毎日」と回答した割合について若年者では12.6%、一般高齢者では22.4%となっています。

■　若年者調査（n＝293）



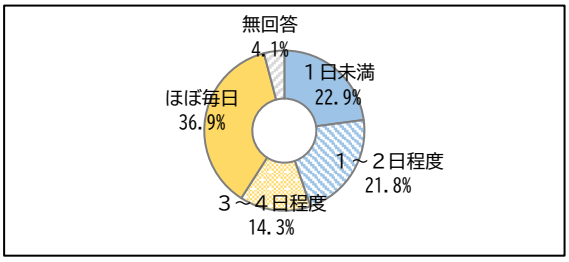
■　一般高齢者調査（n＝1,803）



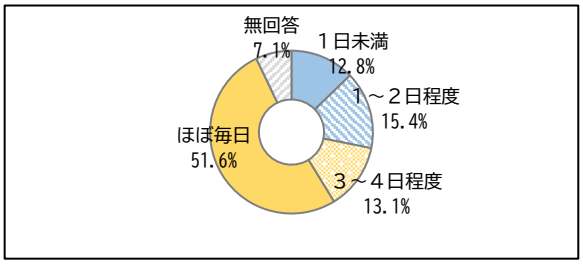
現在介護をしている人、もしくは直近に介護をした人についてお答えください。
１週間あたりの介護の頻度はどの程度ですか（どの程度でしたか）。（１つの番号に○）

１週間あたりの介護の頻度について、「ほぼ毎日」が最も多く、若年者では36.9%、一般高齢者では51.6%となっています。

■　若年者調査（n＝293）



■　一般高齢者調査（n＝1,803）

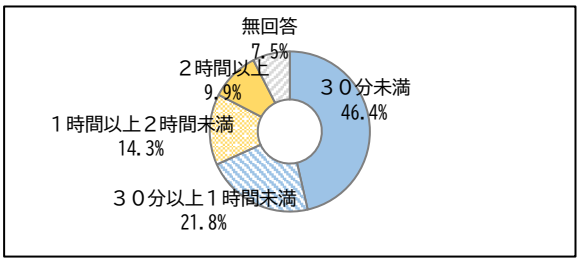


現在介護をしている人、もしくは直近に介護をした人についてお答えください。

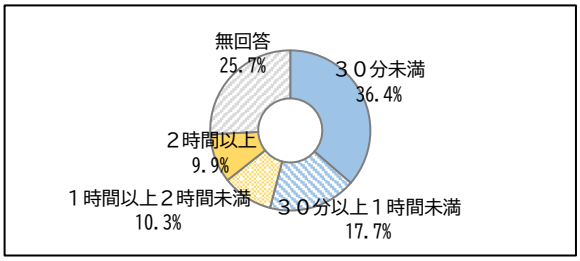
介護のために要する片道の移動時間はどの程度ですか（どの程度でしたか）。（１つの番号に○）

介護のために要する片道の移動時間について、「30 分未満」が最も多く、若年者では 46.4%%、一般高齢者では 36.4%となっています。

■　若年者調査（n＝293）



■　一般高齢者調査（n＝1,803）

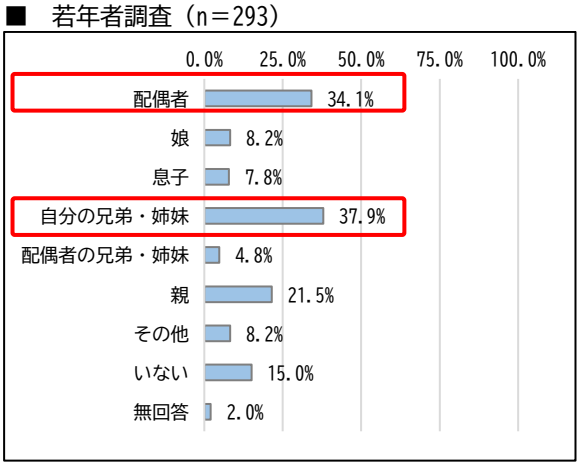


現在介護をしている人、もしくは直近に介護をした人についてお答えください。

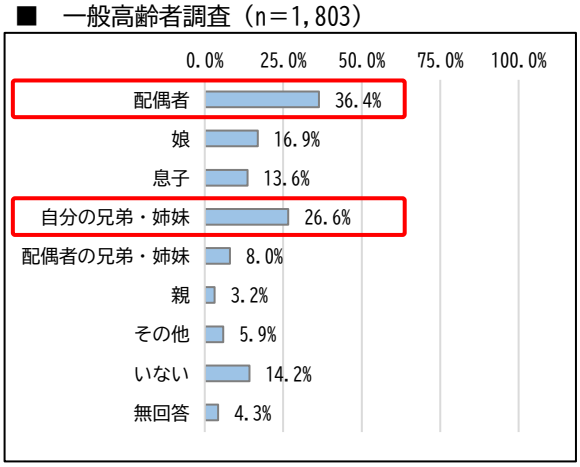
その方の（要介護者）介護にあたり協力者はいますか（いましたか）。あなたから見た続柄でお答えください。（あてはまるすべての番号に○）

介護にあたっての協力者について、「配偶者」や「自分の兄弟・姉妹」が多くなっています。

■　若年者調査（n＝293）



■　一般高齢者調査（n＝1,803）



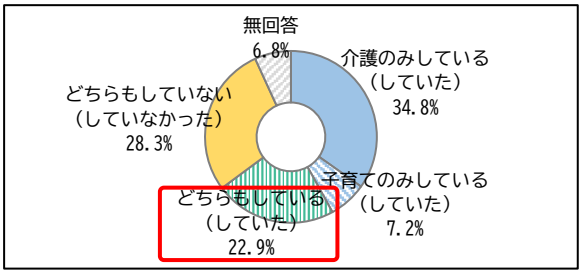
（２）ダブルケアの状況

現在介護をしている人、もしくは直近に介護をした人はお答えください。

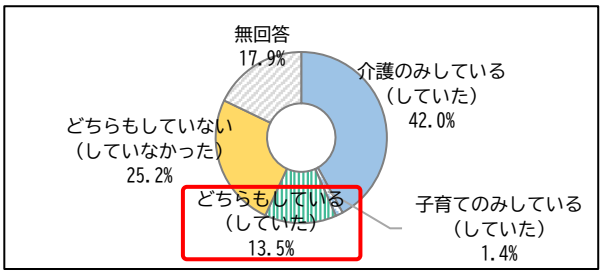
あなたは、お答えいただいた以外の方を、同時期に介護や子育てしていますか（していましたか）。（１つの番号に○）

介護と同時に子育てを行うダブルケアを行っている、あるいは行っていた割合について、若年者では 22.9%、一般高齢者では 13.5%となっています。

■　若年者調査（n＝293）



■　一般高齢者調査（n＝1,803）



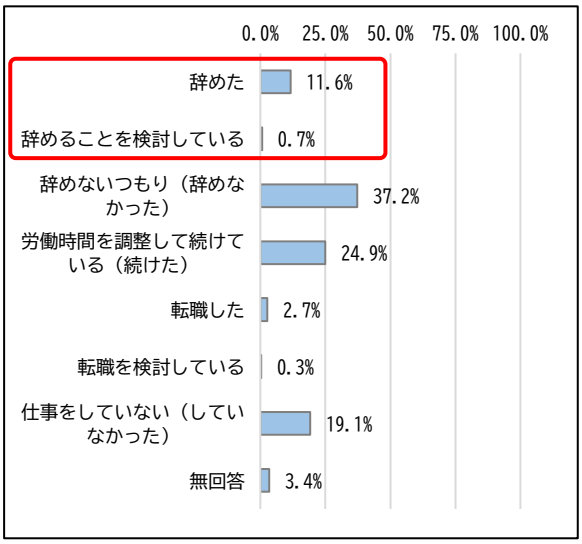
（３）介護離職の状況

現在介護をしている人、もしくは直近に介護をしている人はお答えください。

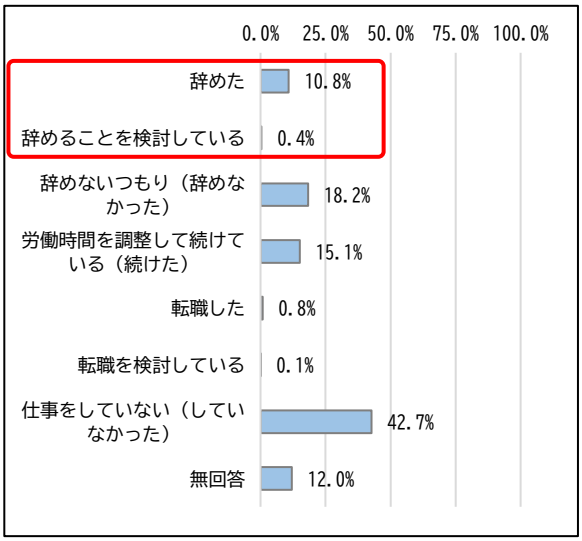
あなた（主な介護者）は介護のために（当時していた）仕事をどのように対応しましたか。（１つの番号に○）

介護のために（当時していた）仕事をどのように対応したかについて、「辞めた」あるいは「辞めることを検討している」と回答した割合は、若年者では 12.3%、一般高齢者では 11.2%と、介護離職が１割となっています。

■　若年者調査（n＝293）



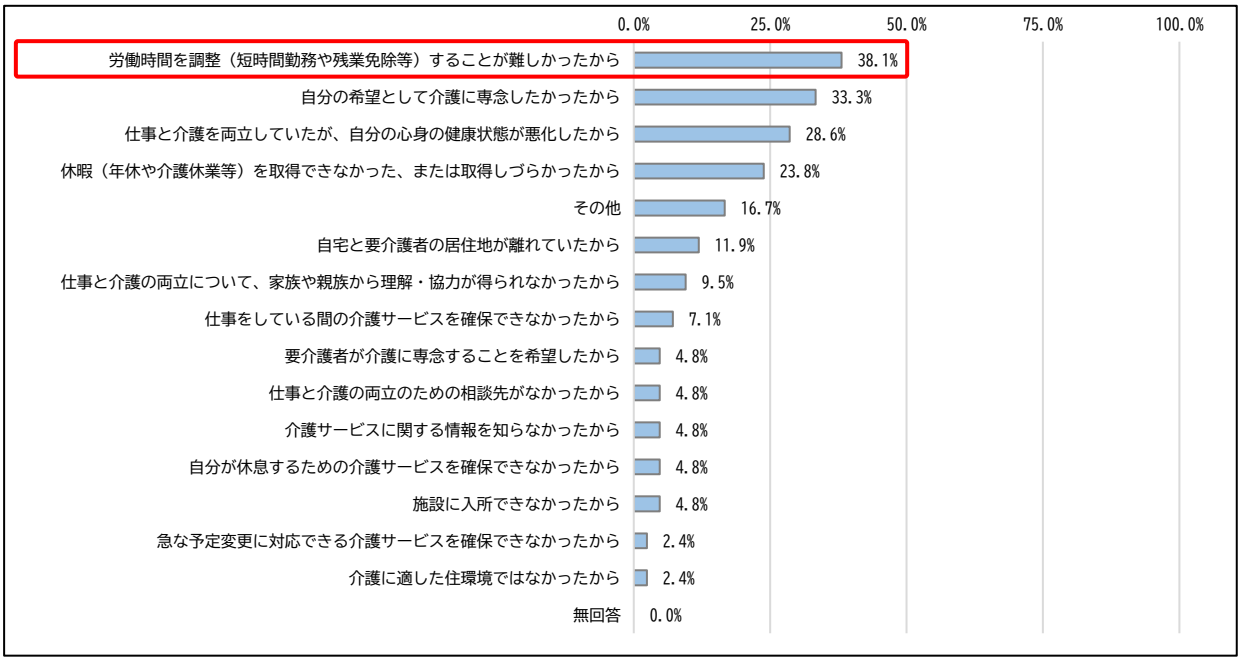
■　一般高齢者調査（n＝1,803）



介護のために仕事を辞めた、転職したと回答した方のみ、お答えください。
仕事を辞めることになった理由は何ですか。（あてはまるすべての番号に○）

介護のために（当時していた）仕事を「辞めた」あるいは「転職した」理由について、若年者では「労働時間を調整することが難しかったから」が最も多く 38.1%となっており、一般高齢者では「介護に専念したかった」が最も多く 40.4%となっています。

■　若年者調査（n＝42）

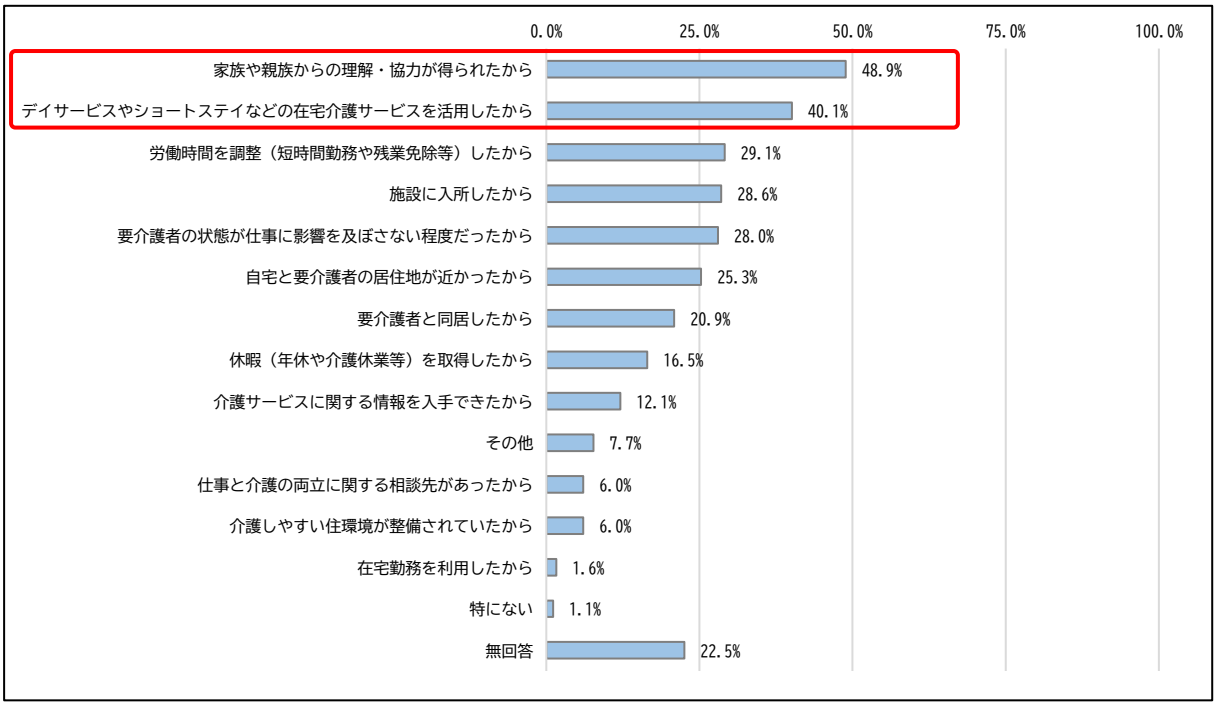


■　一般高齢者調査（n＝208）

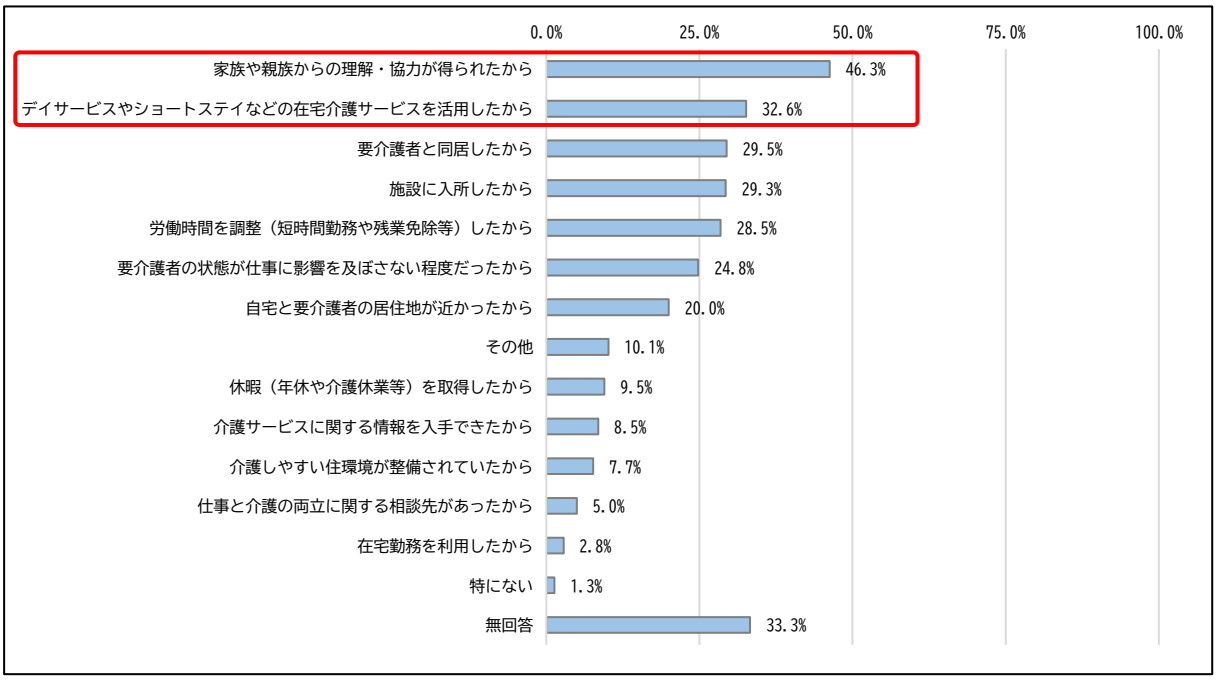
介護のために仕事を辞めないで続けている（続けた）と回答した方のみ、お答えください。
仕事を続けていられた理由は何ですか。（あてはまるすべての番号に○）

介護のために（当時していた）仕事を「辞めないで続けられている」理由について、「家族や親族からの理解・協力が得られたから」が最も多く、次いで「デイサービスやショートステイなどの在宅介護サービスを活用したから」となっています。

■　若年者調査（n＝182）



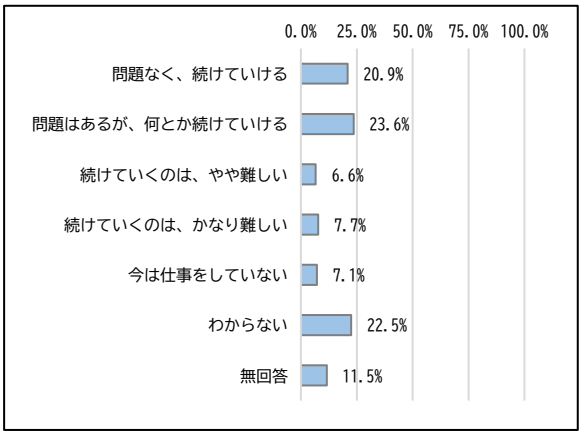
■　一般高齢者調査（n＝601）



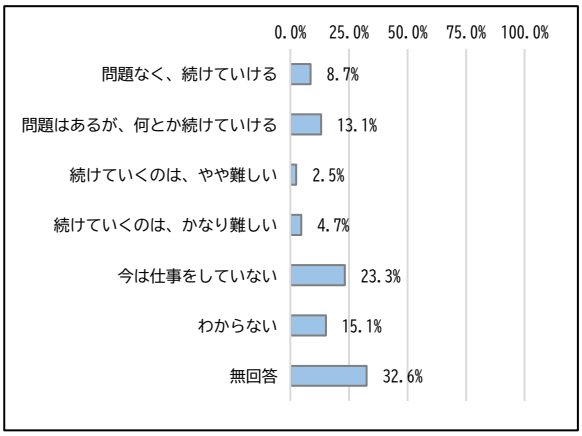
介護のために仕事を辞めないで続けている（続けた）と回答した方のみ、お答えください。
今後も働きながら介護を続けていけそうですか。（１つの番号に○）

介護のために、今後も仕事を辞めないで続けられるかについて、「続けていける」と回答した割合は若年者では 44.5%、一般高齢者では 21.8%となっています。

■　若年者調査（n＝293）



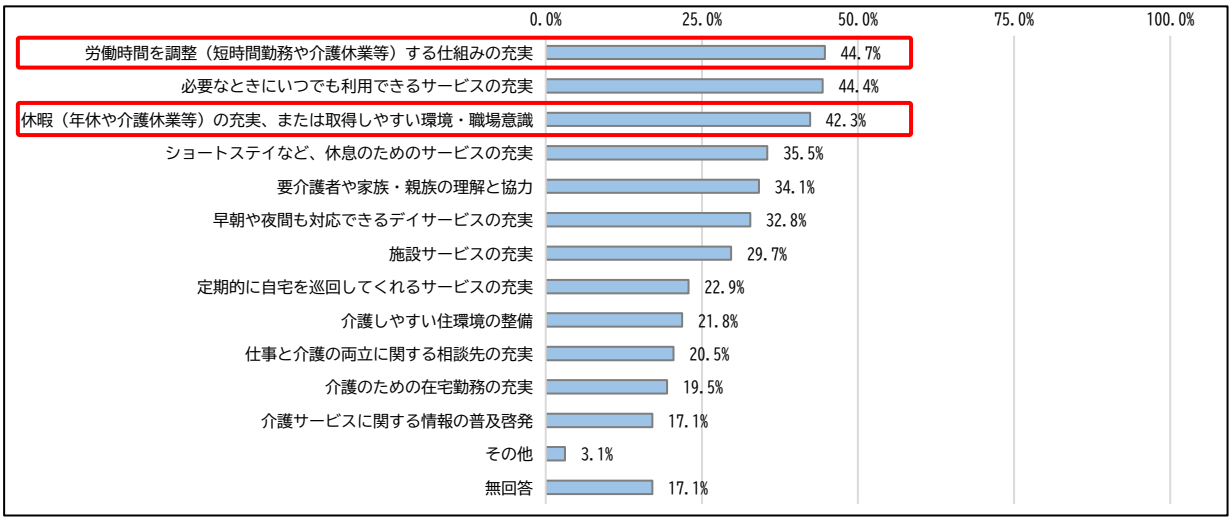
■　一般高齢者調査（n＝1,803）



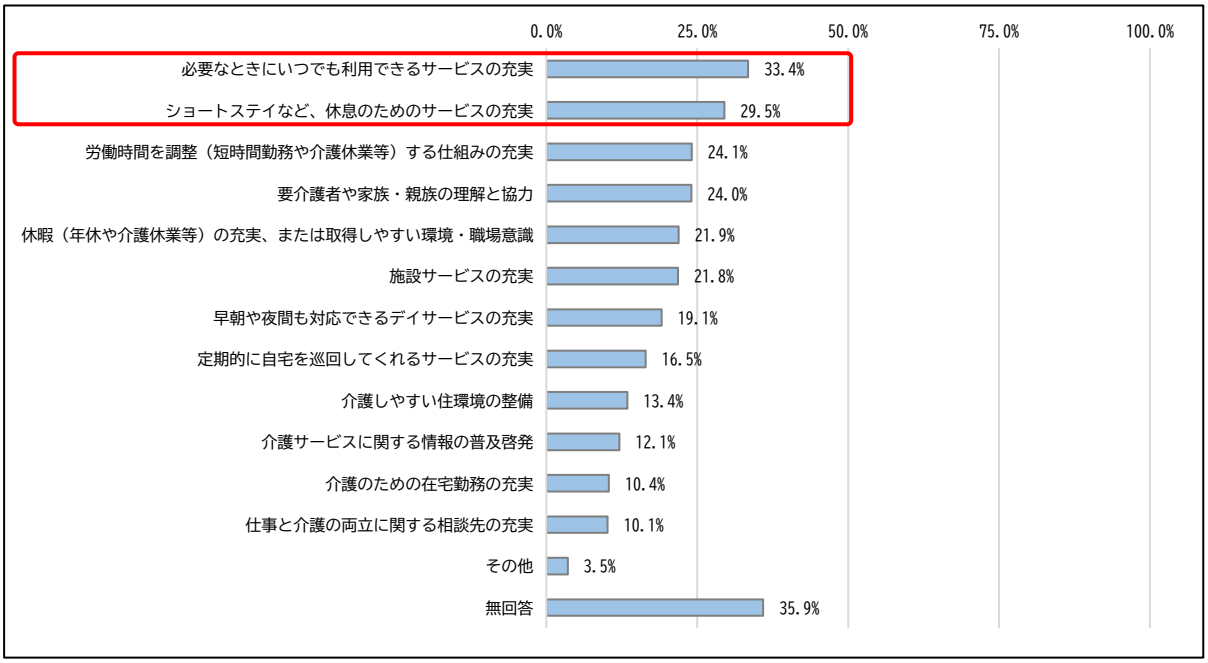
介護のために仕事を辞めないで続けている（続けた）と回答した方のみ、お答えください。
どのような支援があれば仕事と介護の両立ができると思いますか。（あてはまるすべての番号に○）

介護のために、今後も仕事を辞めないで続けられるための支援について、若年者では「労働時間を調整する仕組みの充実」が最も多く 44.7%、また、「休暇の充実、または取得しやすい環境・職場意識」も高くなっており、職場環境改善を求める意見が多くなっています。一方、一般高齢者では「必要な時にいつでも利用できるサービスの充実」「ショートステイなど、休息のためのサービスの充実」が高くなっており、介護サービスの充実、レスパイトサービスの充実を求める意見が多くなっています。

■　若年者調査（n＝293）



■　一般高齢者調査（n＝1,803）

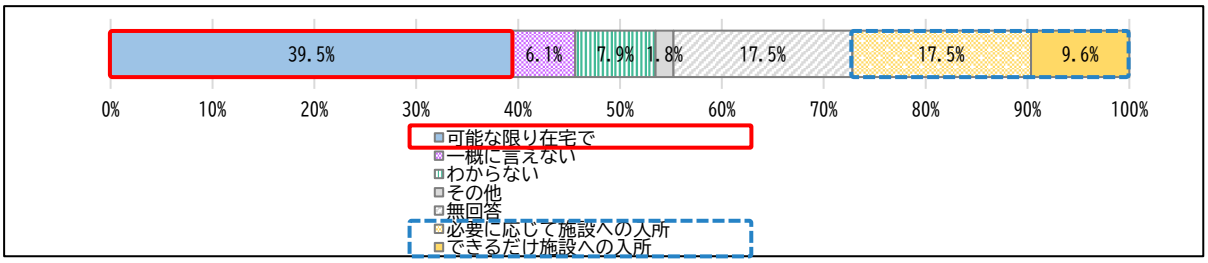


（４）今後の介護の方法

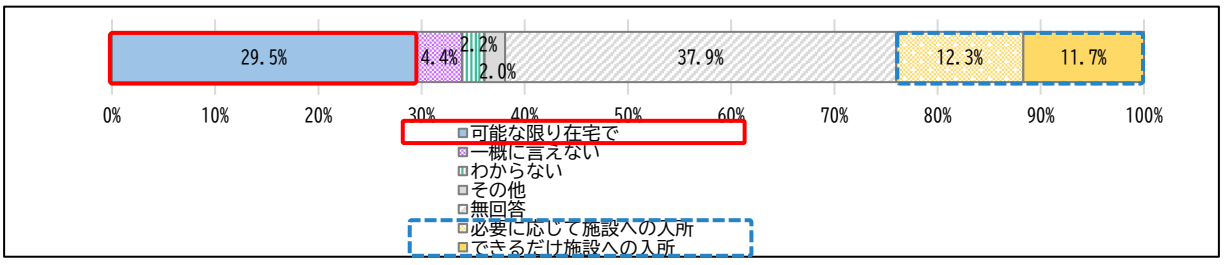
現在介護をしている方のみ、お答えください。
今後の介護の方法はどのように考えていますか。（１つの番号に○）

今後の介護の方法をどのように考えているかについて、若年者では「できる限り在宅で」が最も多く 39.5%となっており、施設への入所については 27.1%となっています。一般高齢者では「できる限り在宅で」が最も多く 29.5%となっており、施設への入所については 24.0%となっています。

■　若年者調査（n＝114）



■　一般高齢者調査（n＝454）

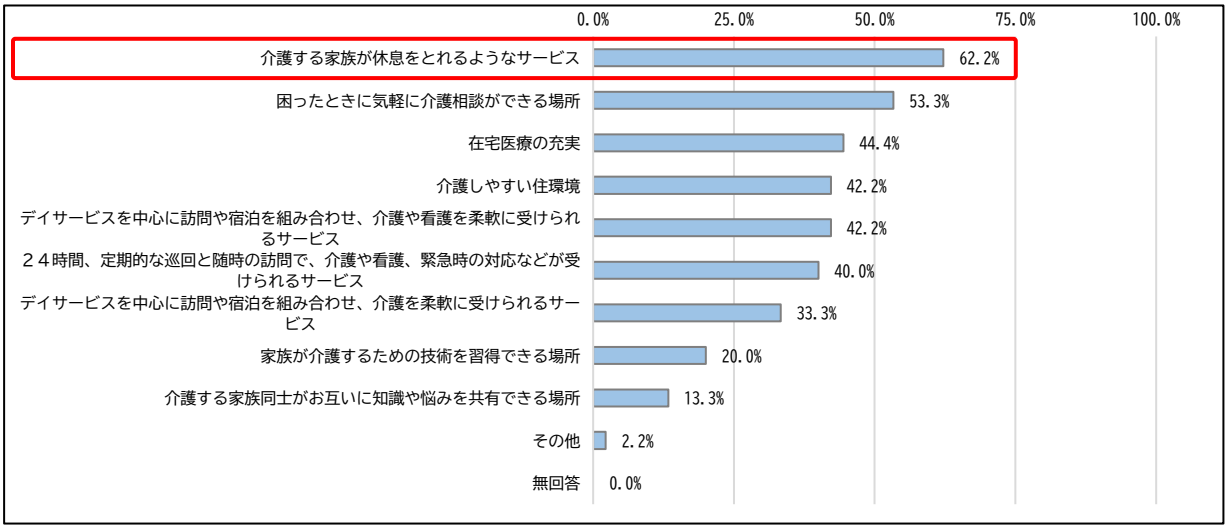


今後も可能な限り在宅で介護をしていくと回答した方のみ、お答えください。

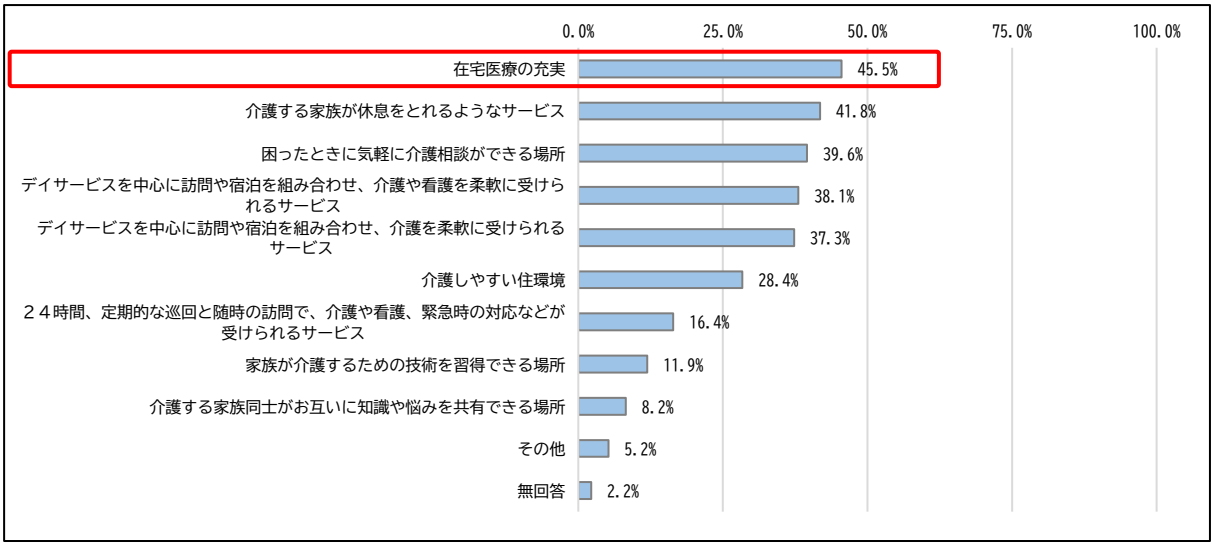
可能な限り在宅で介護していくためには何が必要だと思いますか。（あてはまるすべての番号に○）

今後も可能な限り在宅で介護を続けていくために必要なこととして、若年者では「介護する家族が休息をとれるようなサービス」が最も多く 62.2%となっており、一般高齢者では「在宅医療の充実」が最も多く 45.5%となっています。

■　若年者調査（n＝45）



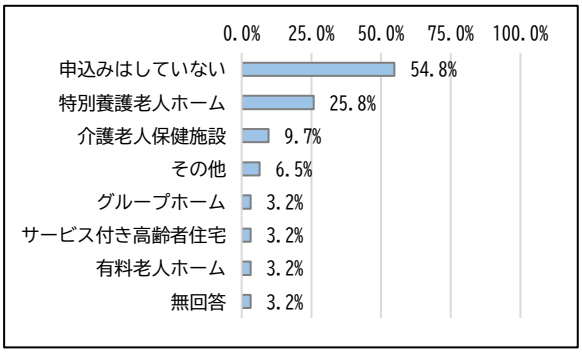
■　一般高齢者調査（n＝134）



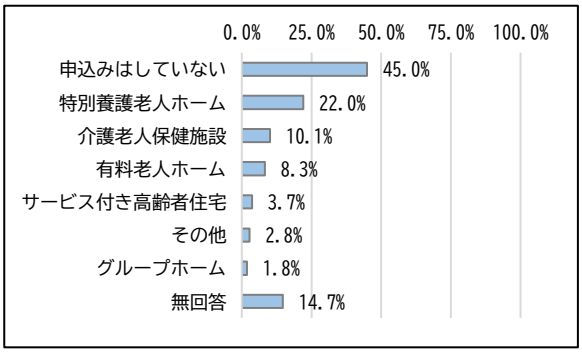
今後の介護について施設の入所を考えていると回答した方のみ、お答えください。
既に申込みをしている施設はありますか。（あてはまるすべての番号に○）

今後の介護について施設の入所を考えている方が、施設への申込みを行っている状況については以下の通りとなっています。

■　若年者調査（n＝31）



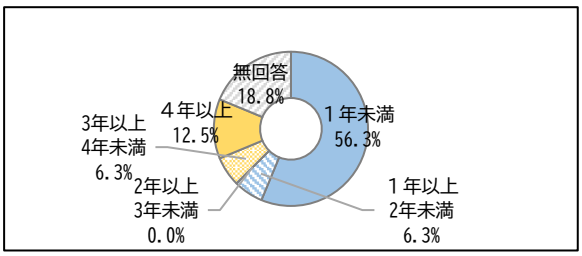
■　一般高齢者調査（n＝109）



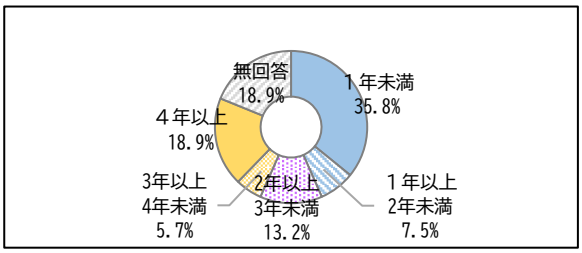
既に申込みをしている施設があると回答した方のみ、お答えください
最初に申込みをしてからどのくらいの期間が経ちましたか。

施設への申込みを行ってからの経過期間は若年者では１年未満が 56.3%、一般高齢者では１年未満が 35.8%となっています。

■　若年者調査（n＝16）



■　一般高齢者調査（n＝53）

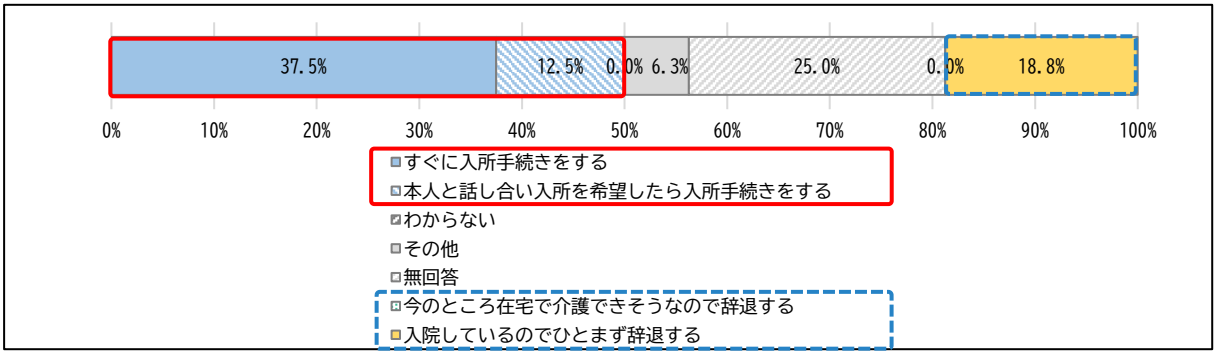


既に申込みをしている施設があると回答した方のみ、お答えください

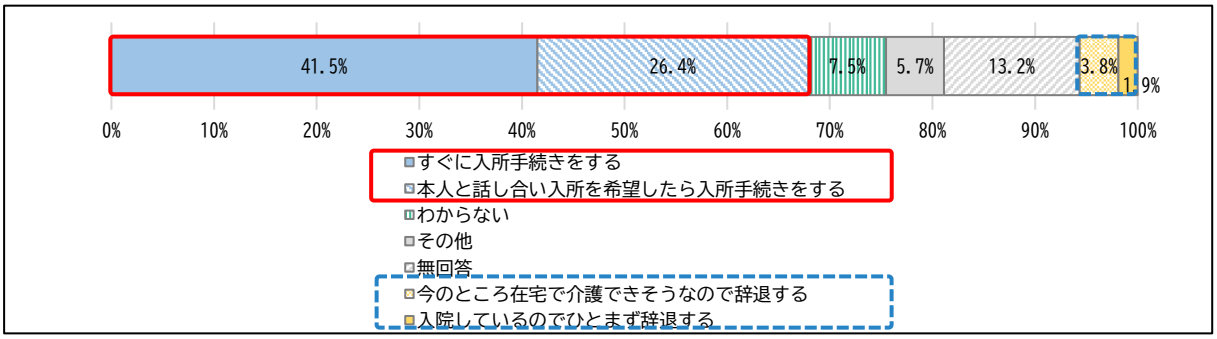
施設より入所許可の連絡があったらあなたはどうしますか。（１つの番号に○）

申込んでいる施設より入所許可の連絡があった場合、「すぐに入所手続きを行う」「本人と話し合い入所を希望したら入所手続きをする」と回答した割合は、若年者では 50.0%、一般高齢者では 67.9%となっています。

■　若年者調査（n＝16）



■　一般高齢者調査（n＝53）



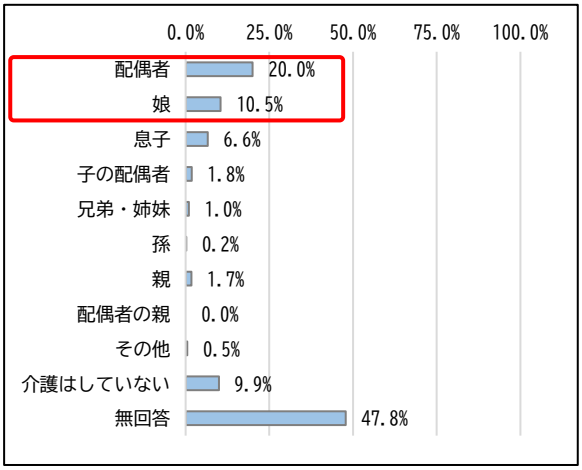
16．ご本人（あて名の方）に対する介護の実施状況について

（１）介護の状況

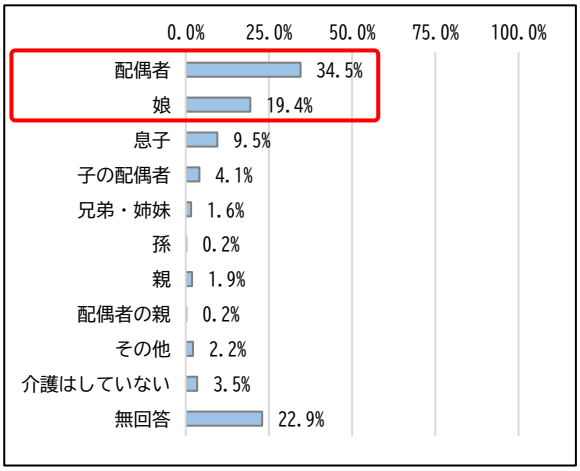
ご本人（あて名の方）を主に介護している方（以下「主な介護者」といいます。）は、ご本人から見てどなたですか。（１つに○）

主な介護者について、「配偶者」が最も多く、事業対象者・要支援認定者では 20.0%、「軽度」要介護認定者では 34．5%、「重度」要介護認定者では 40.1%となっており、次いで「娘」となっています。

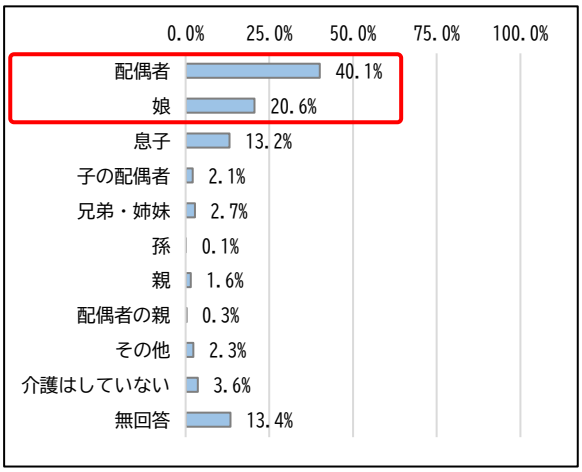
■　事業対象者・要支援認定者調査（n=1,614）



■　「軽度」要介護認定者調査（n=1,584）



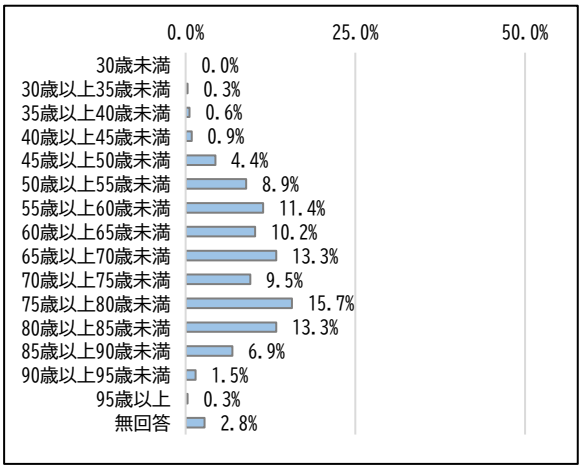
■　「重度」要介護認定者調査（n=768）



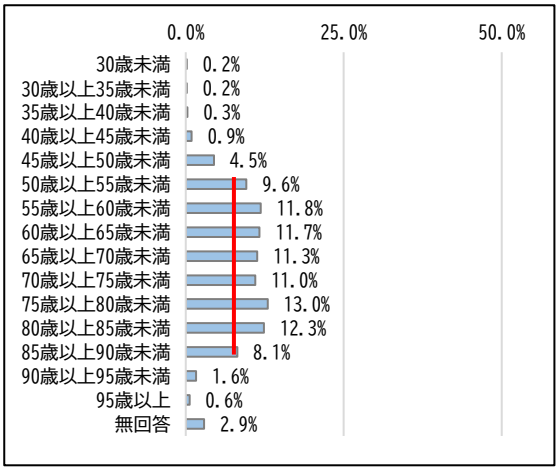
令和元年 11 月１日現在のあなた（主な介護者）の年齢を記入してください。（数字を記入）

主な介護者の年齢について、「軽度」要介護認定者では 50 歳から 85 歳まで、ほぼ均等となっていますが、「重度」要介護認定者では 70 歳から 75 歳が最も多く、その年代を中心として介護を行っている状況が伺えます。

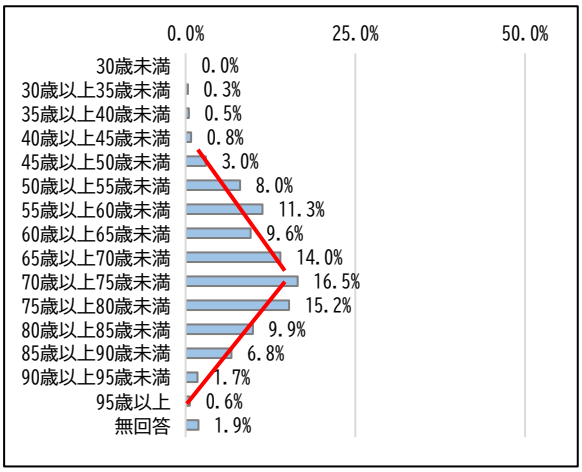
■　事業対象者・要支援認定者調査（n=1,614）



■　「軽度」要介護認定者調査（n=1,584）



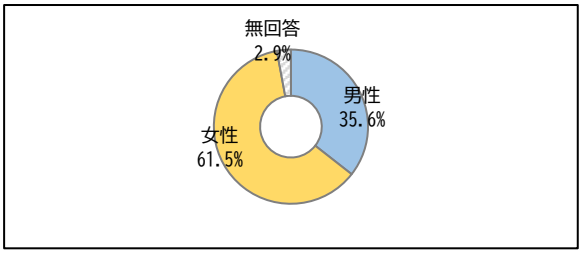
■　「重度」要介護認定者調査（n=768）



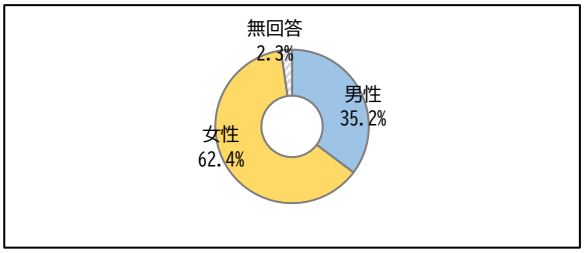
あなた（主な介護者）の性別をお答えください。（どちらかの番号に○）

主な介護者の性別について、いずれも「男性」より「女性」の割合が高く６割を超えています。

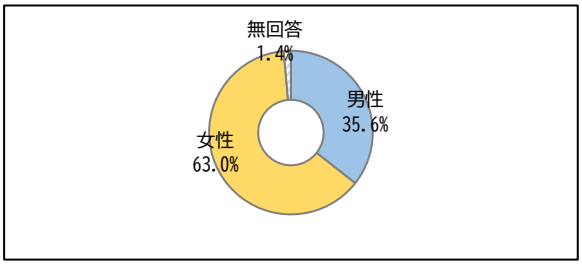
■　事業対象者・要支援認定者調査（n=683）



■　「軽度」要介護認定者調査（n=1,166）



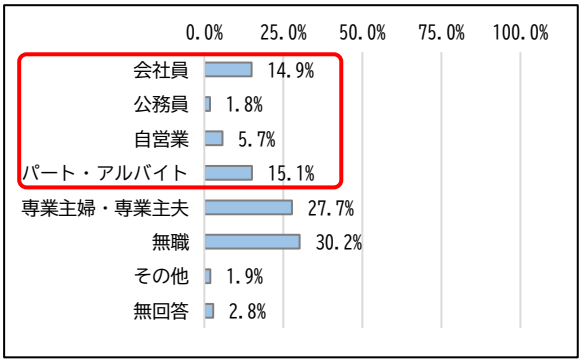
■　「重度」要介護認定者調査（n=637）



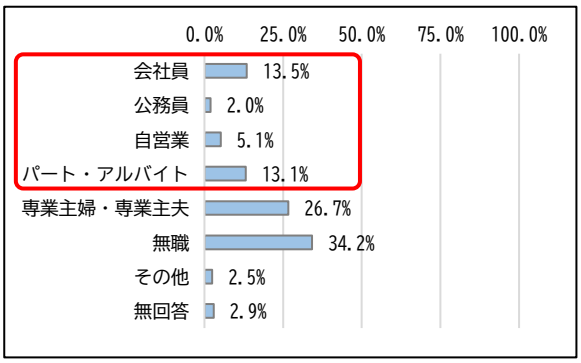
あなた（主な介護者）の職業をお答えください。（１つの番号に○）

主な介護者の職業について、「無職」の割合が最も高く３割以上となっており、次いで「専業主婦・専業主夫」となっている一方、「会社員」「公務員」「自営業」「パート・アルバイト」など、就業しながらという方についても３割を超えています。

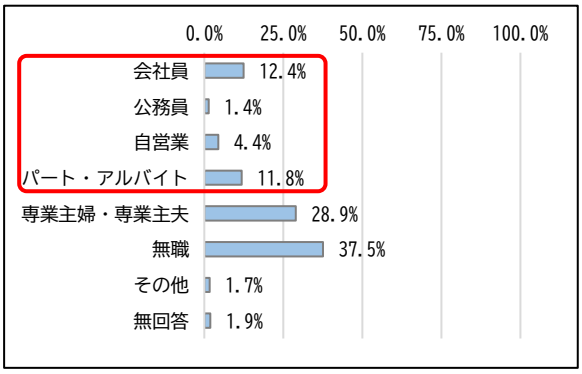
■　事業対象者・要支援認定者調査（n=683）



■　「軽度」要介護認定者調査（n=1,166）



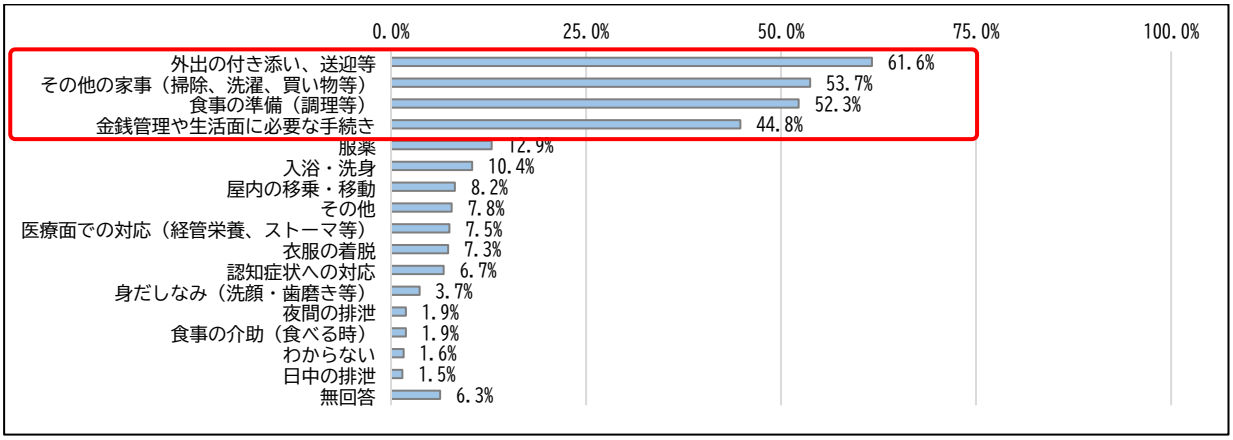
■　「重度」要介護認定者調査（n=637）



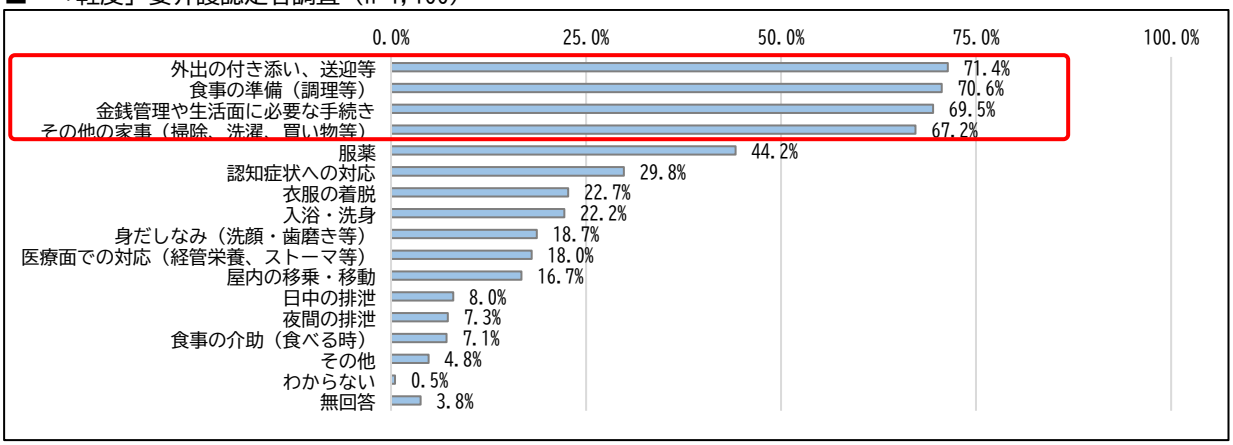
現在、あなた（主な介護者）が行っている介護等についてお答えください。（あてはまるすべての番号に○）

主な介護者が行っている介護について、要支援認定者及び「軽度」要介護認定者では「外出の付き添い・送迎」「掃除・選択などの家事」「食事の準備」「金銭管理」が主なものとなっています。「重度」要介護認定者ではこれらの介護に加えて「服薬」「衣服の着脱」となっています。

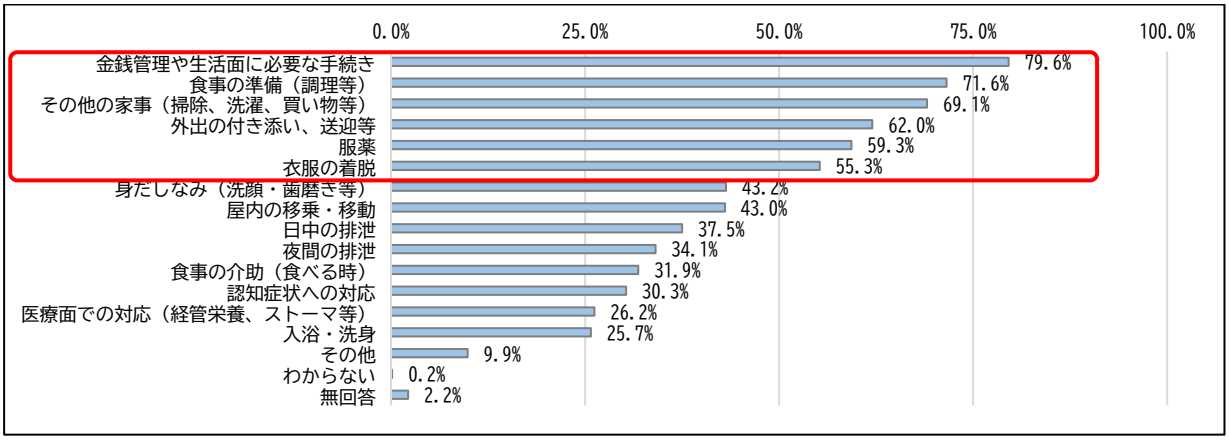
■　事業対象者・要支援認定者調査（n=683）



■　「軽度」要介護認定者調査（n=1,166）



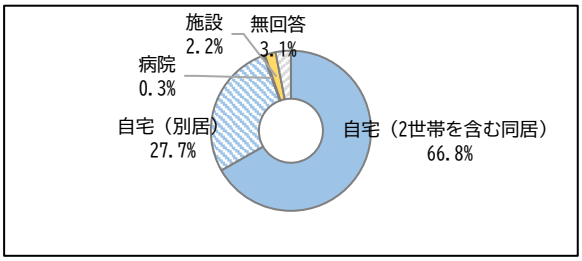
■　「重度」要介護認定者調査（n=637）



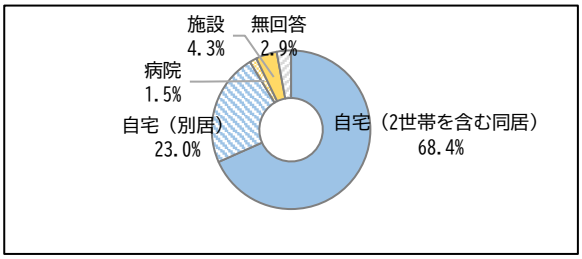
ご本人（あて名の方）はどちらにいらっしゃいますか。（１つの番号に○）

介護を受けるご本人の居住について、自宅で同居の割合が最も高く、約 67%となっています。

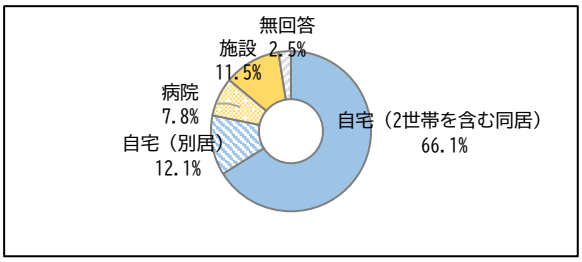
■　事業対象者・要支援認定者調査（n=683）



■　「軽度」要介護認定者調査（n=1,166）



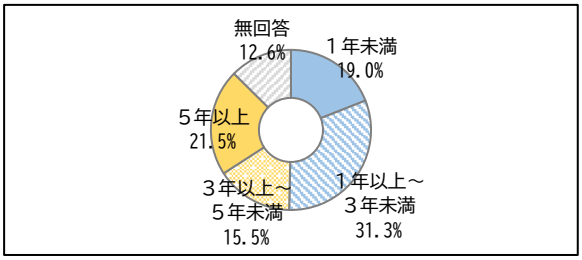
■　「重度」要介護認定者調査（n=637）



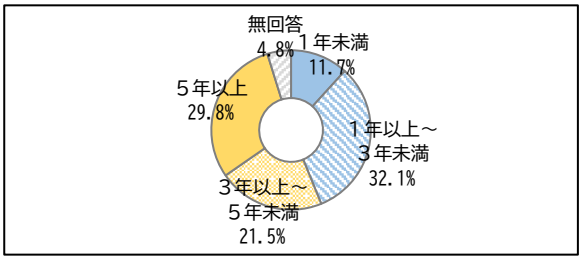
介護の期間はどの程度ですか。（１つの番号に○）

介護を行っている期間が「５年以上」と回答した方の割合について、事業対象者・要支援認定者では 21.5%、「軽度」要介護認定者では 29.8%、「重度」要介護認定者では 41.0%となっています。

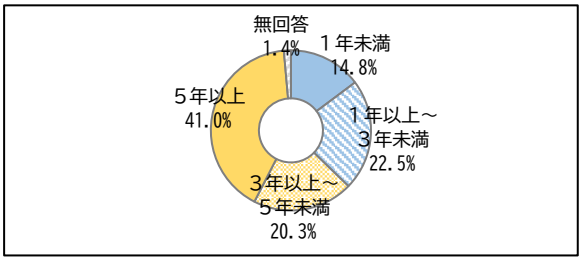
■　事業対象者・要支援認定者調査（n=683）



■　「軽度」要介護認定者調査（n=1,166）



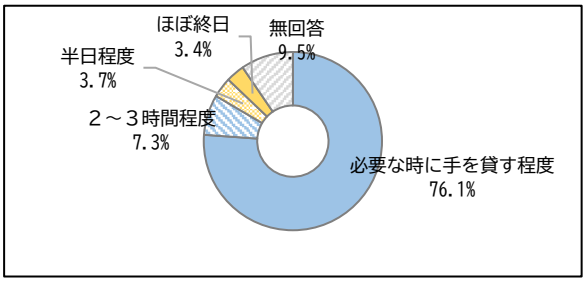
■　「重度」要介護認定者調査（n=637）



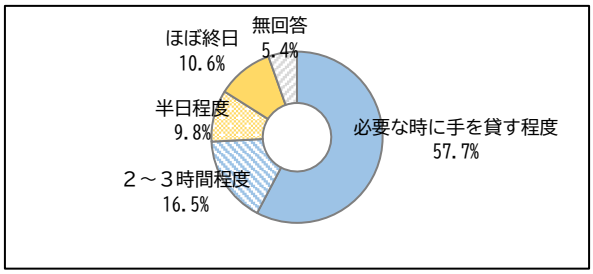
１日あたりの介護の頻度はどの程度ですか（どの程度でしたか）。（１つの番号に○）

１日あたりの介護の頻度について、「必要な時に手を貸す程度」が最も多く、事業対象者・要支援認定者では 76.1%、「軽度」要介護認定者では 57.7%となる一方、「重度」要介護認定者では「必要な時に手を貸す程度」と回答した割合が 36.4%となるとともに、「ほぼ毎日」と回答した割合について 33.6%となっています。

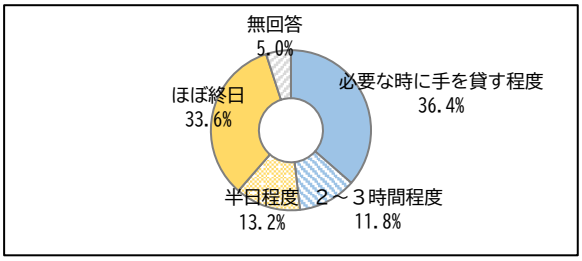
■　事業対象者・要支援認定者調査（n=683）



■　「軽度」要介護認定者調査（n=1,166）



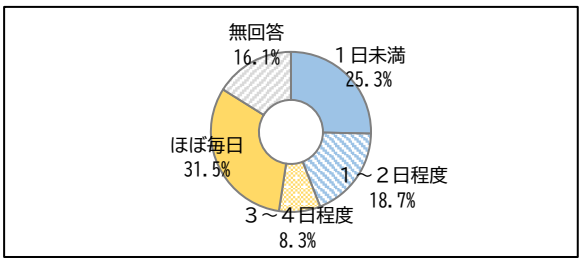
■　「重度」要介護認定者調査（n=637）



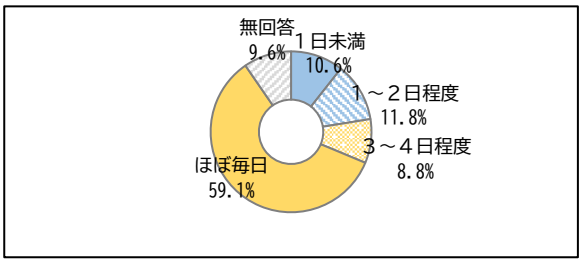
１週間あたりの介護の頻度はどの程度ですか。（１つの番号に○）

１週間あたりの介護の頻度について、「ほぼ毎日」と回答した割合が最も高く、「重度」要介護認定者では 69.5%となっています。

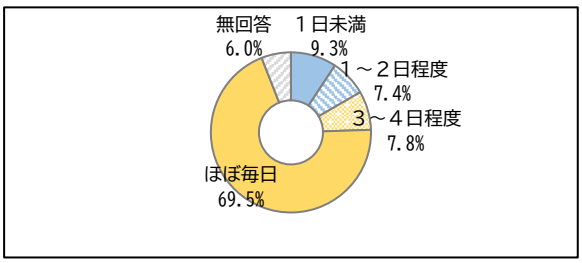
■　事業対象者・要支援認定者調査（n=683）



■　「軽度」要介護認定者調査（n=1,166）



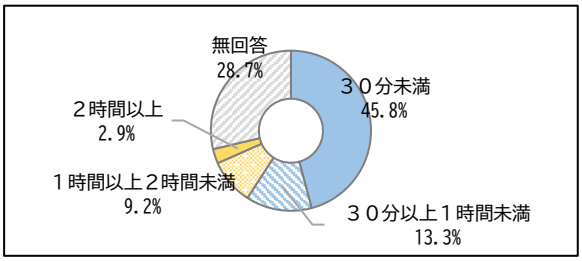
■　「重度」要介護認定者調査（n=637）



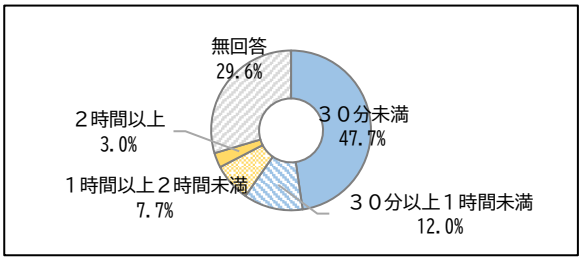
介護のために要する片道の移動時間はどの程度ですか。（１つの番号に○）

介護のために要する片道の移動時間について、「30 分未満」と回答した割合が最も多く、約 45%程度となっています。

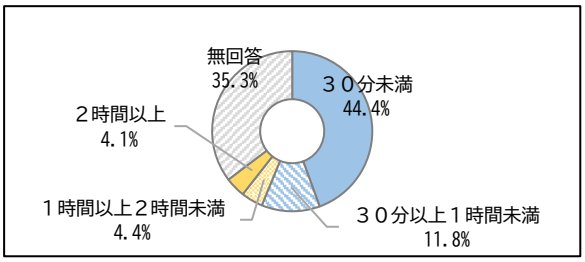
■　事業対象者・要支援認定者調査（n=683）



■　「軽度」要介護認定者調査（n=1,166）



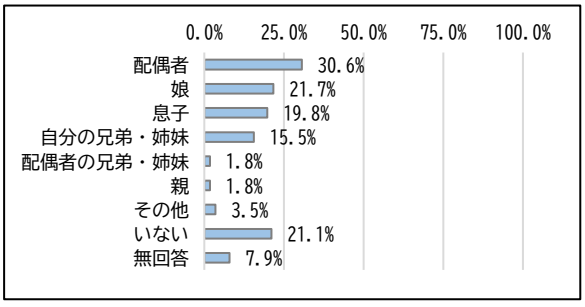
■　「重度」要介護認定者調査（n=637）



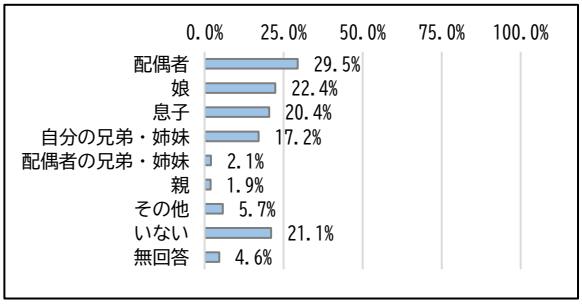
ご本人（あて名の方）の介護にあたり協力者はいますか。あなた（主介護者）から見た続柄でお答えください。（あてはまるすべての番号に○）

介護にあたっての協力者について、事業対象者・要支援認定者、「軽度」要介護認定者では「配偶者」が最も多く、「重度」要介護認定者では「娘」が最も多くなっています。

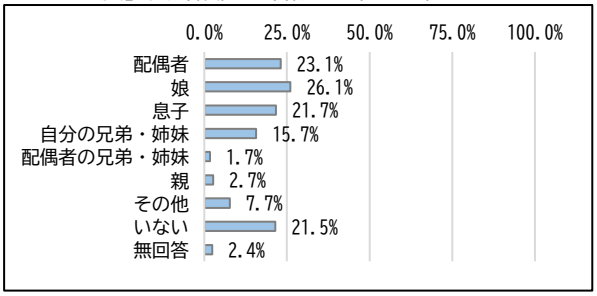
■　事業対象者・要支援認定者調査（n=683）



■　「軽度」要介護認定者調査（n=1,166）



■　「重度」要介護認定者調査（n=637）

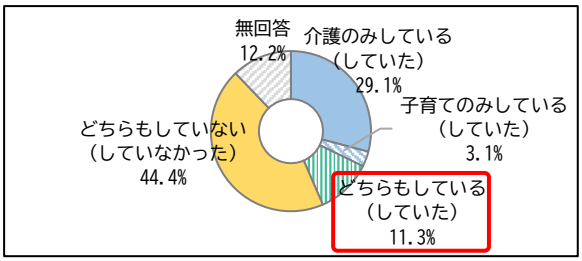


（２）ダブルケアの状況

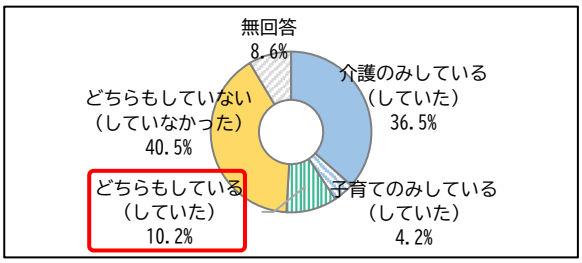
あなた（主介護者）は、ご本人（あて名の方）以外の方を、同時期に介護や子育てしていますか（していましたか）。（１つの番号に○）

介護と同時に子育てを行うダブルケアを行っている、あるいは行っていた割合について、事業対象者・要支援認定者では 11.3%、「軽度」要介護認定者では 10.2%、「重度」要介護認定者では 11.5%となっています。

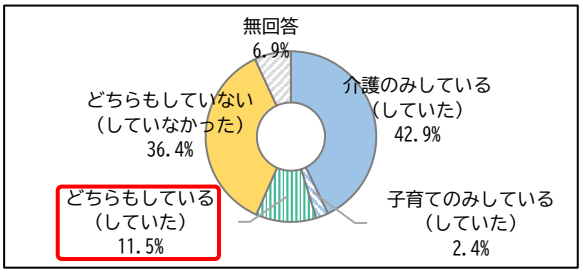
■　事業対象者・要支援認定者調査（n=683）



■　「軽度」要介護認定者調査（n=1,166）



■　「重度」要介護認定者調査（n=637）

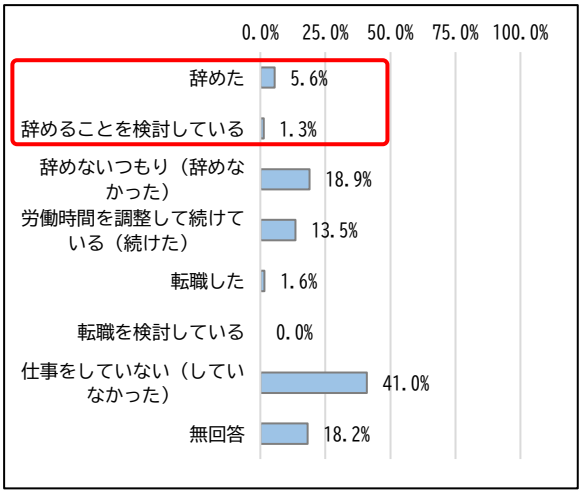


（３）介護離職の状況

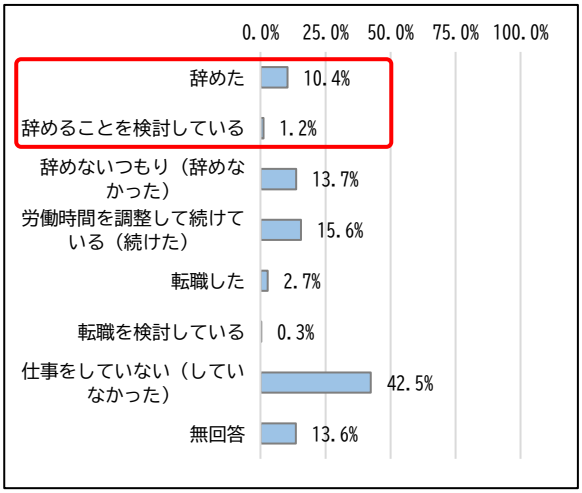
あなた（主な介護者）は介護のために（当時していた）仕事をどのように対応しましたか。（１つの番号に○）

介護のために仕事をどのように対応したかについて、「辞めた」あるいは「辞めることを検討している」と回答した割合は、事業対象者・要支援認定者では 6.9%、「軽度」要介護認定者では 11.6%、「重度」要介護認定者では 18.0%となっており、要介護状態が重度化になるほど離職の意向が高まっています。

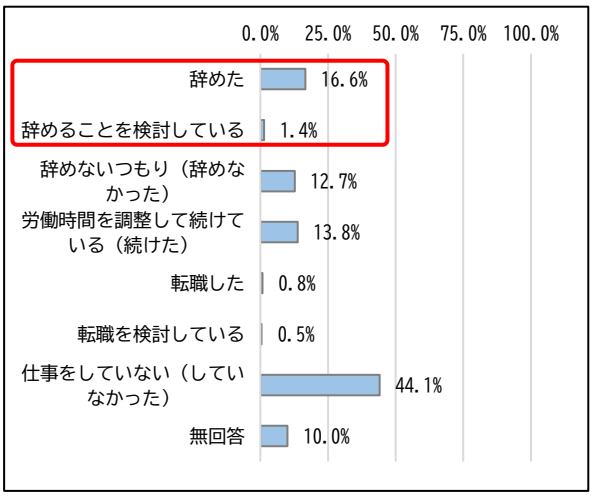
■　事業対象者・要支援認定者調査（n=683）



■　「軽度」要介護認定者調査（n=1,166）



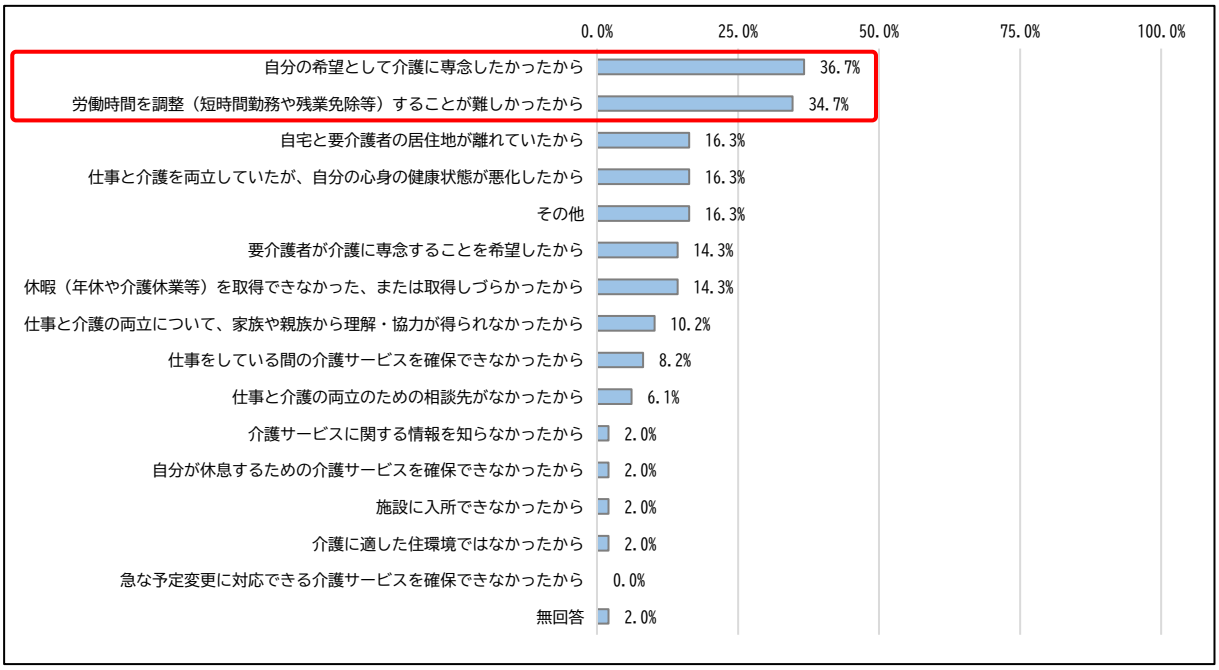
■　「重度」要介護認定者調査（n=637）



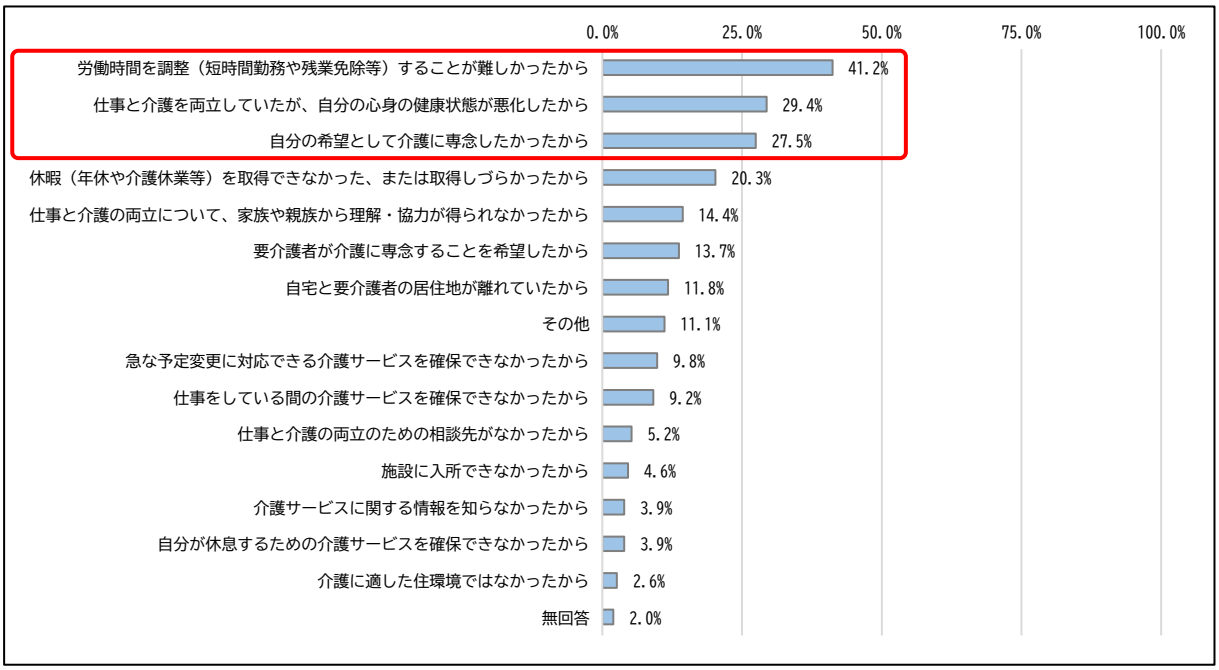
介護のために仕事を辞めた、転職したと回答した方のみ、お答えください。
仕事を辞めることになった理由は何ですか。（あてはまるすべての番号に○）

介護のために（当時していた）仕事を「辞めた」あるいは「転職した」理由について、事業対象者・要支援認定者では「介護に専念したかったから」が最も多く、次いで「労働時間を調整することが難しかったから」となっており、「軽度」要介護認定者、「重度」要介護認定者ではこれらに加えて、「自身の健康状態が悪化したから」と回答した割合が高くなっています。

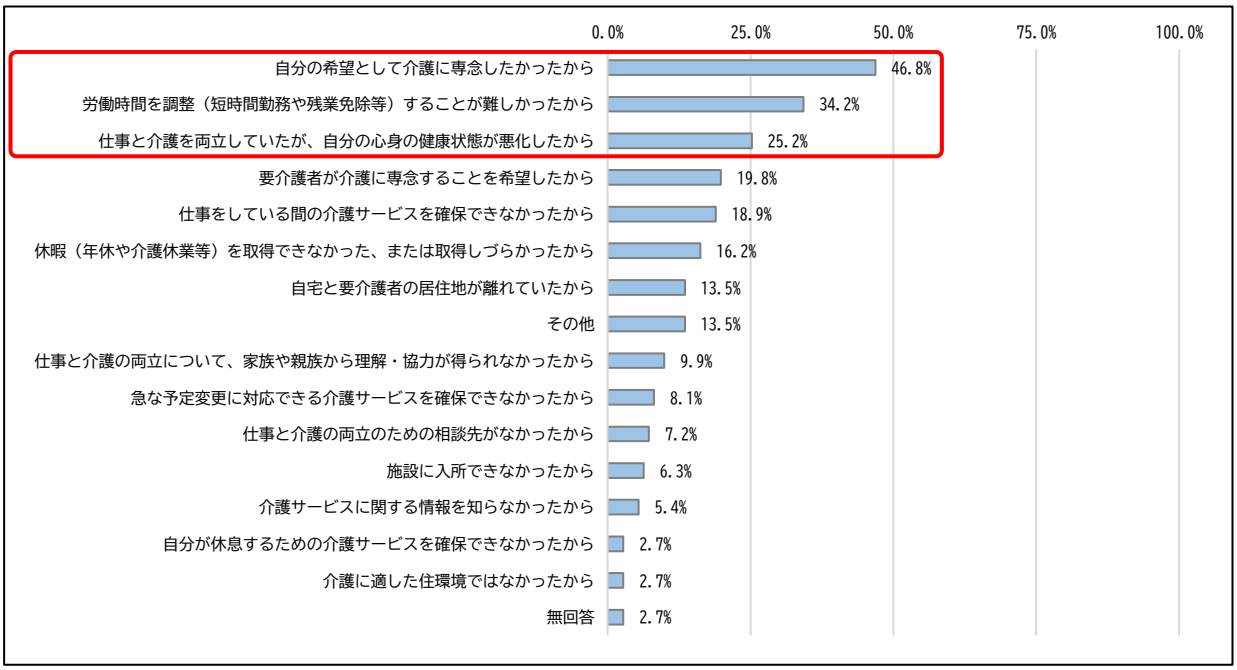
■　事業対象者・要支援認定者調査（n=49）



■　「軽度」要介護認定者調査（n=153）



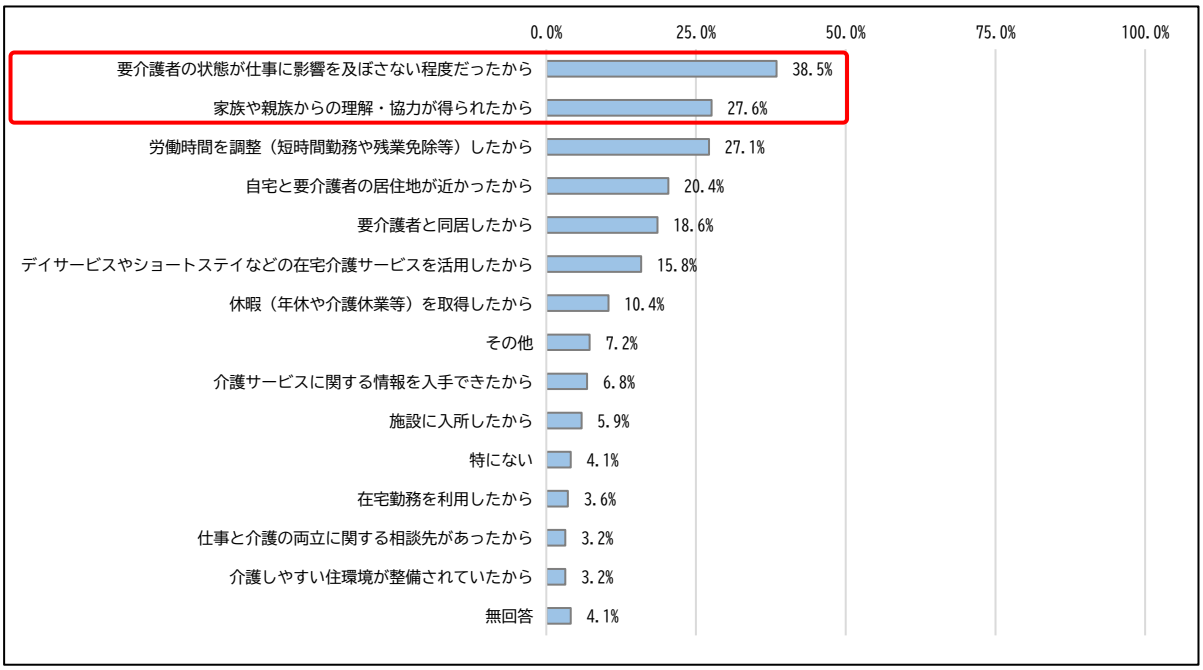
■　「重度」要介護認定者調査（n=111）



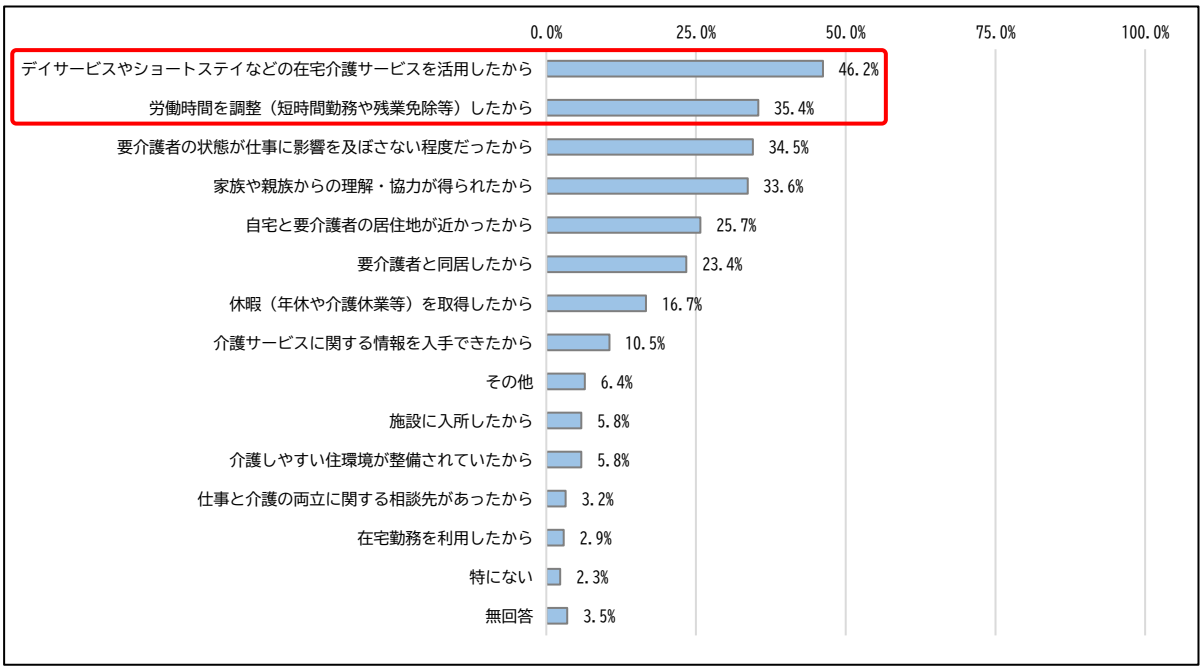
介護のために仕事を辞めないで続けている（続けた）と回答した方のみ、お答えください。
仕事を続けていられた理由は何ですか。（あてはまるすべての番号に○）

介護のために仕事を辞めないで続けられている理由について、事業対象者・要支援認定者では「仕事に影響を及ぼさない程度だった」が最も多く、次いで「家族や親族からの理解・協力が得られたから」となっている一方、「軽度」要介護認定者、「重度」要介護認定者では「デイサービスやショートステイなどの在宅介護サービスを活用したから」が最も多く、次いで「労働時間を調整したから」となっています。

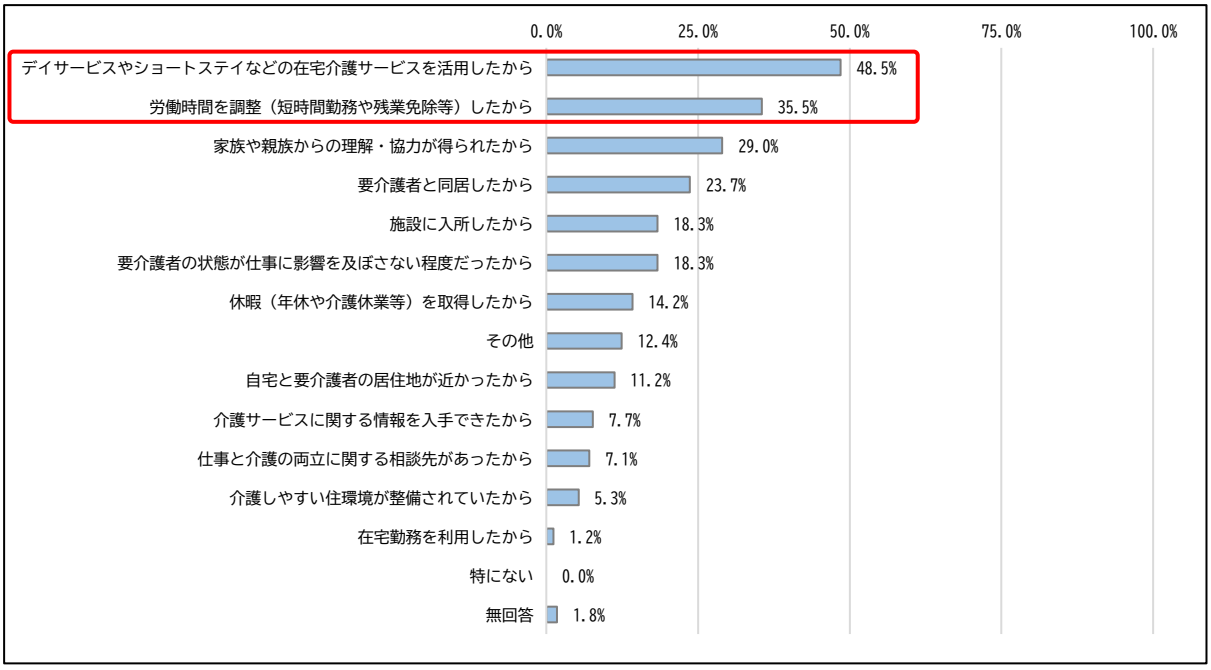
■　事業対象者・要支援認定者調査（n=221）



■　「軽度」要介護認定者調査（n=342）



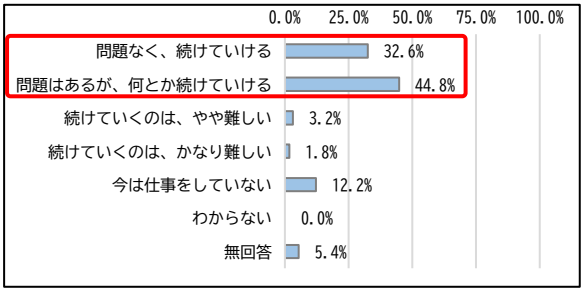
■　「重度」要介護認定者調査（n=169）



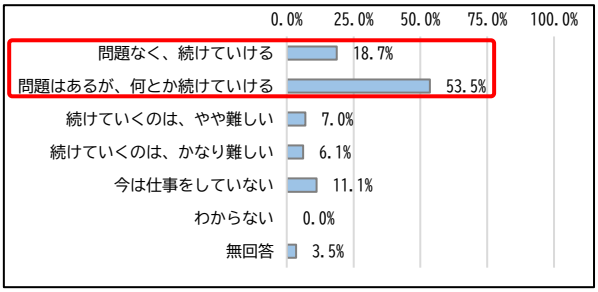
介護のために仕事を辞めないで続けている（続けた）と回答した方のみ、お答えください。
今後も働きながら介護を続けていけそうですか。（１つの番号に○）

介護のために、今後も仕事を辞めないで続けられるかについて、「続けていける」と回答した割合は、事業対象者・要支援認定者では 77.4%、「軽度」要介護認定者では 72.2%、「重度」要介護認定者では 69.2%となっています。

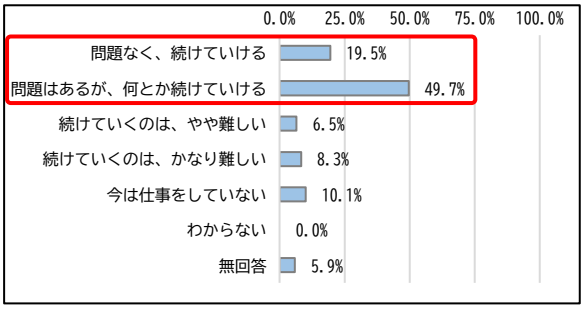
■　事業対象者・要支援認定者調査（n=221）



■　「軽度」要介護認定者調査（n=342）



■　「重度」要介護認定者調査（n=169）

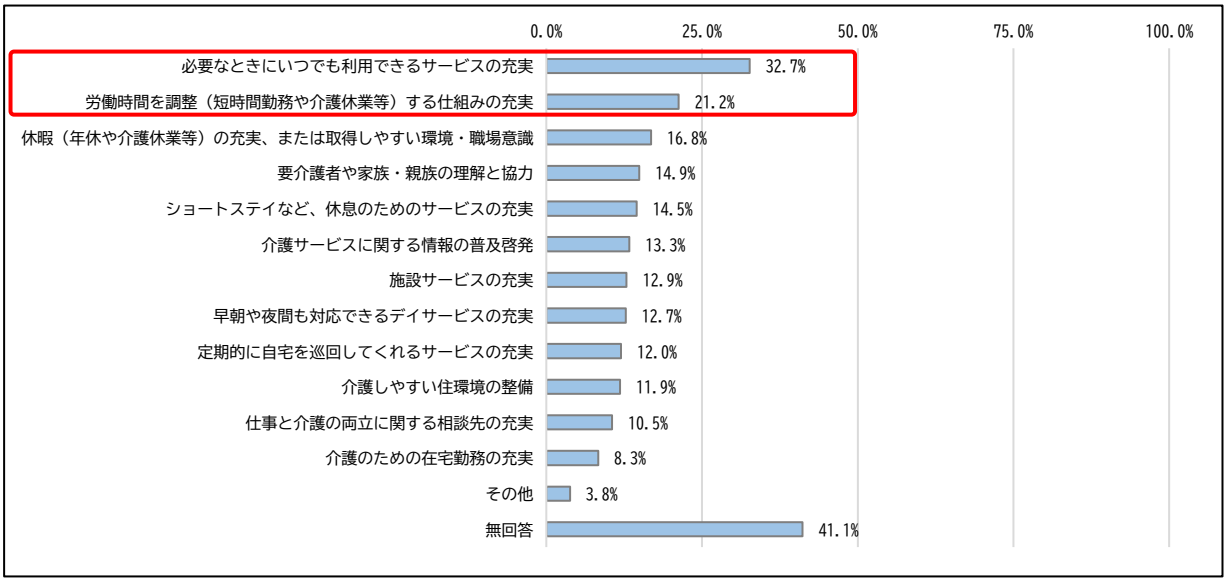


介護のために仕事を辞めないで続けている（続けた）と回答した方のみ、お答えください。

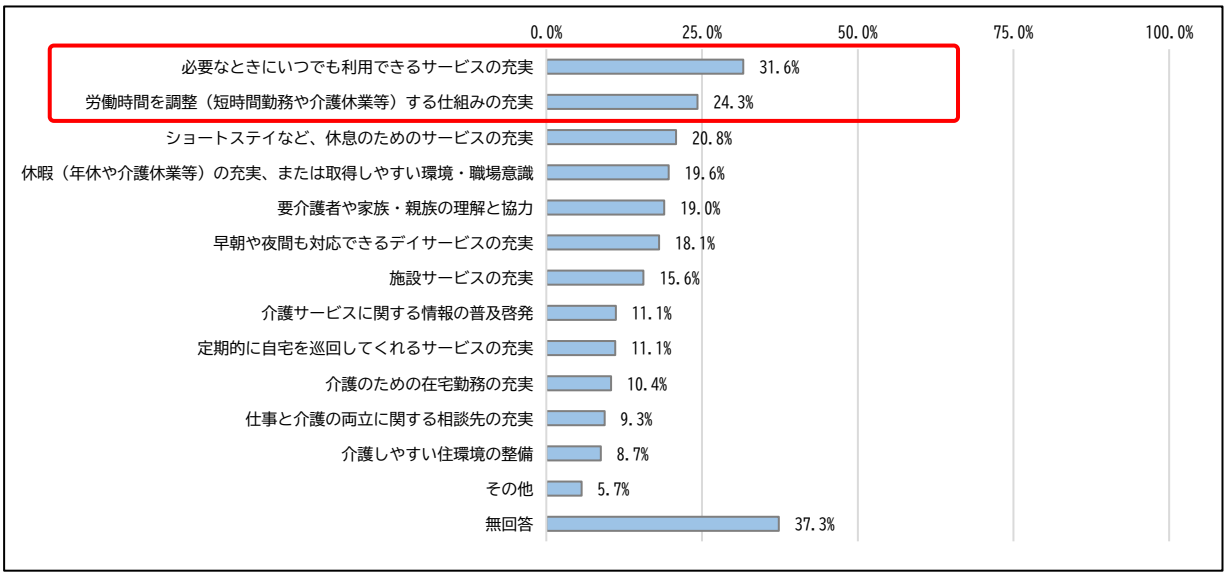
どのような支援があれば仕事と介護の両立ができると思いますか。（あてはまるすべての番号に○）

今後も仕事を辞めないで続けられるための支援について、「必要な時にいつでも利用できるサービスの充実」が最も多くなっており、事業対象者・要支援認定者、「軽度」要介護認定者では次いで「労働時間を調整する仕組みの充実」となっており、「重度」要介護認定者では「早朝や夜間も対応できるデイサービスの充実」「ショートステイなど、休息のためのサービスの充実」が高くなっており、介護サービスの充実、レスパイトサービスの充実を求める意見が多くなっています。

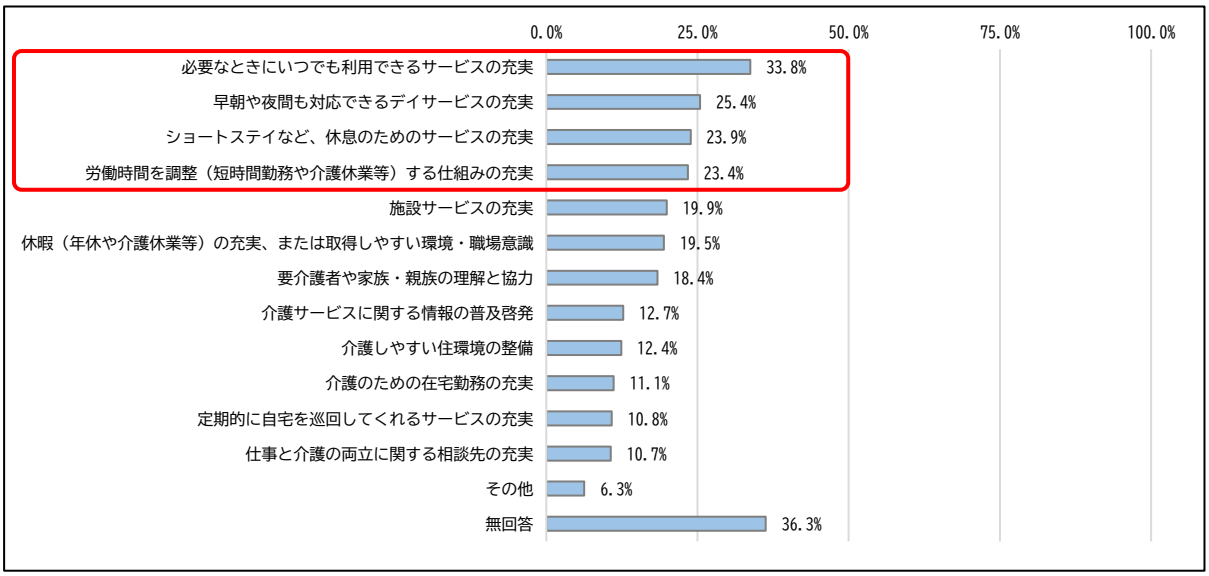
■　事業対象者・要支援認定者調査（n=683）



■　「軽度」要介護認定者調査（n=1,166）



■　「重度」要介護認定者調査（n=637）

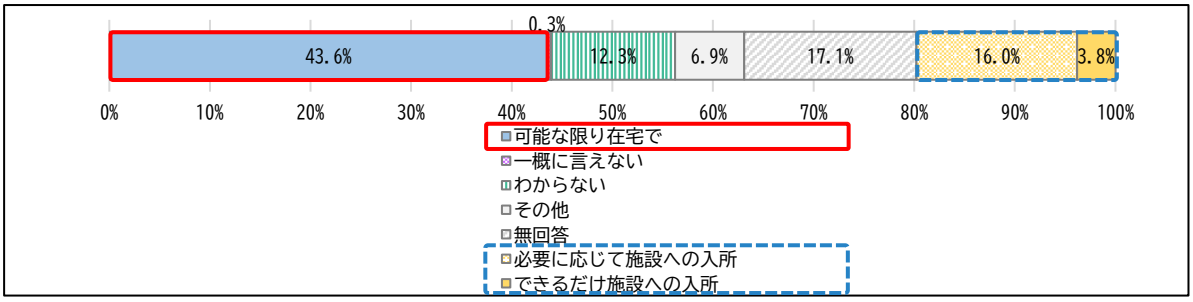


（４）今後の介護の方法

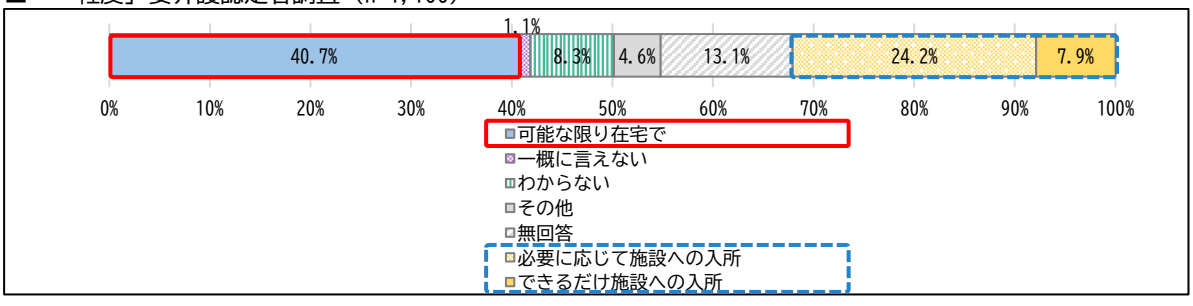
今後の介護の方法はどのように考えていますか。（１つの番号に○）

今後の介護の方法をどのように考えているかについて、事業対象者・要支援認定者では「できる限り在宅で」が 43.6%となっており、施設への入所については 19.8%となっています。「軽度」要介護認定者では「できる限り在宅で」が 40.7%、施設への入所については 32.1%、「重度」要介護認定者「できる限り在宅で」が 41.8%、施設への入所については 32.0%となっており、要介護状態になることで、施設への入所を考える傾向が高くなっています。

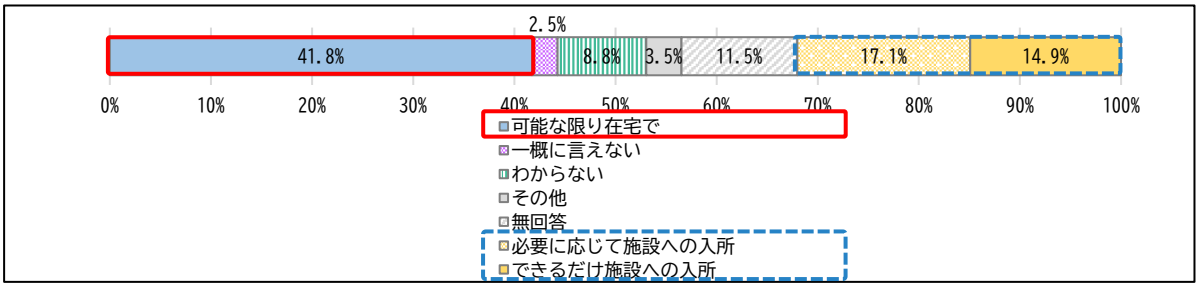
■　事業対象者・要支援認定者調査（n=683）



■　「軽度」要介護認定者調査（n=1,166）



■　「重度」要介護認定者調査（n=637）

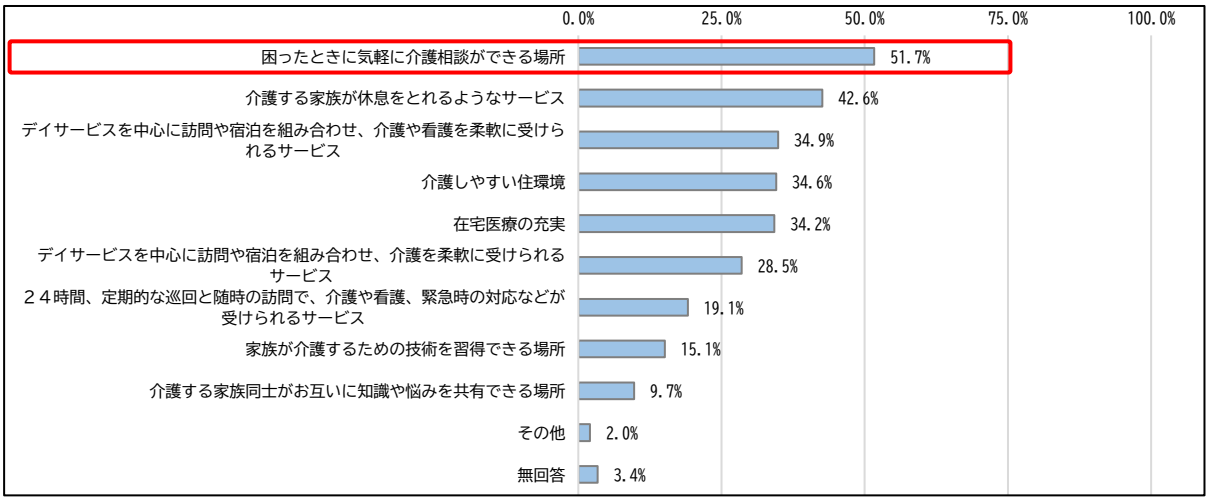


今後も可能な限り在宅で介護をしていくと回答した方のみ、お答えください。

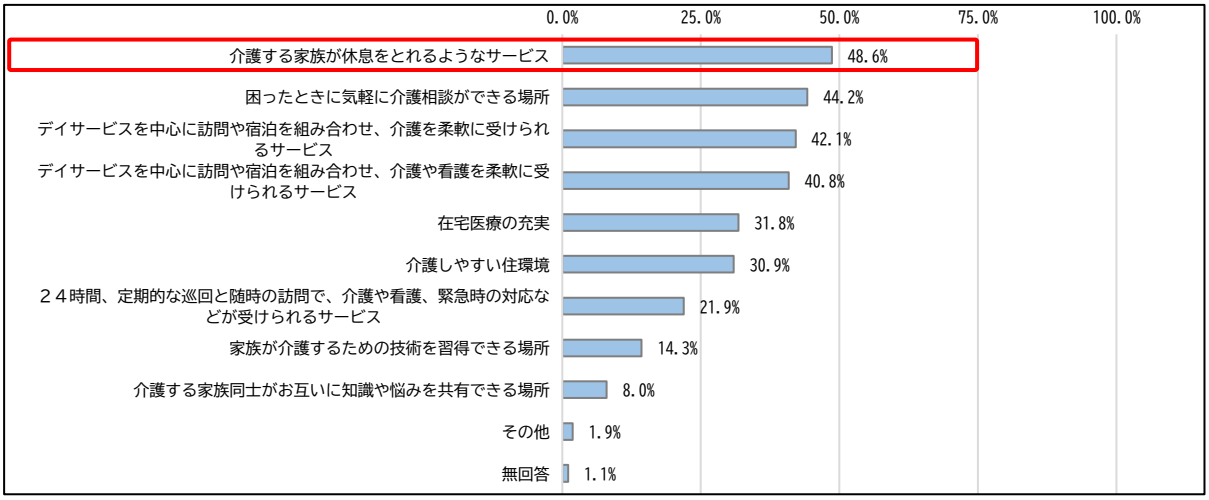
可能な限り在宅で介護していくためには何が必要だと思いますか。（あてはまるすべての番号に○）

今後も可能な限り在宅で介護を続けていくために必要なこととして、事業対象者・要支援認定者では「困ったときに気軽に介護相談ができる場所」が最も多く 51.7%となっており、「軽度」要介護認定者、「重度」要介護認定者では「介護する家族が休息をとれるようなサービス」が最も多くなっています。

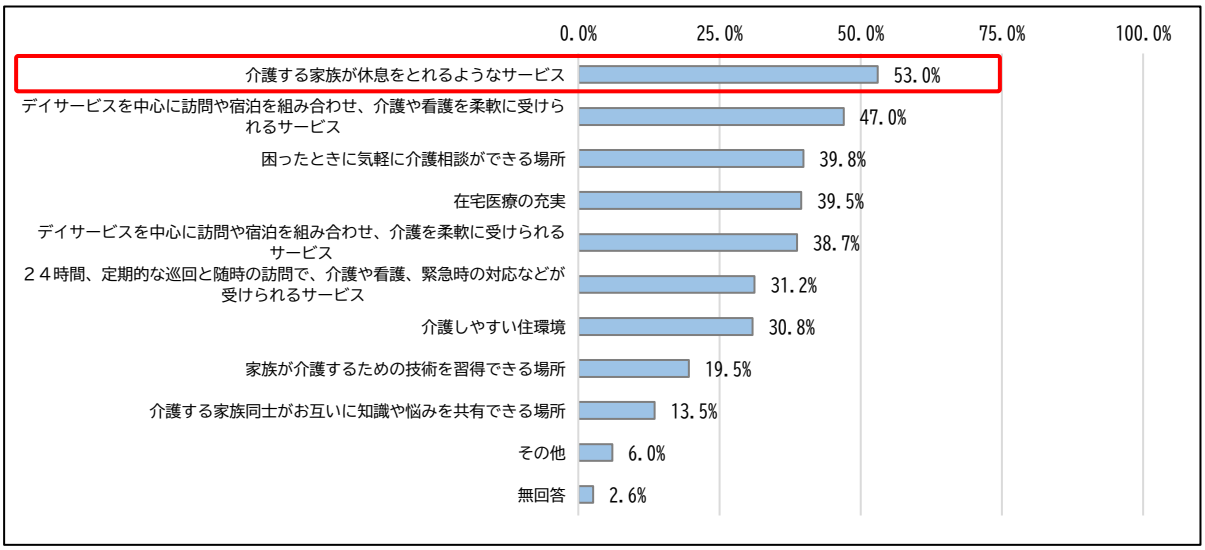
■　事業対象者・要支援認定者調査（n=298）



■　「軽度」要介護認定者調査（n=475）



■　「重度」要介護認定者調査（n=266）

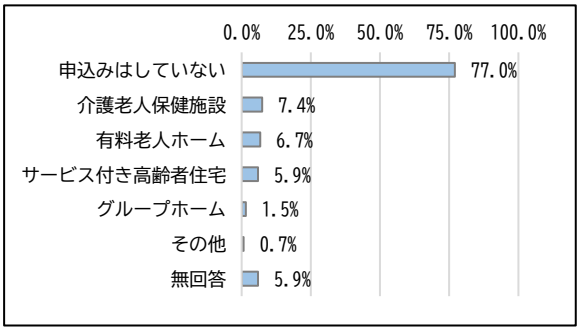


今後の介護について施設の入所を考えていると回答した方のみ、お答えください。

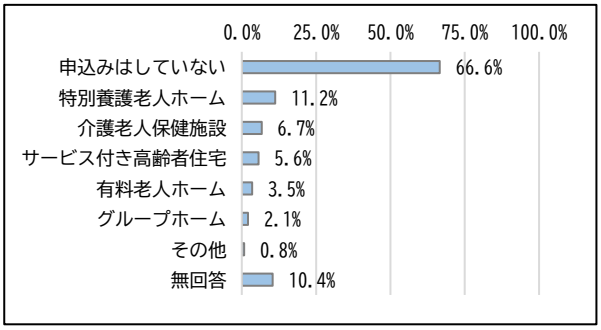
既に申込みをしている施設はありますか。（あてはまるすべての番号に○）

今後の介護について施設への入所を考えている方が、施設への入所申込みを行っている状況については以下の通りとなっています。

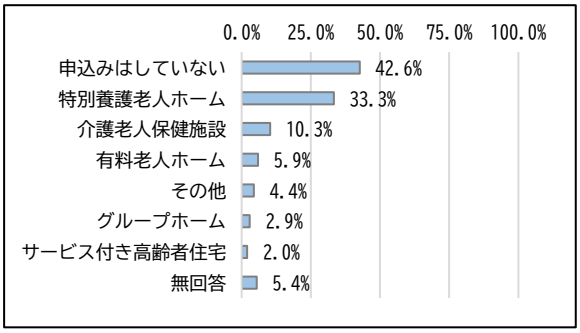
■　事業対象者・要支援認定者調査（n=135）



■　「軽度」要介護認定者調査（n=374）



■　「重度」要介護認定者調査（n=204）

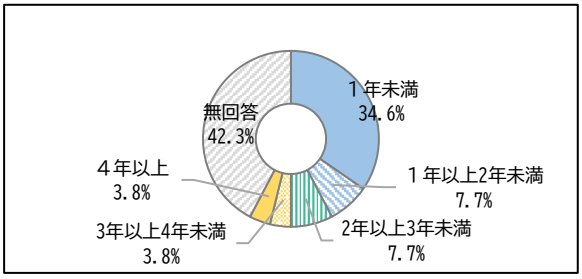


既に申込みをしている施設があると回答した方のみ、お答えください

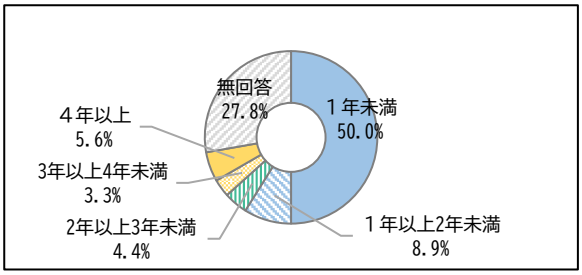
最初に申込みをしてからどのくらいの期間が経ちましたか。

既に施設への入所申込みをしている方の申込経過期間について、いずれも「1 年未満」が最も多くなっています。

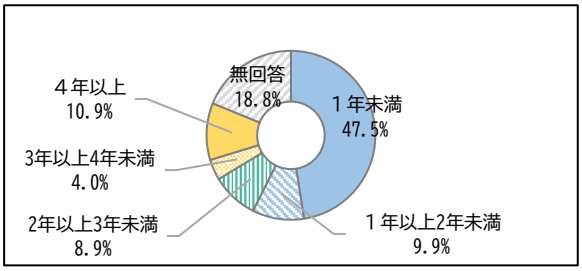
■　事業対象者・要支援認定者調査（n=26）



■　「軽度」要介護認定者調査（n=90）



■　「重度」要介護認定者調査（n=101）

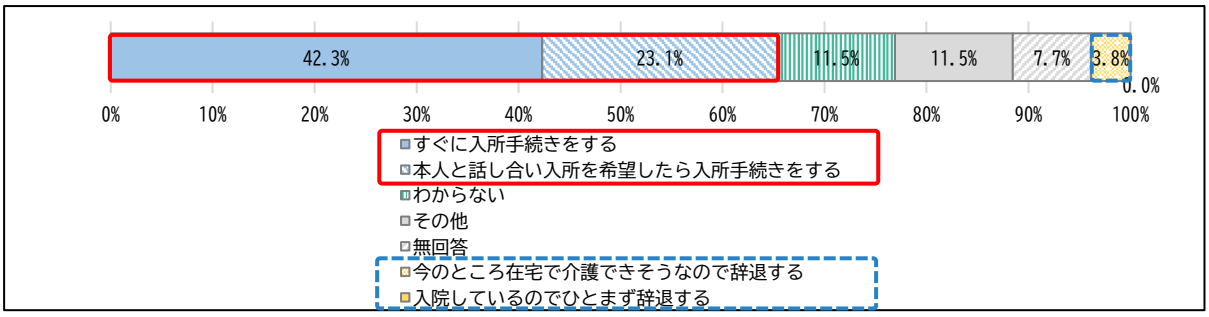


既に申込みをしている施設があると回答した方のみ、お答えください

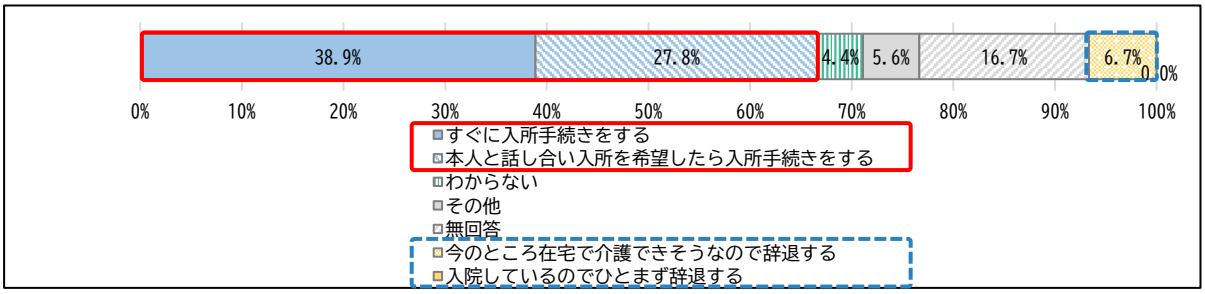
施設より入所許可の連絡があったらあなたはどうしますか。（１つの番号に○）

申込んでいる施設より入所許可の連絡があった場合、「すぐに入所手続きを行う」「本人と話し合い入所を希望したら入所手続きをする」と回答した割合は、事業対象者・要支援認定者では 65.4%、「軽度」要介護認定者では 66.7%、「重度」要介護認定者では 66.3%となっています。

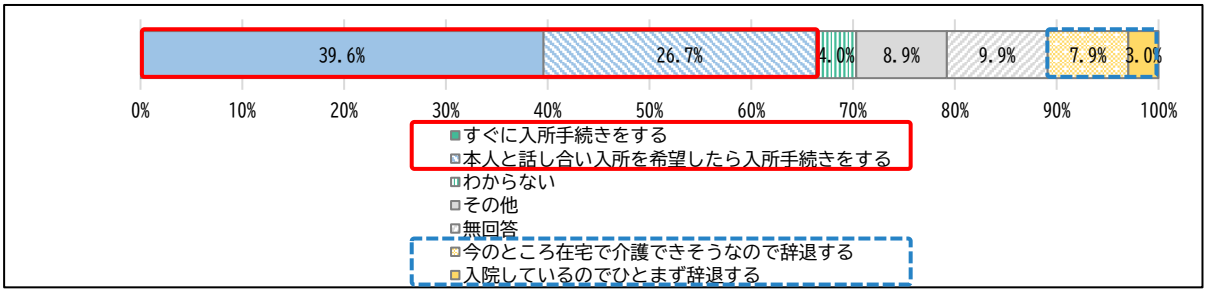
■　事業対象者・要支援認定者調査（n=26）



■　「軽度」要介護認定者調査（n=90）



■　「重度」要介護認定者調査（n=101）

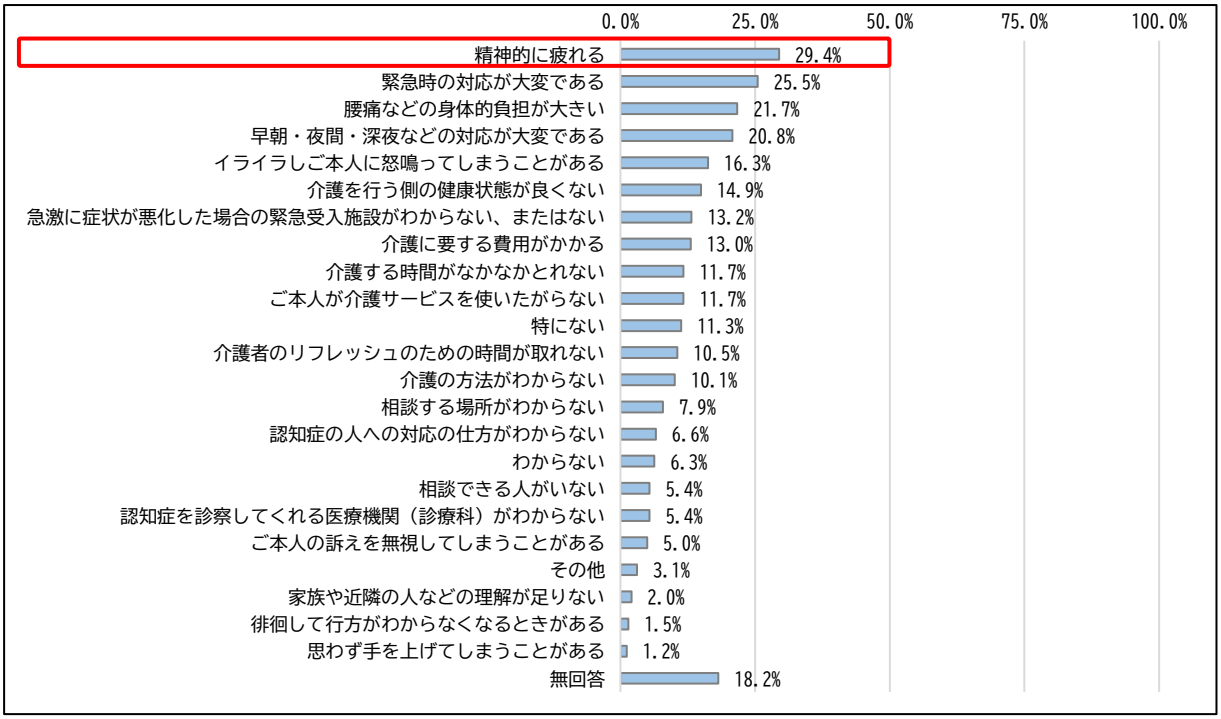


（５）介護における悩み

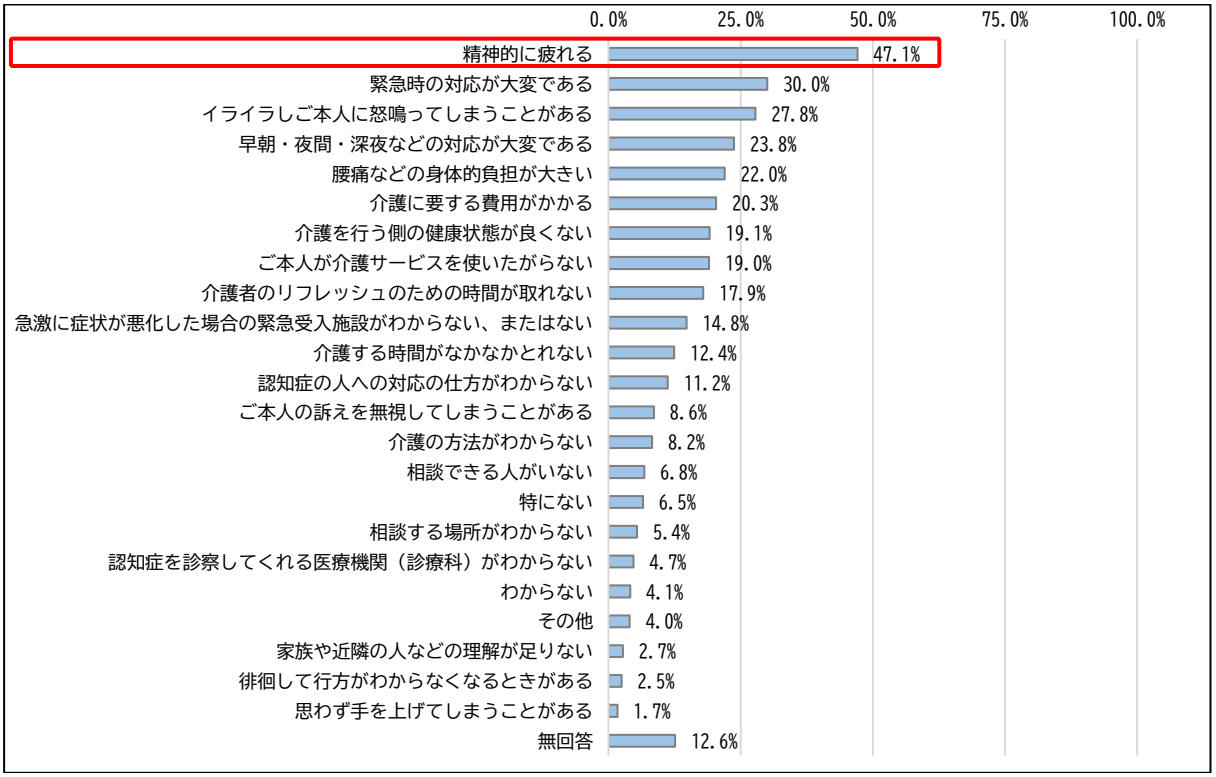
あなた（主な介護者）が現在もしくは今後介護を行う上で、困ることや悩むことは何だと思いますか。（あてはまるすべての番号に○）

今後介護を行う上で、困ることや悩むことについて「精神的に疲れる」と回答した割合が最も高く事業対象者・要支援認定者では 29.4%、「軽度」要介護認定者では 47.1%、「重度」要介護認定者では 48.4%となっています。

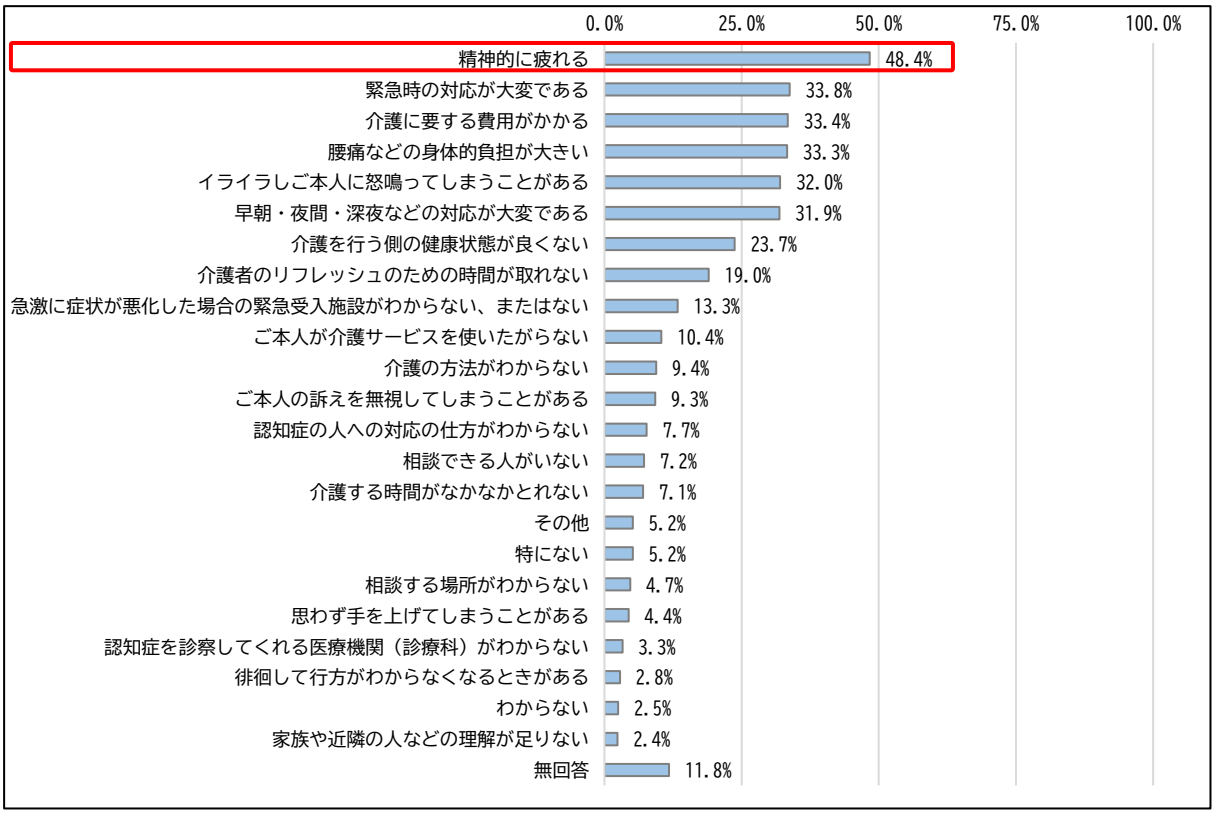
■　事業対象者・要支援認定者調査（n=683）



■　「軽度」要介護認定者調査（n=1,166）



■　「重度」要介護認定者調査（n=101）

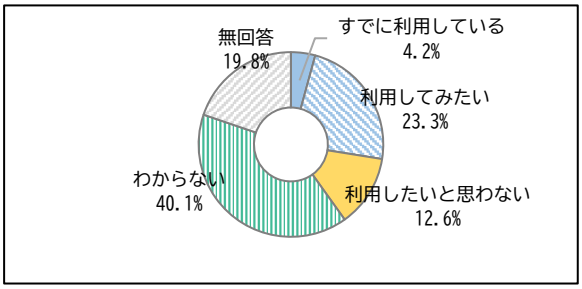


（６）在宅医療

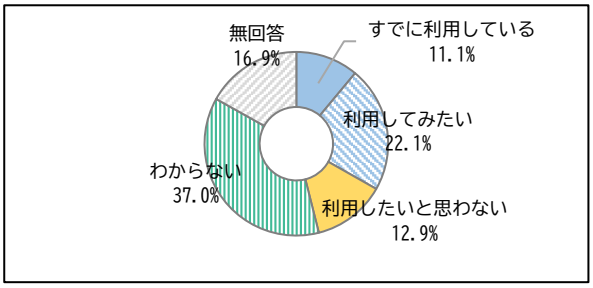
在宅医療を利用してみたいと思いますか。（１つの番号に○）

在宅医療を「すでに利用している」「利用してみたい」と回答した割合について、事業対象者・要支援認定者では 27.5%、「軽度」要介護認定者では 33.2%、「重度」要介護認定者では 45.9%となっています。

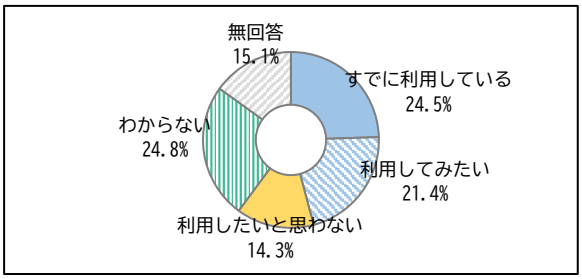
■　事業対象者・要支援認定者調査（n=683）



■　「軽度」要介護認定者調査（n=1,166）



■　「重度」要介護認定者調査（n=637）

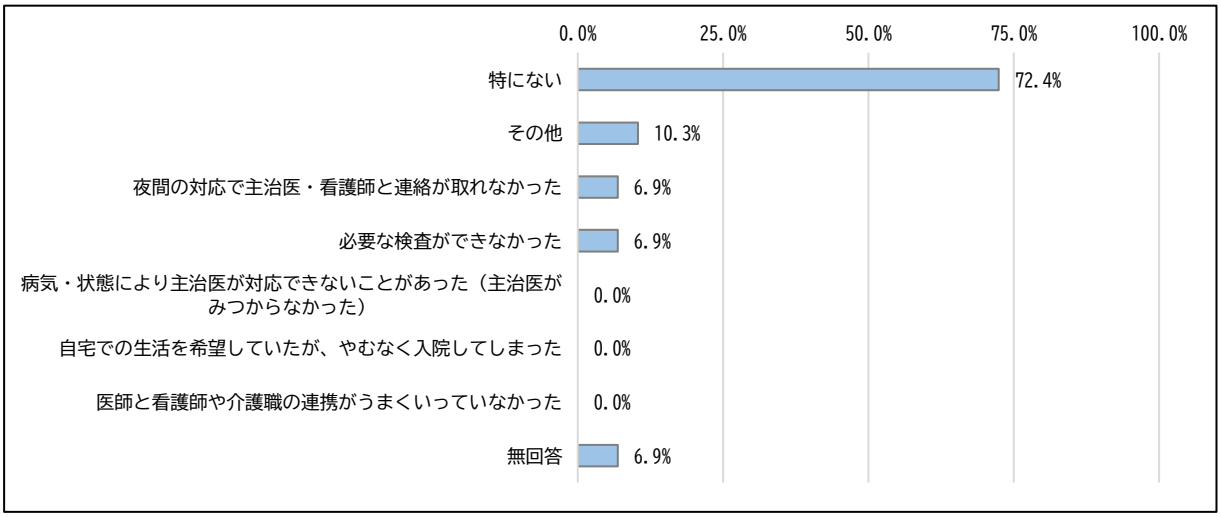


すでに在宅医療を利用していると回答した方のみ、お答えください。

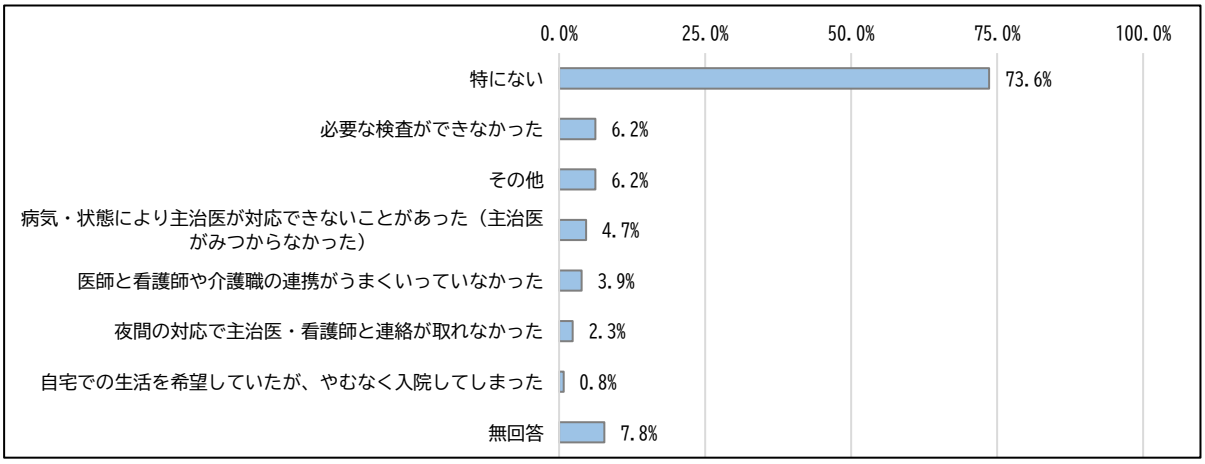
在宅医療で対応できず困ったことは何ですか。（あてはまるすべての番号に○）

在宅医療を利用している方が、在宅医療で対応できず困ったことについて、「特にない」と回答した割合が高く、約７割となっています。

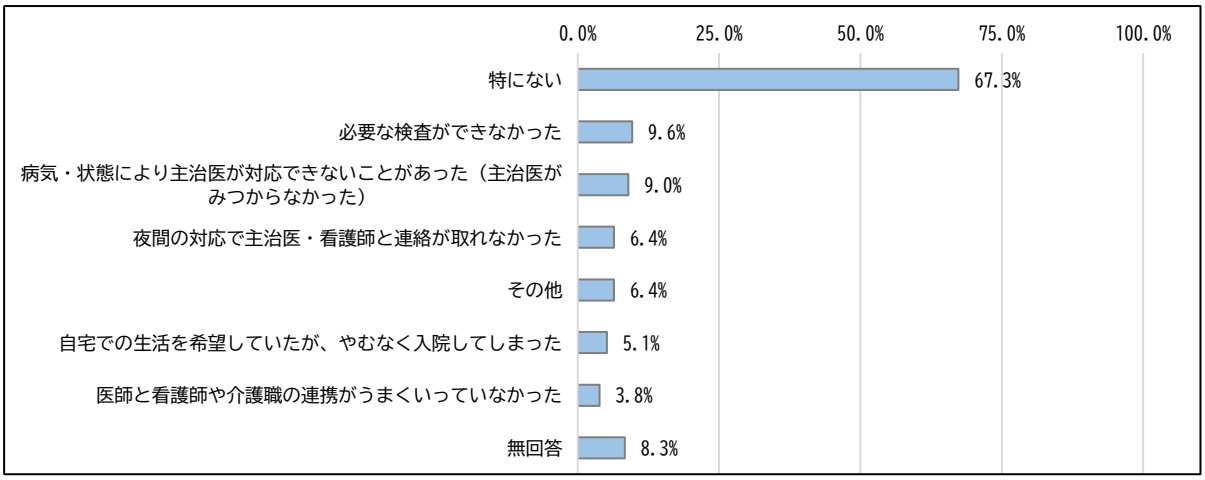
■　事業対象者・要支援認定者調査（n=29）



■　「軽度」要介護認定者調査（n=129）



■　「重度」要介護認定者調査（n=156）

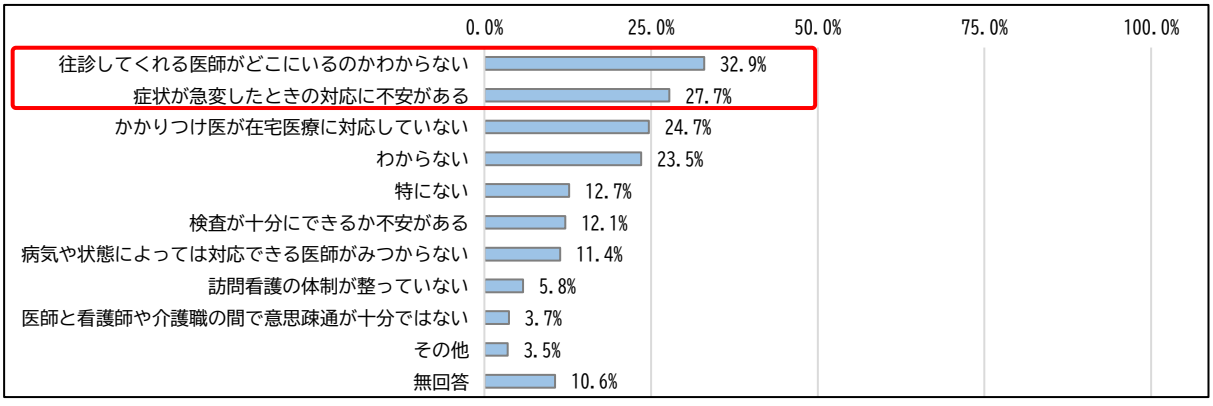


在宅医療を利用していないと回答した方のみ、お答えください。

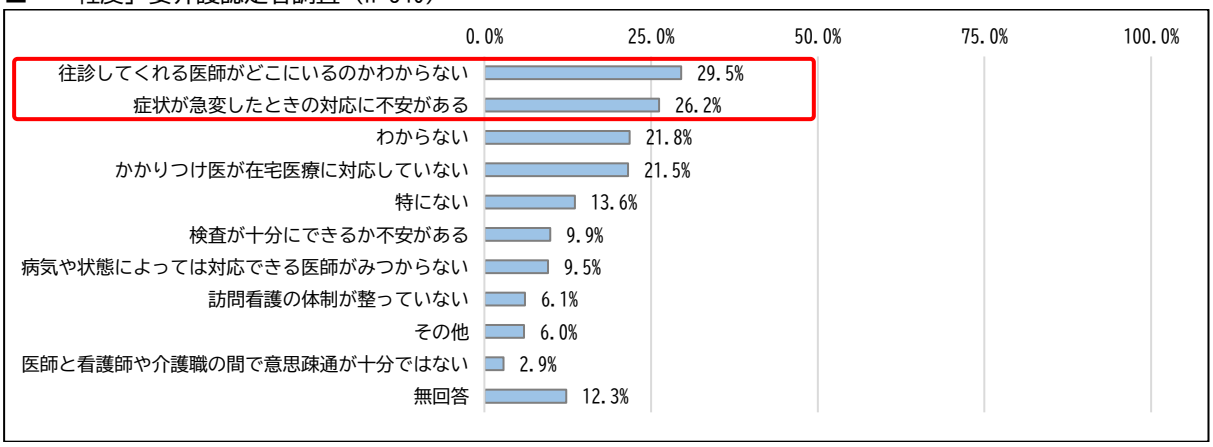
在宅医療を利用するとしたら不安を感じることがありますか（あてはまるすべての番号に○）

　在宅医療を利用していない方が在宅医療を利用するとしたら不安に思うこととして、「往診してくれる医師がどこにいるかわからない」「症状が急変したときの対応に不安がある」と回答した割合が高くなっています。

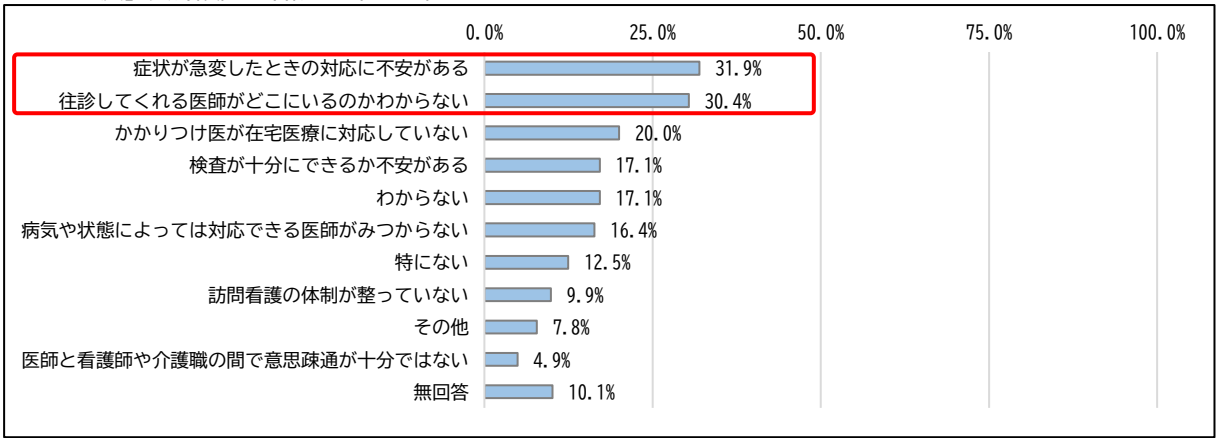
■　事業対象者・要支援認定者調査（n=519）



■　「軽度」要介護認定者調査（n=840）



■　「重度」要介護認定者調査（n=385）

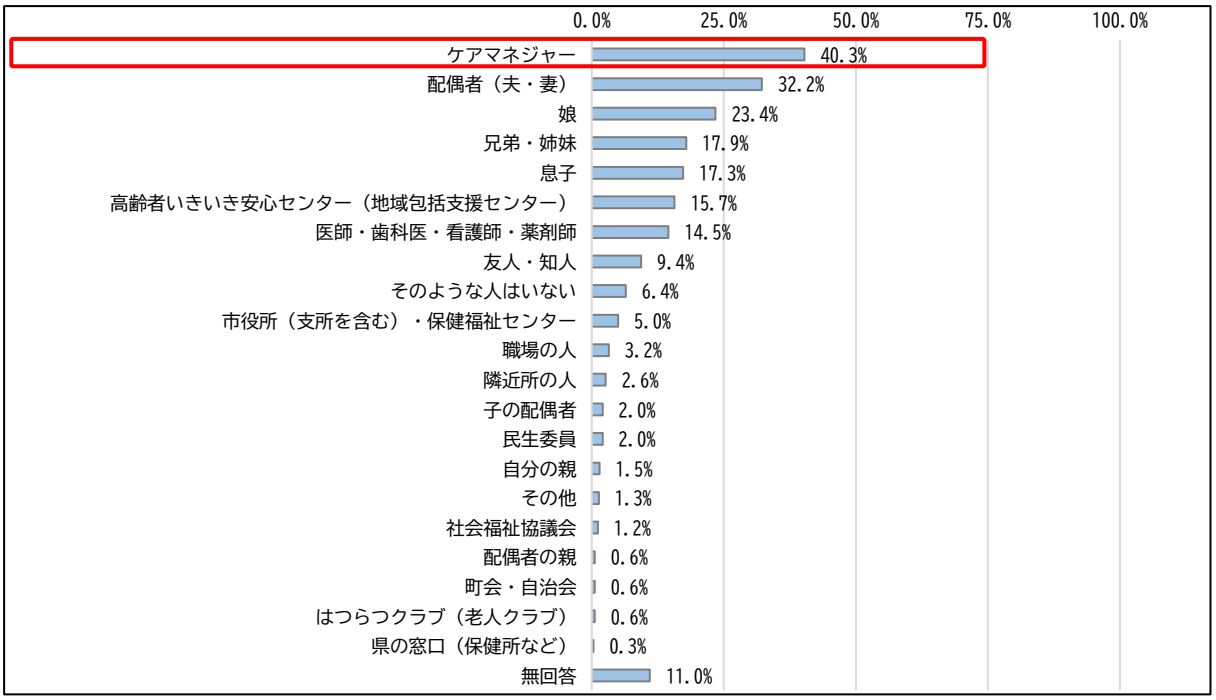


（７）介護に関する相談先

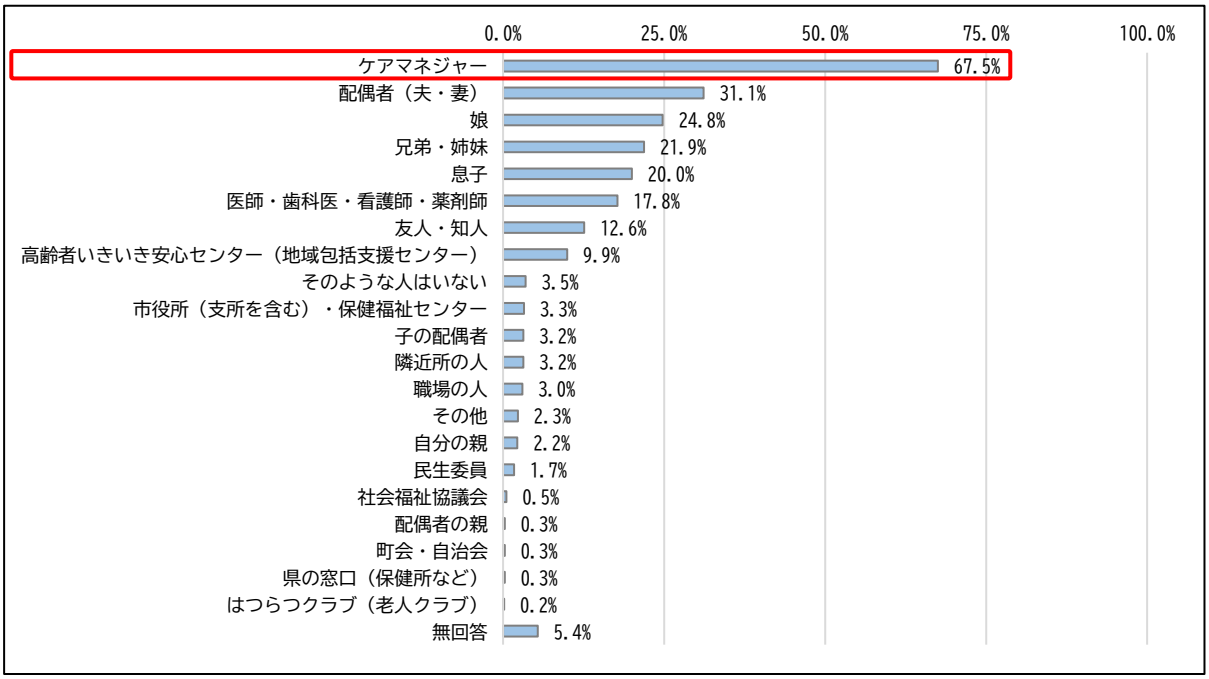
あなた（主な介護者）は、介護について誰に相談していますか、または相談していましたか。（あてはまるすべての番号に○）

介護に関する相談相手として、「ケアマネジャー」が最も多く、事業対象者・要支援認定者では 40.3%、「軽度」要介護認定者では 67.5%、「重度」要介護認定者では 74.7%となっています。

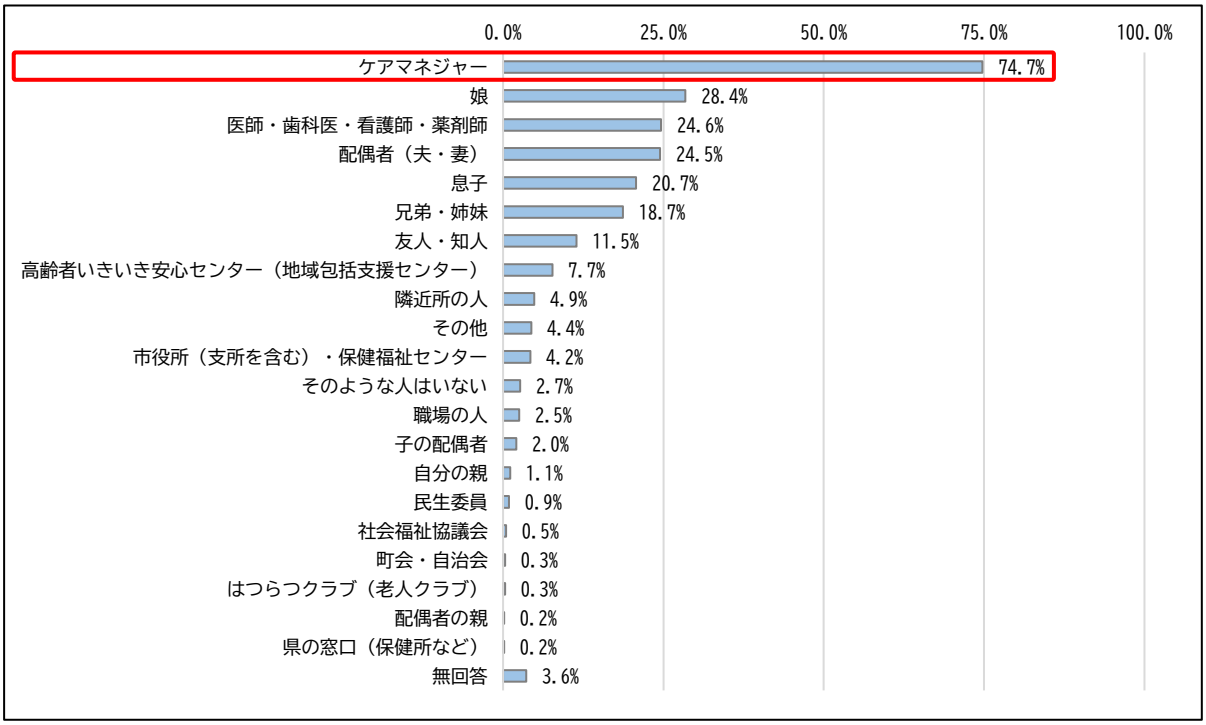
■　事業対象者・要支援認定者調査（n=683）



■　「軽度」要介護認定者調査（n=1,166）



■　「重度」要介護認定者調査（n=637）

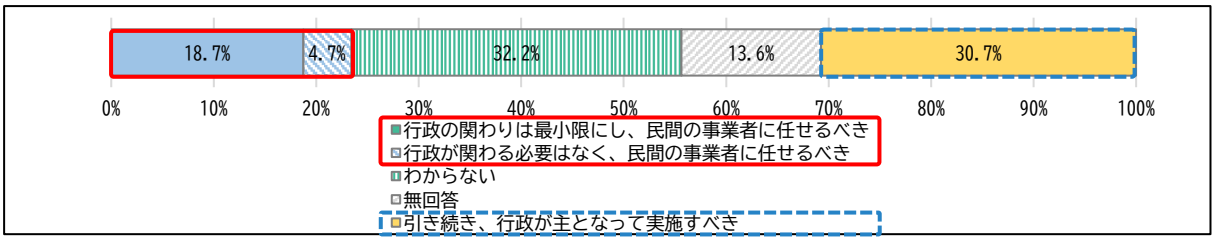


（８）配食サービス

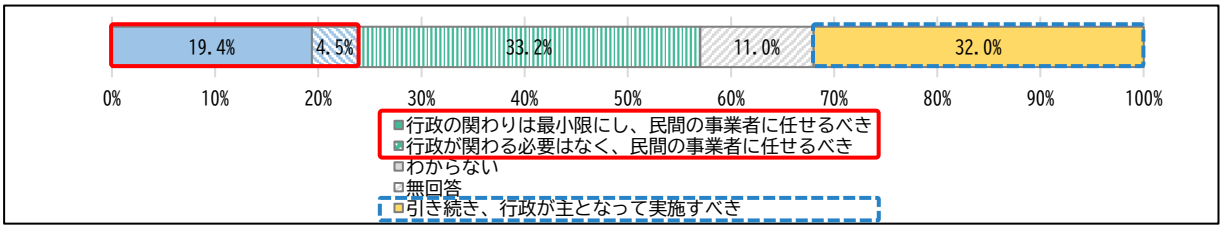
松戸市では、買物・食事の用意が困難な高齢者に食事を届け、安否確認をする配食サービスを介護保険料の一部を財源として事業者に委託して実施しておりますが、民間の配食サービス事業者が増えていることもあり利用者数は減少傾向です。今後の事業のあり方についてあなたはどう考えますか。（１つの番号に○）

配食サービスについて、「民間の事業者に任せるべき」と回答した割合と、「引き続き、行政が主となって実施すべき」と回答した割合について拮抗しています。

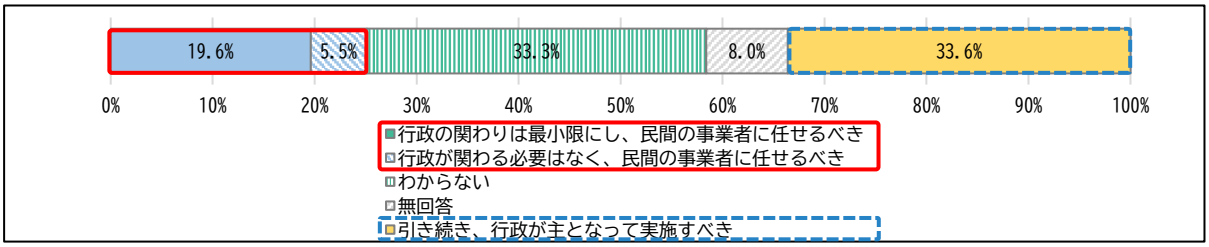
■　事業対象者・要支援認定者調査（n=683）



■　「軽度」要介護認定者調査（n=1,166）



■　「重度」要介護認定者調査（n=768）

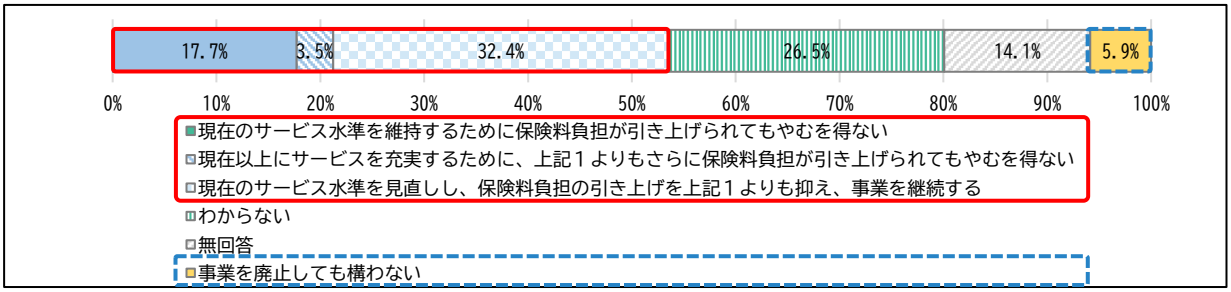


（９）紙おむつ支給事業

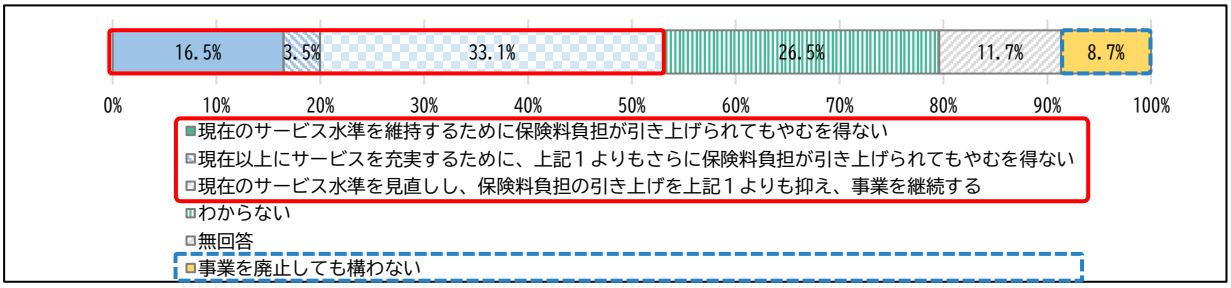
松戸市では、在宅で介護をしている家族を支援するため、紙おむつを支給する事業を実施していますが、高齢者数の増加等により給付費も増え、その財源の一部である介護保険料も引き上げていくことが見込まれます。今後の事業のあり方についてあなたはどう考えますか。（１つの番号に○）

紙おむつを支給する事業について、「現在のサービス水準を見直し事業を継続する」と回答した割合が最も高く、次いで「現在のサービス水準を維持するため保険料が引き上げられてもやむを得ない」となっており、事業の継続を要望する割合が高くなっています。

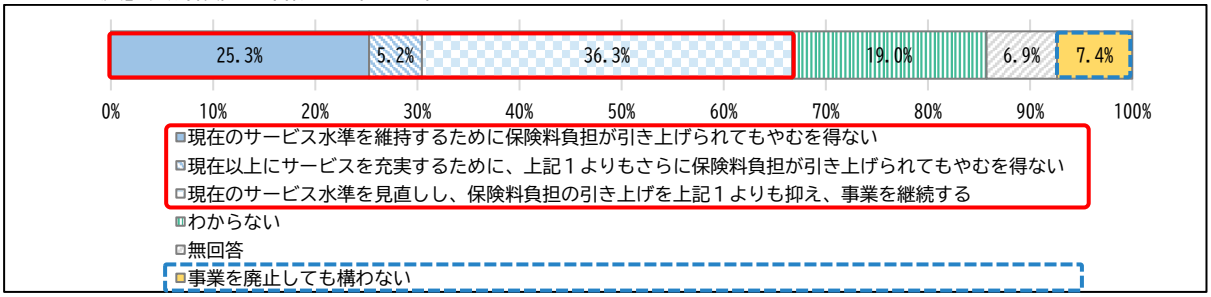
■　事業対象者・要支援認定者調査（n=683）



■　「軽度」要介護認定者調査（n=1,166）



■　「重度」要介護認定者調査（n=768）

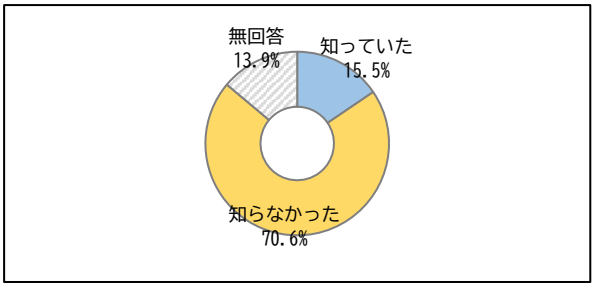


（10）家族介護に関する講座

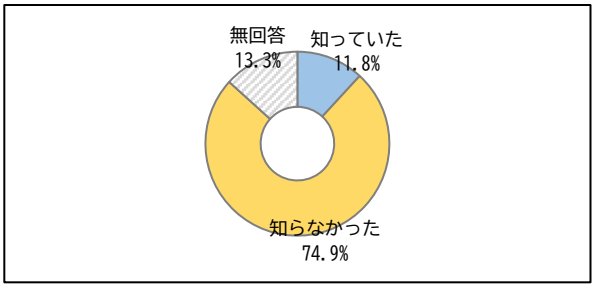
松戸市では「はじめての介護講座」など家族介護に関する講座を開催しています。家族介護に関する講座について知っていましたか。（どちらかに○）

はじめての介護講座」など家族介護に関する講座についての認知度は、約 15%程度となっています。

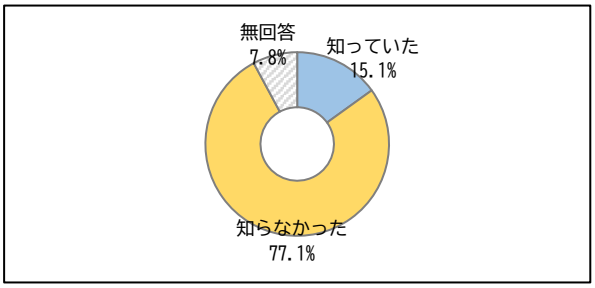
■　事業対象者・要支援認定者調査（n=683）



■　「軽度」要介護認定者調査（n=1,166）



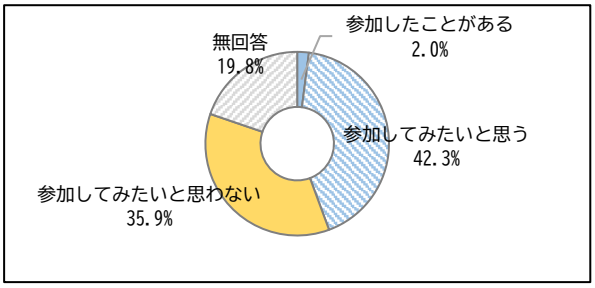
■　「重度」要介護認定者調査（n=637）



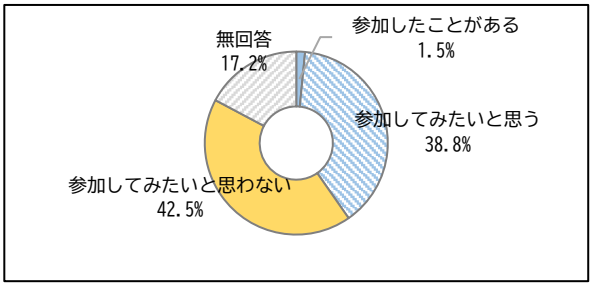
家族介護に関する講座について参加してみたいと思いますか。（１つに○）

家族介護に関する講座についての参加意向は、約４割程度となっています。

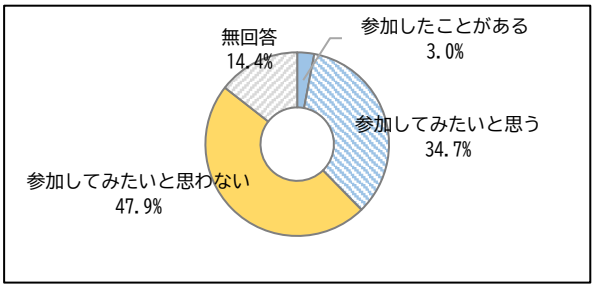
■　事業対象者・要支援認定者調査（n=683）



■　「軽度」要介護認定者調査（n=1,166）



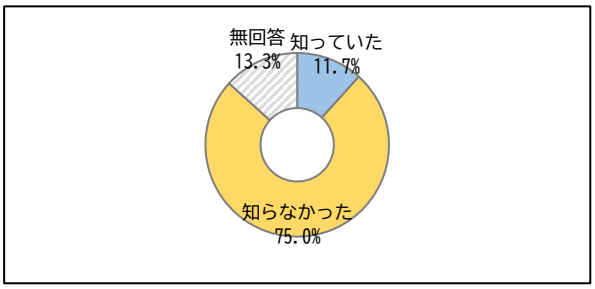
■　「重度」要介護認定者調査（n=637）



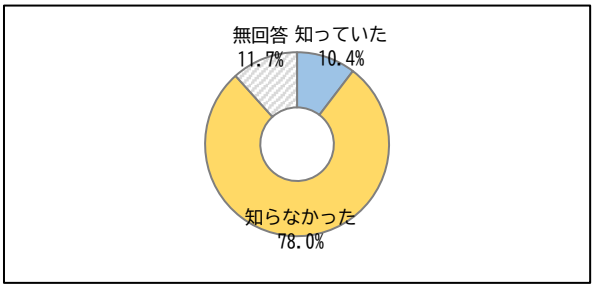
「介護者のつどい」は市内各地にある介護をしている人が交流する場となります。「介護者のつどい」について知っていましたか。（どちらかに○）

「介護者のつどい」の認知度については、約 10%程度となっています。

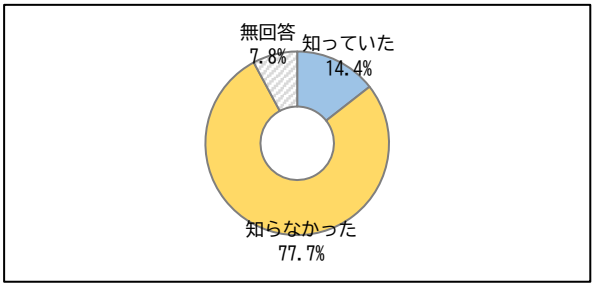
■　事業対象者・要支援認定者調査（n=683）



■　「軽度」要介護認定者調査（n=1,166）



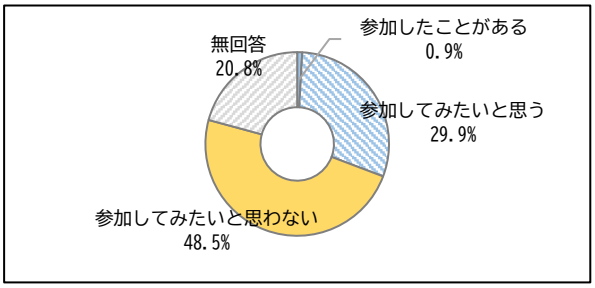
■　「重度」要介護認定者調査（n=637）



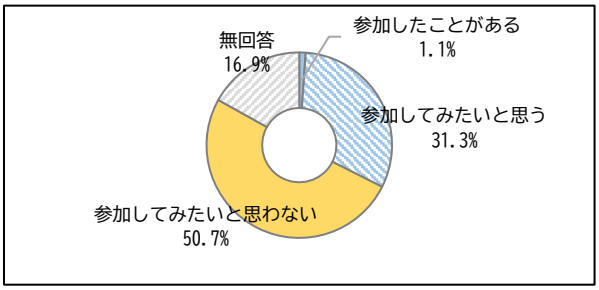
「介護者のつどい」について参加してみたいと思いますか。（１つに○）

「介護者のつどい」への参加意向については、約３割程度となっています。

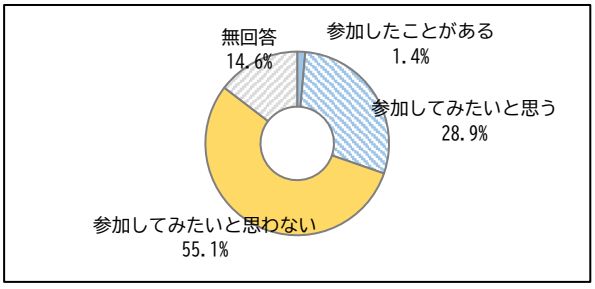
■　事業対象者・要支援認定者調査（n=683）



■　「軽度」要介護認定者調査（n=1,166）



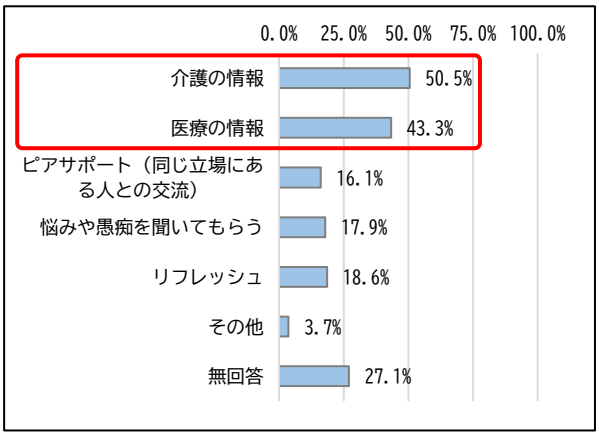
■　「重度」要介護認定者調査（n=637）



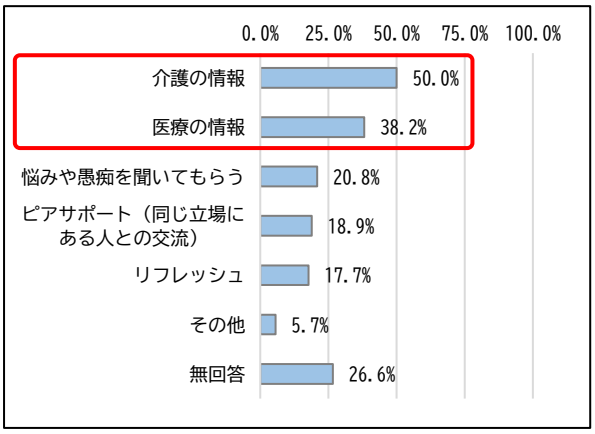
「介護者のつどい」にはどのようなことを望みますか。（あてはまるすべての番号に○）

「介護者のつどい」に期待することとして「介護の情報」や「医療の情報」などが多くなっており、情報提供の場としての役割が求められています。

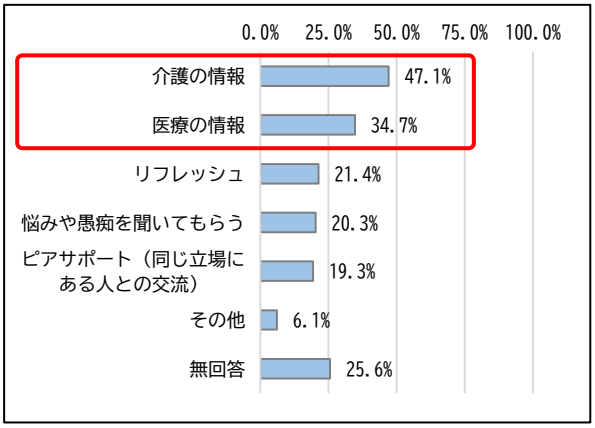
■　事業対象者・要支援認定者調査（n=683）



■　「軽度」要介護認定者調査（n=1,166）



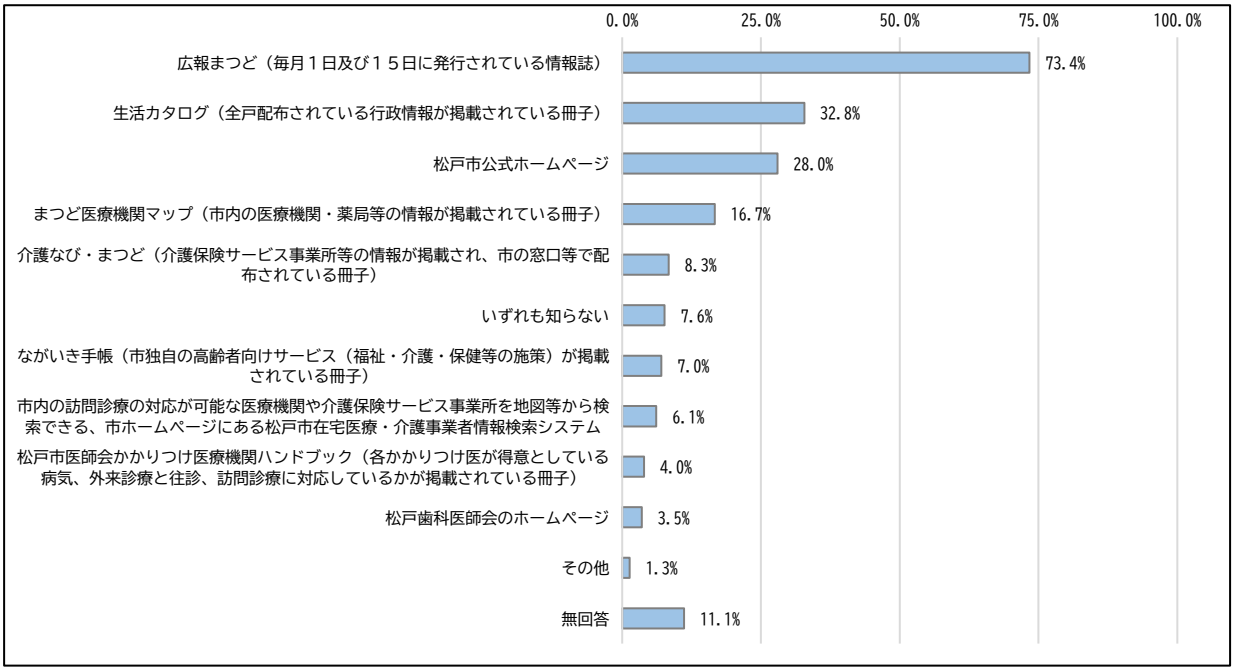
■　「重度」要介護認定者調査（n=637）



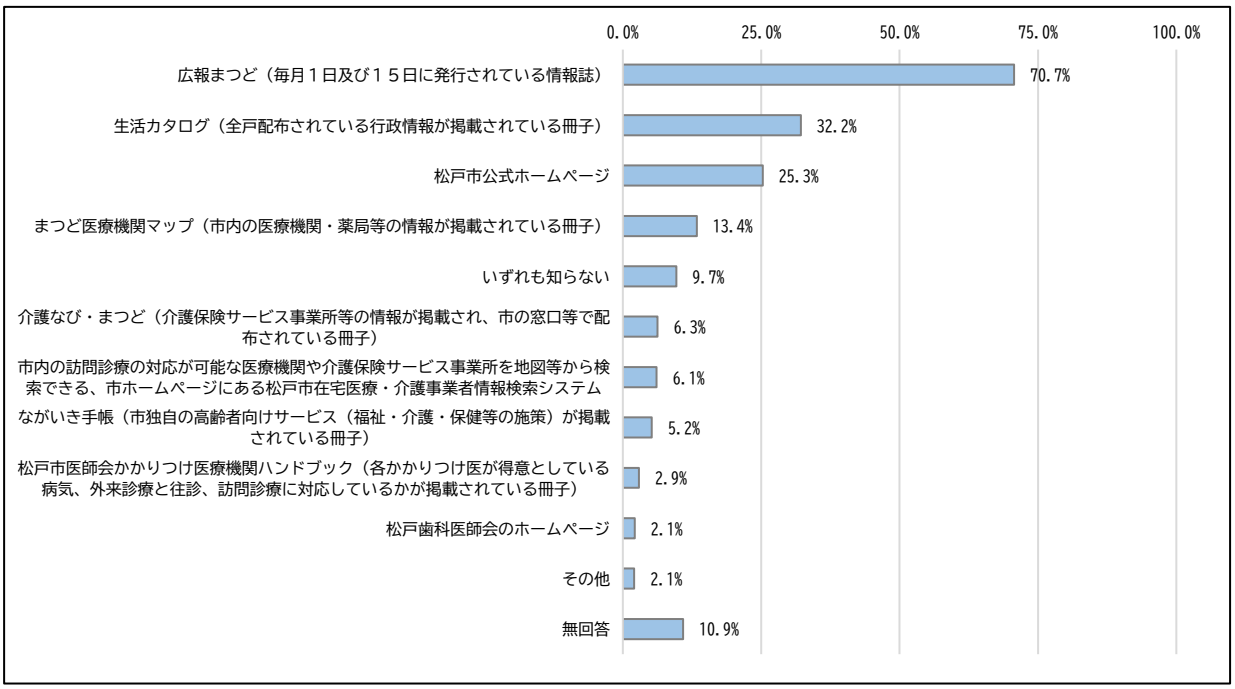
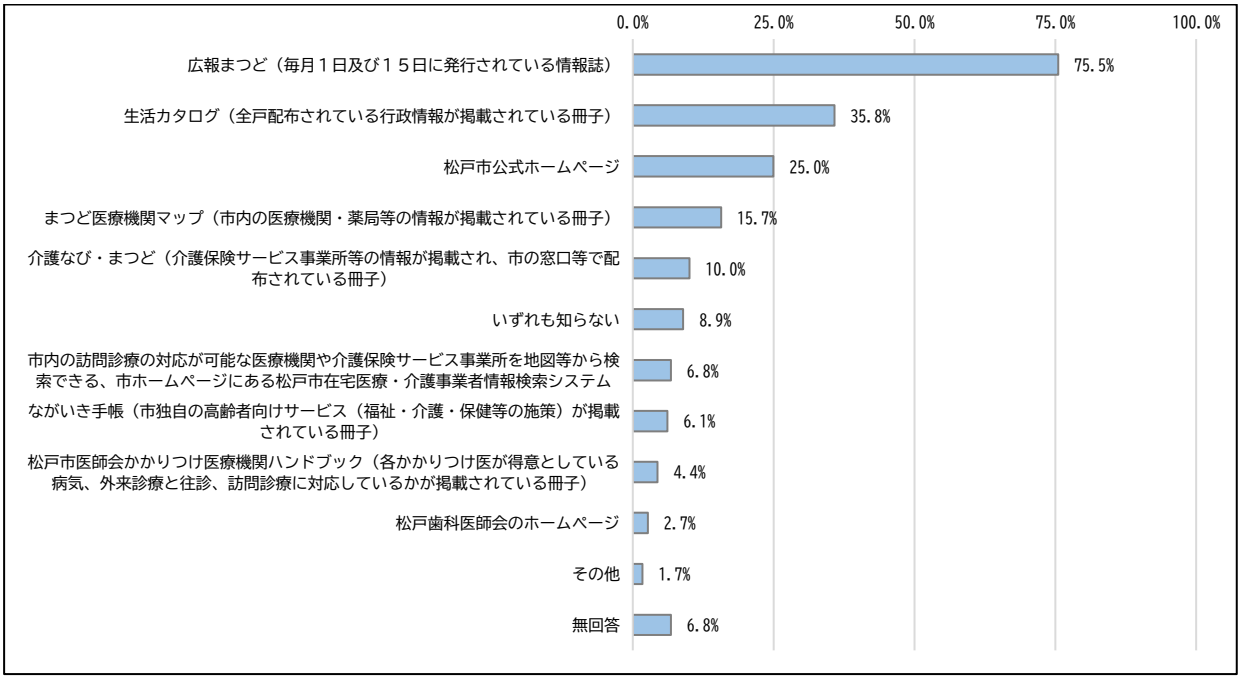
（11）高齢者向けのサービスや医療機関等の情報を収集するための手段

高齢者向けのサービスや医療機関等の情報を収集するための手段として「広報まつど」が最も多く、７割以上となっており、次いで「生活カタログ」となっています。

■　事業対象者・要支援認定者調査（n=683）



■　「軽度」要介護認定者調査（n=1,166）



■　「重度」要介護認定者調査（n=637）